Panasonic

詳細操作ガイド

ポータブルテレビ

品番 SV-ME970

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

●詳細操作ガイドをよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

困ったときは?

こんな表示が出たら　：182 ～ 183 ページ
故障かな !?　：184 ～ 189 ページ
Q&A(よくあるご質問)：190 ページ

水のかかるところでご使用の前に

9 ～ 11 ページを必ずお読みください。

最新のサポート情報は、下記サポートサイトでご確認ください。

http://panasonic.jp/support/

VQT3T11-1

Feature とくちょう

SV-ME970 で いろいろな扉を開こう

DIGA

お部屋ジャンプリンク（DLNA）対応の DIGA※と無線 LAN 接続して楽しめます。

P3　対応機種 P98

1seg TV

ワンセグ

ワンセグ放送を受信して、テレビを見ることができます。

P35、38

※DIGA（ディーガ）当社製レコーダー

Internet

ブラウザ

インターネットを楽しめます。

P120

video

ビデオ

本機で録画した番組を再生したり、DIGA※やパソコンに保存している動画ファイルを本機で見ることができます。

P56、68

radiko.jp

radiko.jp

インターネットを通じて、ラジオ音声を聴くことができます。

P119

music

音楽

パソコンや DIGA※などから転送した音楽を聴くことができます。

P56、77

YouTube

YouTube

YouTube を見ることができます。

P114

Network Media Player

ネットワークメディアプレーヤー

DLNA を使ってパソコンなどの DLNA 対応機器の動画などを楽しめます。

P109

戻る

お部屋ジャンプリンク対応DIGA※と「無線LAN接続」して

本機能に対応しているレコーダーは、2011年2月以降発売のお部屋ジャンプリンク（DLNA）対応DIGA※のみです。

対応機種、操作については P98

例えば
好きな番組をダビングしたり

DIGA※で録画した番組を本機にダビング

※DIGA（ディーガ）当社製レコーダー

お部屋ジャンプリンク

- リビングのDIGA※で録画したビデオを視聴
- リビングのDIGA※で受信できる放送を視聴

例えば
お風呂で視聴したり

例えば
キッチンで視聴したり

防水仕様について

IPX6/IPX7 相当に対応しています。ご使用前に必ず9～11ページをお読みください。

無線LAN接続するには、無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）が必要です。

 戻る

ニュースや
天気など
日常的な情報を

P120

例えば
ブラウザ検索

ブラウザを利用するには、インターネット接続された無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）が必要です。

他にも…

防水仕様
なので

ぬれた手でも
タッチ操作が
できます

キッチンで
料理レシピを
見ながらお料理

友人の日記や
つぶやき、写真
などをお風呂で
チェック

など楽しみ方が広がります

防水仕様について

IPX6/IPX7 相当に対応しています。ご使用前に必ず９～１１ページをお読みください。

戻る

もくじ

準備

基本の操作

テレビを見る・録る

再生ファイルの準備

ビデオを見る

音楽を聴く

写真を見る

戻る

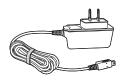
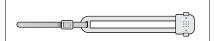
無線 LAN 接続

DLNA で映像を見る

インターネットを楽しむ

その他

付属品

付属品をご確認ください。
記載の品番は、2011 年 6 月現在のものです。

AC アダプター (RFEA506J)	USB 接続ケーブル (K1HY04YY0064)	グリップベルト (RFA3330)
本機はリチウムイオン充電式電池を内蔵しています。		

● 包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。

まずお読みください

■記録内容の補償はできません

- 本製品におけるデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品および内蔵メモリーや SD カードの不具合で録画や録音されなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。
- 本製品を修理した場合、内蔵メモリーはお買い上げ時の状態になることがありますので、パソコンや SD カードなどにデータのバックアップをとることをおすすめします。

■本書の見かた

- 本文中やさくいんの参照ページをクリックすると、該当ページへ移動します。
- Adobe Readerの画面上にある検索入力欄にキーワードを入力すると、入力したワードを検索し、該当ページへ移動します。
- お使いの Adobe Reader のバージョンによっては、操作方法などが異なる場合があります。

クリックすると、1 つ前に表示していたページに戻ります。

説明が次のページに続きます。クリックして次のページもお読みください。

■本書内の表記とイラストについて

- 本書では、本機で使用できるカード（P195）を**「SD カード」**と記載しています。
- 本書内の写真は、説明のためスチル写真から合成しています。また、本書内の製品姿図・イラスト・画面などは実物と多少異なりますが、ご了承ください。
- インターネットを経由して利用するアプリケーション（P25）は、サービス提供会社の都合により予告なく変更することがあります。そのため、本書で記載の画面と異なる場合があります。

防水について（ご使用前に必ずお読みください）

■本機の防水性について

本機は、JIS C 0920（IEC 60529）「電気機械器具の外郭による保護等級（IP コード）」のIPX6/IPX7 相当の防水仕様となっています。

IPX6（噴流に対する保護等級）

本機から約 3 m 離れて、内径 12.5 mm のノズルであらゆる方向から約 100 L/ 分の水を 3 分以上注水したあと、本機の機能が動作することに対応しています。温水には対応していません。

IPX7（浸水に対する保護等級）

常温の水道水にて、水深 1 m に本機を静かに沈め、30 分間放置して取り出したあと、本機の機能が動作することに対応しています。水中に落下させたり、水中で操作したり、お風呂などの温水につけることには対応していません。

防水対象の液体	対応	真水、水道水
	非対応※	石けん水、シャンプー、入浴剤、洗剤、温泉水、プールの水、海水

※非対応の水中につけないでください。

■水のかかるところ（浴室や台所など）で使用するときはカード / 端子ふたをしっかり確実に閉じて以下のことをしないでください

- **AC アダプターを接続して使用しない**
  ぬれた手などで触ると感電のおそれがあります。
- **ヘッドホンを接続して使用しない**
  接続部から水が入り故障の原因になります。
- **SD カードを入れたり交換したりしない**
  水滴が付いて端子がさびるなど、故障の原因になります。

カード / 端子ふたをしっかり閉じていても以下のことをしないでください

- **故意に水の中に入れない**
  誤って湯ぶねに落とした場合は、すぐに拾って柔らかい布のようなものでふいてください。
- **石けん水やシャンプーなどの液体をかけない**
  誤ってかかった場合は、速やかに洗い流し、柔らかい布のようなものでふいてください。
  ①　常温の水道水を弱めの水量にして洗い流してください。（洗剤で洗わないでください）
  ②　ドライヤーなどの熱風で乾かさないでください。
- **浴室など湿気の多い場所に放置しない**
  使用後は、柔らかい布のようなもので水滴をふきとり、浴室から持ち出して室内に置いてください。
- **サウナで使用しない**
- **寒い屋外から急に浴室に入れて使用しない**
  本機が冷えた状態で、浴室など湿度の高い場所に移動させて使用したときは、つゆつきが起きて本機内部に水滴が付くことがあり、故障の原因になります。

次のページに続く

■防水性を保つには、以下のことに気をつけて取り扱ってください

本機を落としたり、ぶつけたり、強い圧力をかけない

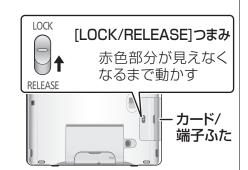
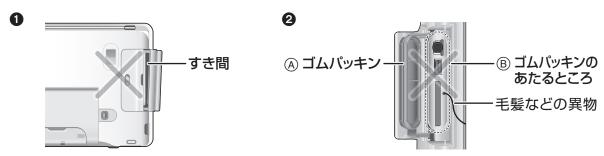
本機が変形や破損し、防水性が保てなくなります。

■カード / 端子ふたの取り扱いについて

ふたをしっかり確実に閉じてください。

ふたが開いたまま使用すると本機内部に水が入り故障します。以下の場合でも内部に水が入り故障します。

❶ ふたが完全に閉じられておらず、すき間がある

❷ ゴムパッキン（Ⓐ）、ゴムパッキンのあたるところ（Ⓑ）に毛髪、糸くず、砂、ほこりなどの異物が付着したまま閉じている

- カード / 端子ふたには [LOCK/RELEASE] つまみを備えています。
  ご使用前に必ず [LOCK/RELEASE] つまみの赤色部分が隠れていることを確認してください。
- ゴムパッキンにひび割れや変形がある場合は、そのまま使用しないでください。

防水性を維持するため、2 年に 1 度はゴムパッキンなどの防水に関する部品の交換（有料）をおすすめします。

- **手がぬれた状態や本機に水滴が付いたままでふたを開けたり閉めたりしないでください。**
  水滴が付いて端子がさびるなど、故障の原因になります。

次のページに続く

■水のかかるところでご使用後のお手入れ

- **本機をしっかり持ち、軽く振ってスピーカーなどに付いた水滴を落としてから、乾いた柔らかい布のようなもので本機をふいてください。**
  寒冷地で、水滴が付いたまま放置しておくと凍結し、ふたが開かなくなるなどの原因になります。
- **汚れがひどいときは、水に浸した布を絞ってから汚れをふき取り、そのあと乾いた柔らかい布のようなものでふいてください。**
  ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤、浴室 / 浴槽洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので、使用しないでください。

万一、本機に水が入った場合は使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。お客様の誤った取り扱いが原因の浸水による故障の場合は保証対象外となります。なお、付属品は防水仕様ではありません。（グリップベルトは除く）

各部の名前

動作表示ランプ

点灯	充電中
点滅（約1秒間隔）	録画中、DLNA対応機器からファイル転送中、Podcast/RSS の内容をダウンロード中
点滅（約3秒間隔）	音楽再生中

電源ボタン [•DISP/–POWER]

•DISP/–POWER

戻る [⮌]
メニュー設定時などに押すとホーム画面に戻るまで前の画面に戻ります。

ホーム [⌂]
ホーム画面（P23）を表示します。

メニュー [☰]
現在起動しているアプリケーションで設定できるメニューを表示します。

音量 [+][–]

タッチパネル / 液晶モニター
本機のタッチパネルは圧力を感知するタイプです。反応しにくいと感じるときは少し強めに操作してください。

製造番号について
スタンドを開いたところに記載されています。

SER. NO　XX年製
XXXXXXXXXXX

グリップベルト取り付け部（P14）

アンテナ（P35）

カード / 端子ふた

リリースつまみ [RELEASE▶]（P13）

ロックつまみ [LOCK/RELEASE]（P10）

スピーカー（音孔）

スピーカー（音孔）

スタンド（P13）

ヘッドホン端子（∅3.5 mm ステレオミニジャック）

DC 入力端子（P17）/USB 端子（P60）

リセットボタン [RESET]
電源の入 / 切ができないなど本機が正常に動作しないときなどに、クリップのようなものを使って押してください。

カード挿入部（P15）

スタンドの使いかた

スタンドを使用すると、本機を手で持たずにビデオファイルやテレビ放送などを見ることができます。
スタンドは立てて使用する場合と、倒して上から映像を見る場合の２とおりの使いかたができます。

立てて使用

倒して使用

■本機を立てて使用する場合

スタンドを矢印の方向に開いてください。

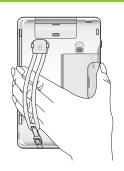
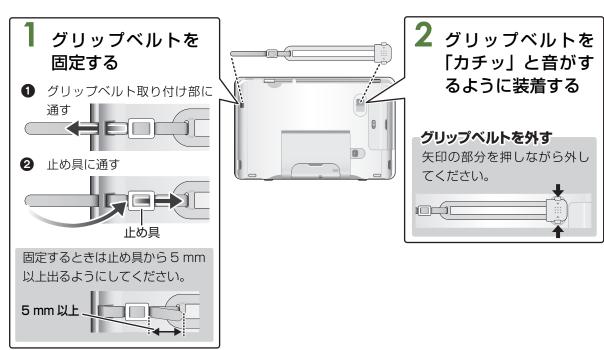
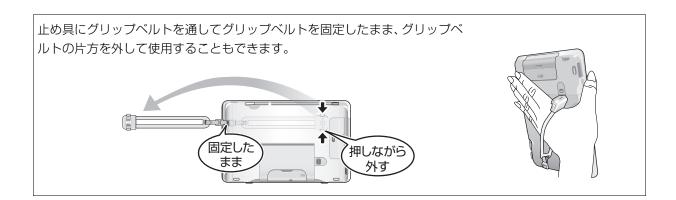
■本機を倒して使用する場合

お知らせ

- スタンドの角度の調整はできません。
- スタンドを無理に開かないでください。スタンドが変形し破損します。
- スタンド使用時に本機を操作する場合は、本機を手で支えながら操作してください。
- 本機を倒して使用するときは、上から押さえつけたり重いものを載せないでください。

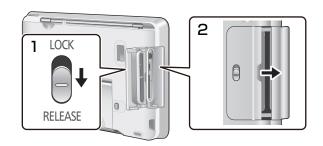
グリップベルトの使いかた

付属のグリップベルトを本機に取り付け、グリップベルトに手を通して、本機を手に持ってお使いいただけます。グリップベルトを使用すると本機が安定するのでタッチパネルの操作がしやすくなります。

止め具にグリップベルトを通してグリップベルトを固定したまま、グリップベルトの片方を外して使用することもできます。

SD カードを入れる / 取り出す

1 カード / 端子ふたを開ける

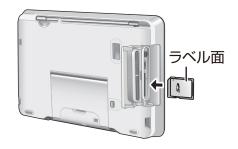
1 [LOCK/RELEASE] つまみを [RELEASE] 側へ動かす

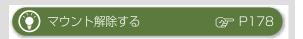
2 カード/端子ふたを引き出し、開ける

2 SD カードを入れる（取り出す）

入れるとき

SD カードの向きに気をつけて、「カチッ」と音がするまでまっすぐ奥まで入れてください。

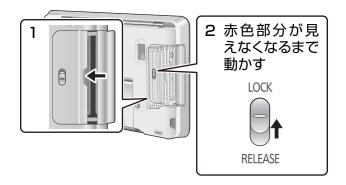
取り出すとき

SD カードを「カチッ」と音がするまで押し、まっすぐ引き出してください。

SD カードを取り出す場合

安全のためマウント（読み書き可能状態）を解除してから取り出してください。

3 カード / 端子ふたを閉じる

1 カード / 端子ふたを閉じ、まっすぐ押し込む

2 [LOCK/RELEASE] つまみを [LOCK] 側へ動かす

- カード / 端子ふたが確実に閉じているかを確認してください。

次のページに続く

microSD カード /miniSD カード

microSD カードや miniSD カードは専用のアダプターに装着して、本機に挿入してください。

SD カードの書き込み禁止スイッチ

スイッチを「LOCK」側にしておくと、SD カードへの書き込みやデータの消去、フォーマットはできなくなります。戻すと可能になります。

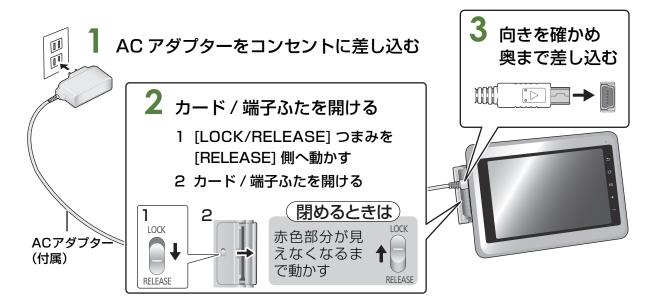
お知らせ

- パソコンなどのデータを SD カードに転送中や録画中、再生中は SD カードを取り出さないでください。転送中や録画中に取り出すと、SD カードの内容が破壊される場合があります。
- SD カードをご購入後はじめて使用される際は、本機で SD カードをフォーマット（P178）することをおすすめします。
- ぬれた手で SD カードを出し入れしたり、水のかかるところで出し入れをしないでください。
- 本機に水滴などが付いているときは、水滴を柔らかい布のようなものでふき取ってから SD カードを出し入れしてください。
- カード取り出しのため、マウント解除（P178）をしたあとに再度 SD カードを認識させたい場合は、SD カードを抜き差ししてください。

電源の準備をする

本機は AC アダプターを電源として使用したり、AC アダプターを使って充電することができます。

AC アダプターを本機の電源として使用する

AC アダプターを使用すると、電池残量を気にせずに部屋などで長時間連続してテレビ放送などを視聴できます。

本機に水滴が付いているときは

本機に水滴などが付いた状態で AC アダプターを接続しないでください。この場合、柔らかい布のようなもので水滴をふき取ってから電源の準備をしてください。

お知らせ

- ぬれた手で AC アダプターを接続したり、水のかかるところで AC アダプターを使用しないでください。
- AC アダプターは本機専用です。必ず付属の AC アダプターを使用してください。
- 電池残量を使い切らなくても、継ぎ足し充電が可能です。
- 充電は周囲温度 5 ℃～ 35 ℃で行ってください。

次のページに続く

戻る

充電する

お買い上げ時、充電式電池は充電されていませんので、充電してからお使いください。
- 本機はリチウムイオン充電式電池を内蔵しています。製品廃棄のとき以外は取り外さないでください。

電源を切った状態、もしくはスタンバイ状態で AC アダプターに接続する（P17）

電源を切る / スタンバイ状態にする　☞ P19

エコ充電の設定をする　☞ P168

充電中は
動作表示ランプが点灯します。

充電が完了すると
動作表示ランプが消灯します。

■充電時間について

項目	
充電時間 （周囲温度 25 ℃ / 電池を使い切った状態で、電源「切」もしくはスタンバイ状態で充電時）	約 7 時間
充電回数	約 500 回

■本機使用中の充電について

本機使用中でも充電されますが、満充電になるまで約 9 時間かかります。

充電中の電池残量表示

充電中：「 」　　**充電完了**：「 」

電源を入れる / 切る

電源を入れる

[•DISP/−POWER] ボタンを動作表示ランプが点滅するまで押したままにする

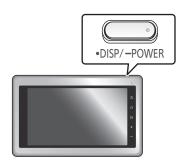
- ホーム画面（P23）が表示されるまでに数十秒かかります。

電源をスタンバイ状態にする

画面を消してスタンバイ状態にします。

[•DISP/−POWER] ボタンをポンと押す

■再度画面を点灯させるには

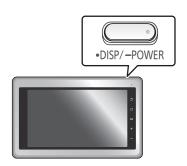
[•DISP/−POWER] ボタンをポンと押す

お知らせ

- スタンバイ状態でも音楽や radiko.jp を聴くことができます。この場合、画面に触れても反応しませんが音量の調節はできます。
- 充電する場合は、音楽や radiko.jp を停止してからスタンバイ状態にしてください。

次のページに続く

電源を切る

電源を完全に切り、電池の消耗を抑えます。

1 確認画面が表示されるまで[•DISP/−POWER]ボタンを押したままにする

2 確認画面で「OK」を選ぶ

お知らせ

- 録画中に電源を切ると録画が停止されます。また、予約録画開始時刻（P46、48）やかんたん自動転送設定（P104）の開始時刻に電源が切れている場合は録画や転送はされません。この場合はスタンバイ状態にしてご使用ください。
- 画面は、一定時間操作しないでいると消灯してスタンバイ状態になります。お買い上げ時は、「10 分」に設定されています。一定時間の設定のしかたについては 173 ページをお読みください。
- 電源を切った場合は、次に電源を入れるとホーム画面が表示されるまでに数十秒かかります。

タッチパネルの操作

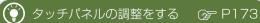
本機のタッチパネルは圧力を感知するタイプのタッチパネルです。

■タップする

画面に触れて離す操作です。

アイコンや選択項目、操作ボタンなどを選ぶときにタップして操作します。

- アイコンの中央部をタップしてください。
- タップしたものと違うものが選択されたり、反応しない場合などはタッチパネルのタップ位置を調整できます。

タッチパネルの調整をする P173

■長くタッチする

画面に長く触れる（約 1 秒以上）操作です。

アイコンを移動させたり、サブメニューを表示させます。

■ドラッグする

画面に触れたまま指を動かす動作です。

再生画面で表示されるプログレスバー（P69、78）をドラッグし、先に進めたり戻したりするときに操作します。

■フリックする

指で画面を上下または左右にはらう動作です。

再生するファイルをスキップさせたり、リストをすばやくスクロールさせたいときなどに操作します。

次のページに続く

お知らせ

- 市販の液晶保護シートをご使用になる場合は、その注意書きに従ってください。（液晶保護シートの種類によっては、視認性や操作性が損なわれる場合があります）
- 市販の保護シートをはり付けて使用している場合や反応しにくいと感じるときは、**少し強めに操作してください。**
- 本機を持つ手が画面（タッチパネル）を押さえていると、タッチパネルは正常に動作しません。
- 先のとがったものや硬いもので押さないでください。
- 爪を立てて操作しないでください。
- 画面（タッチパネル）が指紋などで汚れた場合は、電源を切るかスタンバイ状態にしてから（P19、20）乾いた柔らかい布などでふいてください。

- 画面（タッチパネル）を強い力でこすったり、押したりしないでください。
- 画面（タッチパネル）には、万一破損した場合のためにガラスの飛散防止を目的とする保護フィルムを貼っています。このフィルムは無理にはがさないでください。
- スタンド使用時は本機が倒れないように本機を片方の手で支えながら操作してください。

画面の向きについて

本機は構える向きによって自動的に画面を回転します。対応方向は下図の２方向となっています。

- 本書では、主に横向きに構えた状態で説明しています。

お知らせ

- 「YouTube（YouTube）」、「（radiko.jp）」を起動しているときは横向きのみの対応です。
- ビデオ再生時に一時停止しているときなど、画面によっては自動的に回転しない場合があります。

ホーム画面からの基本操作

本機ではホーム画面からアイコンを選んでアプリケーションを起動したり設定画面を表示します。

準備 ●電源を入れて、画面を点灯させておく（P19）

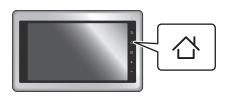
1 本機の［⌂］を押す

ホーム画面が表示されます。

2 操作したいアプリケーションを選ぶ

ホーム画面

◇ 元の画面に戻るには

戻りたい画面になるまで、本機の［↩］を押してください。

■すべてのアプリケーションを表示するには（ランチャー画面の表示）

画面下の「▦」を選ぶ

● 上方向にフリックすると画面に表示しきれないアプリケーションのアイコンを表示することができます。

ランチャー画面

◇ ホーム画面に戻すには

画面下の「🏠」を選んでください。

次のページに続く

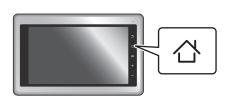
戻る

■最近使用したアプリケーションから選ぶ

最近使用したアプリケーションを 6 つまで表示します。

1 **本機の [⌂] を押したままにする**

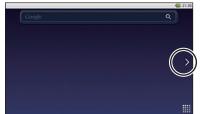
最近使用したアプリケーションを表示します。

2 **操作したいアプリケーションを選ぶ**

ホーム画面について

お買い上げ時のホーム画面の左右に 1 画面ずつ、アプリケーションのショートカットなどを配置できる画面を用意しているので、用途に合わせて自由にホーム画面を作成することができます。

「<」「>」をタップして画面を切り替える

中央画面（トップメニュー）

お知らせ

- 左右にフリックして画面を切り替えることもできます。
- 中央画面以外を表示している場合は、本機の「⌂」を押すと中央画面を表示します。

ホーム画面を変更する　☞ P159

■本書での操作説明の記載について

ホーム画面はお客様のご使用に合わせて変更できますが、本書での操作説明は中央画面（トップメニュー）から操作する説明で記載しています。また、中央画面のアプリケーションアイコンの並びはお買い上げ時の状態で説明しています。

次のページに続く

アプリケーション一覧

アイコンやアプリケーションの名称は予告なく変更されることがあります。

● ※：インターネットを経由して利用するアプリケーションです。

アプリ	説明	参照
DIGA	当社製お部屋ジャンプリンク（DLNA）対応レコーダーのファイルを本機で視聴したり、転送することができます。	P98
DIGA リモコン	本機をリモコン代わりにしてLANで接続された当社製レコーダーを操作します。 ● 起動する前に、レコーダー側でブロードバンドレシーバーの設定が必要です。	—
※ DiMORA	当社製レコーダーを遠隔録画予約できるDiMORAのサイトに接続し、サイトを通して本機でレコーダーを遠隔操作できます。	—
※ i 文庫	青空文庫（著作権が消滅した文学作品などの書籍）を無料でダウンロードして読むことができます。	P128
i 文庫 サンプル作品	ダウンロード操作をしないでもすぐに書籍が読めるようにi文庫の書籍の一部を集めています。	P136
※ MeMORA	当社製レコーダーを遠隔再生できるMeMORAのサイトに接続し、サイトを通して本機でレコーダーを遠隔操作できます。	—
※ Podcast	インターネット上に公開された音声ファイルや動画ファイルを登録することで、最新情報をダウンロードして再生します。	P139
※ radiko.jp	インターネットを通じて、ラジオ音声を聴くことができます	P119
※ RSS リーダー	ニュースサイトやブログなどを登録することで、最新記事をダウンロードして閲覧できます。	P137 P139
※ YouTube	動画共有サイトの動画を再生します。	P114
ネットワーク メディア プレーヤー	DLNAを使って、パソコンやDLNA対応機器に記録された動画や写真、音楽を本機で再生したり転送できます。	P109
ネット接続 ロック	お子様などに見せたくないホームページなどの閲覧を制限するために、パスワードをかけてインターネット利用を制限します。	P113
ビデオ	本機で録画した番組や、内蔵メモリーまたはSDカードに保存されたビデオを再生します。	P68
※ ブラウザ	インターネット上のウェブサイトの閲覧ができます。	P120
※ メール	Eメールを本機で送受信することができます。	P146 P148
ワンセグ	ワンセグ放送を受信します。	P35 P38
※ 愛用者登録	パナソニックの会員サイト「CLUB Panasonic」のご愛用者登録のサイトに接続します。	—
音楽	本機の内蔵メモリーやSDカードに保存された曲を再生します。	P77
写真	本機の内蔵メモリーやSDカードに保存された写真を表示します。	P81
設定	本機の設定や無線LAN接続の設定などをします。 ● ホーム画面で本機の[☰]を押して「設定」を選んで設定することもできます。	—
電卓	電卓として使用できます。	P158
連絡先	アドレス帳として、メールアドレスなどを登録することができます。	P153

ステータスバーの表示（画面上部の表示）

本機の状態を画面上部のステータスバーにアイコンで表示します。

ステータスバー

ビデオ再生中など、ステータスバーが消えているときは、画面をタップすると確認できます。

アイコン	説明
（読み込み中アイコン）	メモリー（内蔵メモリー/SD カード）を読み込み中 下記の場合などにメモリーを読み込みます。 ・本機の電源を入れたとき ・スタンバイ状態から復帰したとき ・SD カードを挿入したとき ・パソコンから本機を取り外したとき ● 本機の操作ができない場合は、「（読み込み中アイコン）」表示が消えてから操作してください。 ● 初めてSDカードを入れた場合やファイル数が多い場合は読み込みに時間がかかります。
（電波アイコン）	ワンセグ放送受信中の電波状況 弱 → 強
SD	本機にSDカードが入っていることをお知らせ
（再生アイコン）	音楽ファイル再生中
（radikoアイコン）	radiko.jp 動作中
（USBアイコン）	パソコンと接続中
（iアイコン）	本機の最新ファームウェア更新の情報などをお知らせ
（赤丸アイコン）	録画中 / 録画準備中
（!アイコン）	録画中断中 / 録画未実行のお知らせ
（時計アイコン）	予約録画中 / 予約録画準備中
（ダウンロードアイコン）	DLNA を使ってファイルを転送 ブラウザからダウンロード
（メールアイコン）	新着メールあり
（Podcastアイコン）	Podcast（ポッドキャスト）の新着記事をダウンロード
（RSSアイコン）	RSS リーダーの新着記事をダウンロード
（無線LANアイコン）	無線 LAN 接続中の電波状況 弱 → 強
（電池アイコン）	電池残量表示 本機使用中の充電状態の表示 充電中：「（充電中アイコン）」充電完了：「（電池アイコン）」
21:00	時計

本機の状態を確認する

ステータスバーに「（!アイコン）」「（ダウンロードアイコン）」「（iアイコン）」などのアイコンが表示されているときにステータスバーを下にドラッグすると、現在本機が処理している状況や、本機の最新ファームウェア更新の情報などのお知らせを表示します。

● 通知画面で、画面右上の「通知を消去」をタップすると通知を消去できます。
● ホーム画面で、本機の［（メニューボタン）］を押して「通知」を選んで確認することもできます。

通知画面

戻る

文字を入力する

ウェブサイトの検索や連絡先、E メールの作成、パスワードの入力など文字を入力するときは、文字入力欄をタップして、画面上に表示されたキーボードをタップして入力します。

文字入力欄
タップするとキーボードが表示されます。

画面例：YouTube ログイン画面

◇ 文字入力画面から元の画面に戻るには

本機の [ ] を押してください。

入力するキーボードを切り換える

1「文字 あA1」を長くタッチする

2「 」または「 」を選ぶ

あ カ A 1
ｶﾅ AB 12

: 日本語を「かな入力」で入力する場合（P28）

: 日本語を「ローマ字入力」で入力する場合（P29）

● お買い上げ時は「 （かな入力）」に設定されています。

「かな入力」画面

「ローマ字入力」画面

次のページに続く

文字を入力する

■日本語を「かな入力」する場合

画面上のキーボードを直接タップして入力します。
タップする回数に応じて、その行に属する文字を変更させて入力します。

濁点にしたり、大文字 / 小文字の切り換えをする場合にタップします。

例：「あお」と入力する場合

❶ あ を 1 回タップする
❷ ➡ をタップしてカーソルを次へ進める
❸ あ を 5 回タップする

文字を入力すると画面上に変換候補が表示されます。表示された変換候補をタップして入力することもできます。変換候補すべてを見る場合は「⬆」をタップしてください。候補画面を閉じる場合は「⬇」をタップしてください。

● 変換候補を表示しないようにするには、「予測変換」を「☑（表示しない）」に設定してください。（P32）

	キー	説明
A	↩	**同じキーを繰り返しタップして文字を変更する場合に、逆順に表示**
B	⬅	**カーソル移動（左）** ● 漢字変換時は変換範囲を変更します。
C	記号	**半角記号 / 全角記号 / 顔文字一覧の切り換え**
D	文字 あA1	**ひらがな/英字/数字入力の切り換え** あ：ひらがな入力 A：半角英字入力 1：半角数字入力 ● 文字入力画面によっては、入力できる文字の種類が制限されていて、切り換えできない場合があります。 **（長くタッチすると下記の切り換え）** ・**全角**（ひらがな / カタカナ / 英字 / 数字） ・**キーボード** ・**半角**（カタカナ / 英字 / 数字）
E	DEL	**文字消去** ● カーソルの前の文字を消去します。 ● 長くタッチすると、連続して消去することができます。
F	➡	**カーソル移動（右）** ● 漢字変換時は変換範囲を変更します。
G	変換 / ␣	**（ひらがな入力時）変換候補の表示** ● 文字未入力時はスペースを入力します。 **（英字 / 数字入力時）スペース**
H	確定 / ↵	**入力文字や変換文字の確定 / 改行** ● 文字を確定し、変換候補一覧や記号一覧を閉じます。

入力するキーボードを切り換える ☞ P27

お知らせ

●「キー操作音」を設定すると（P31）、タップ操作が受け付けられたことを音で確認しながら操作できます。

次のページに続く

■日本語を「ローマ字入力」する場合

画面上のキーボードを直接タップして入力します。

文字を入力すると画面上に変換候補が表示されます。表示された変換候補をタップして入力することもできます。変換候補すべてを見る場合は「」をタップしてください。候補画面を閉じる場合は「」をタップしてください。

● 変換候補を表示しないようにするには、「予測変換」を「（表示しない）」に設定してください。（P32）

A	**大文字 / 小文字の切り換え** ● 数字入力時にタップすると記号を切り換えます。	C DEL	**文字消去** ● カーソルの前の文字を消去します。 ● 長くタッチすると、連続して消去することができます。
B 文字 あA1	**ひらがな / 英字 / 数字入力の切り換え** あ：ローマ字かな変換入力 A：半角英字入力 1：半角数字入力 ● 文字入力画面によっては、入力できる文字の種類が制限されていて、切り換えできない場合があります。 **（長くタッチすると下記の切り換え）** ・**全角**（ひらがな / カタカナ / 英字 / 数字） ・**キーボード** ・**半角**（カタカナ / 英字 / 数字）	D 確定	**入力文字や変換文字の確定 / 改行** ● 文字を確定し、変換候補一覧や記号一覧を閉じます。
		E 記号	**半角記号 / 全角記号 / 顔文字一覧の切り換え**
		F 変換	**漢字変換 / スペース**

入力するキーボードを切り換える　☞ P27

お知らせ

● 「キー操作音」を設定すると（P31）、タップ操作が受け付けられたことを音で確認しながら操作できます。

次のページに続く

■文字の切り取りやコピーをする

範囲を決めて切り取りやコピーをする

1 「　」や「　」をタップしてコピーや切り取りをする範囲の開始位置を指定する
- 「ローマ字入力」する場合は開始位置をタップして指定してください。

2 文字入力画面で文字入力欄を長くタッチする

3 「テキストを選択」を選ぶ

4 「　」や「　」をタップしてコピーや切り取りをする範囲の最終位置を指定する
- 「ローマ字入力」する場合は終了位置をタップして指定してください。

5 文字入力画面で文字入力欄を長くタッチする

6 「切り取り」または「コピー」を選ぶ

お知らせ
- コピーや切り取りの操作がしにくい場合は、本機を横向きに構えて操作してください。

文字入力欄のすべての文字の切り取りやコピーをする

1 文字入力画面で文字入力欄を長くタッチする

2 「すべて切り取り」または「すべてコピー」を選ぶ

切り取りやコピーした文字を貼り付ける

1 文字入力画面で文字入力欄を長くタッチする

2 「貼り付け」を選ぶ

次のページに続く

キーボードの設定をする

キーボード操作時の操作音の設定など、キーボードの設定を行います。

1 本機の [ ] を押して次の順で選ぶ

（設定）→ 取扱説明書のコピーとその他の設定 → キーボード設定 → Japanese IME

2 設定したい項目を選ぶ

設定項目	設定内容　（※：お買い上げ時の設定）
キー操作音	キーボードをタップしたときに音を出します。 **：操作音を出す**　※**：出さない**
キーポップアップ	キーボードをタップしたときに、タップしたキーを拡大表示します。 ※**：拡大表示する**　**：しない**
自動大文字変換	英字入力時に文頭の文字を自動的に大文字にします。 ※**：大文字にする**　**：しない**
キーボードのデザイン	キーボードデザインを選びます。 **※標準**　**シンプル**　**メタリック**

◇ 元の画面に戻るには

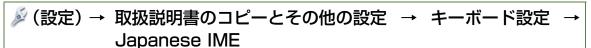
本機の [ ] を押してください。

次のページに続く

変換設定をする

変換で確定した語句の学習機能や、予測変換機能、入力ミス補正機能を設定します。

1 本機の [ ] を押して次の順で選ぶ

（設定）→ 取扱説明書のコピーとその他の設定 → キーボード設定 → Japanese IME

2 設定したい項目を選ぶ

設定項目	設定内容　（※：お買い上げ時の設定）
候補学習	変換で確定した語句を学習します。 ※ ：記憶する　　 ：しない
予測変換	文字を入力すると、変換候補を表示します。 ※ ：表示する　　 ：しない ● 半角英字で予測変換を利用すると、入力文字確定時に自動的にスペースが挿入される場合があります。メールアドレスやウェブアドレスの入力の際は、手動でスペースを消去する必要があります。
入力ミス補正	入力間違いがあったときに修正候補を表示します。 ※ ：表示する　　 ：しない ● ローマ字入力画面で半角英字入力した場合に働きます。 ●「予測変換」を設定しているときのみ設定できます。

次のページに続く

辞書に登録する

■ユーザー辞書として呼び出せるように登録する

1 本機の［⌂］を押して次の順で選ぶ

（設定）→ 取扱説明書のコピーとその他の設定 → キーボード設定 → ユーザー辞書

2 本機の［⁝☰］を押して「追加」を選び、追加する文字を入力する

3 「OK」を選ぶ

◇ 登録した単語などを編集 / 消去する

手順 *1* の操作のあと表示されるユーザー辞書リストで編集 / 消去したい単語をタップして編集 / 消去できます。

■文字入力時に変換候補として呼び出せるように登録する

登録した読みを入力すると、その読みに対応させて登録した文字を文字変換の際に変換候補として表示させることができます。よく利用する単語などを登録しておくと便利です。

1 本機の［⌂］を押して次の順で選ぶ

（設定）→ 取扱説明書のコピーとその他の設定 → キーボード設定 → Japanese IME

2 設定したい項目を選ぶ

設定項目	設定内容
日本語ユーザー辞書 英語ユーザー辞書	日本語ユーザー辞書　：かな、漢字を登録します。 英語ユーザー辞書　：半角英字を登録します。 *1* 本機の［⁝☰］を押して「登録」を選ぶ *2* 「読み」欄をタップして読みを入力する *3* 「表記」欄をタップして表記を入力し、「登録」を選ぶ ● 登録した単語を編集や消去する場合は、単語一覧画面で本機の［⁝☰］を押してください。
学習辞書リセット	「OK」を選ぶと、学習した入力変換候補情報を消去します。

戻る

ワンセグ放送について

本機は地上デジタル放送（ワンセグ）を受信して視聴することができます。
2011年7月のアナログ放送終了後も引き続き、ワンセグのテレビ放送をお楽しみいただけます。

ワンセグ（地上デジタルテレビ放送1セグメント部分受信サービス）とは
携帯端末向けの地上デジタルテレビ放送で、UHF 電波を使い、屋外を移動しながらでも映像と音声、さらにデータ放送を楽しめるのが特長です。2006年4月1日より、NHK および民放各社からサービスが開始されています。（お住まいの地域によっては、放送されない地域もあります）
- ワンセグについて詳しくは、下記ホームページをご覧ください。
  社団法人　デジタル放送推進協会　http://www.dpa.or.jp

- 緊急警報放送、データ放送サービスには対応していません。
- 画面が小さい携帯端末用の放送サービスのため、画質が粗く感じられたり、映像の動きがなめらかでないことがあります。
- 放送エリア内でも、地形や構造物といった周囲の環境、本機を使用する場所や向き、電波状況によっては受信できないことがあります。

戻る

テレビを見るための準備をする

テレビを見るには、アンテナの準備とチャンネル設定が必要です。

アンテナの準備

テレビ放送を見る場合は、アンテナを立ててください。

- アンテナは矢印の方向に動かしてください。液晶モニター側や本機裏面側に動かすことはできません。
- テレビを見ないときや録画をしないときは、アンテナを元の位置に戻してください。
- アンテナに無理な力を加えないでください。また、アンテナをつかんで本機を持ち運ばないでください。アンテナが破損するなど故障の原因になります。

チャンネル設定をする

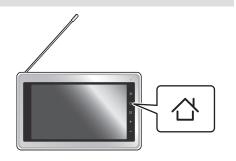
お買い上げ後、初めてワンセグテレビをご利用になる場合は、まずチャンネル設定が必要です。

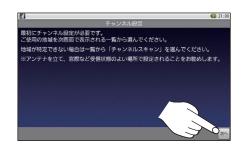
準備 ●アンテナを立てておく

1 本機の [⌂] を押す

ホーム画面が表示されます。

2 「(ワンセグ)」アイコンを選ぶ

チャンネル設定画面が表示されます。

次のページに続く

3 チャンネル設定の方法を確認し、「次へ」を選ぶ

4 ご使用になる地域を選ぶ

●地域が特定できない場合は「チャンネルスキャン」を選び、手順 *6* へ進んでください。

5 ご使用になる都道府県を選ぶ

6 表示内容を確認し、「次へ」を選ぶ

選んだ都道府県とは別に現在設定中の場所で受信可能なチャンネルを検索します。

●「スキャンしない」を選ぶと、検索せずに都道府県に登録されているチャンネルのみを登録します。

●手順 *4* で「チャンネルスキャン」を選んだ場合、「次へ」を選ぶと現在設定中の場所で受信可能なチャンネルを検索します。

7 登録する放送局を確認し、「次へ」を選ぶ

●放送局は最大 18 局まで登録できます。

次のページに続く

8 「登録する」を選ぶ

- 登録し直したいときは、「やり直す」を選んでください。

9 表示内容を確認し、「視聴画面へ」を選ぶ

お知らせ

- ひとつのチャンネル内で複数の番組が放送されるサービスに対応するチャンネルがある場合は、それぞれのサービス名が表示されます。

都道府県（地域）に登録されているチャンネルについて

放送局名は、2011 年 6 月時点の放送局運用規定に基づいています。

- ご使用の地域によっては、電波状況が悪いチャンネルも登録されている場合があります。
- ワンセグサービスが開始されていないチャンネルも登録されていますが、サービスが開始されるまでは視聴できません。
- 登録されているチャンネルの放送局名や周波数は、将来変更になる場合があります。

ワンセグテレビ放送を見る

準備　●アンテナを立てておく（P35）

1 本機の［⌂］を押す

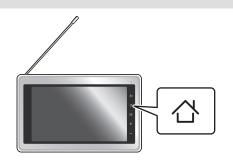
ホーム画面が表示されます。

2 「 （ワンセグ）」アイコンを選ぶ

●テレビ放送を受信します。番組情報表示はしばらくすると消えます。（本機を縦向きに構えているときは消えません）再度表示したいときは画面をタップしてください。タップするたびに表示させたり消したりすることができます。

● 映像の乱れがあるときは ●
屋内などで電波状況が悪い場合、映像や音声が止まったり乱れたりします。
本機の向きや場所、アンテナの角度を変えてみてください。

■チャンネルを選ぶ

（番組情報表示が消えているときは画面をタップしてから）
「CH ダウン」または「CH アップ」をタップする

■音量を調整する

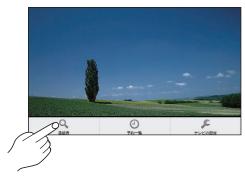
本機の［＋］［－］を押す

お知らせ

●Wi-Fiオンに設定していても（P94）、ワンセグテレビを起動するとWi-Fiオフになり無線LANの利用はできません。（テレビ視聴をやめてホーム画面に戻ると自動的に Wi-Fi オンになりますが、切り換わるのに数秒かかる場合があります）
●テレビを視聴中に「現在のチャンネル一覧と異なる放送局を受信しています。設定を変更してください。」が表示される場合、チャンネル設定をしたときと異なる地域の放送を受信しています。チャンネルを設定し直してください。（P41）

次のページに続く

戻る

番組表を見る

1 本機の［⁝☰］を押して「番組表」を選ぶ

2 「<」または「>」をタップしてチャンネルを選ぶ

- 番組表には最大 10 番組まで表示されます。
  放送局または時間帯によって、番組表の番組数が少ないことがあります。

◇ 番組表を消すには

本機の [⮌] を押してください。

■番組内容を見る

番組表に表示されている番組の内容を見ることができます。

番組表を表示中に、内容を確認したい番組を選ぶ

番組予約をする　☞「番組予約へ」を選んだあと、P 47 手順 4 へ

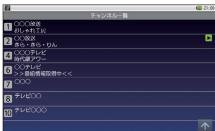
◇ 番組内容表示を消して番組表に戻る

本機の [⮌] を押してください。

次のページに続く

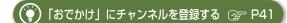
チャンネル一覧から選局する

1 （番組情報表示が消えているときは画面をタップしてから）
「CH一覧」を選ぶ

2 見たい放送局を選ぶ

■チャンネル一覧の切り換え（自宅 ←→ おでかけ）

チャンネル一覧画面で「自宅」または「おでかけ」を選ぶ

- 画面下に「自宅」「おでかけ」が表示されていない場合は、「↑」をタップすると表示します。
- 「おでかけ」に登録されていない場合は、「おでかけ」を選ぶことはできません。

「おでかけ」にチャンネルを登録する P41

お知らせ
- チャンネル一覧表示中は音声の出力はされません。

チャンネル設定を更新 / 消去する

チャンネル設定を更新（変更）する

本機は「自宅」「おでかけ」の 2 種類にチャンネルを登録できます。ご使用場所に応じて使い分けて登録しておくと、移動するたびにチャンネル登録し直す必要がないので便利です。

- チャンネル設定はご使用になる場所で行ってください。
- お買い上げ後、初めてワンセグテレビをご利用になるときに登録したチャンネル設定は（P35）、「自宅」に登録されています。
- チャンネル設定は、更新するたびにチャンネルを新しく登録し直します。
- 設定したチャンネルは、電源を切っても保持されます。
- 「自宅」「おでかけ」には、放送局をそれぞれ最大 18 局まで登録できます。

準備　●テレビを受信しておく（P38）

1 本機の［⁝☰］を押して次の順で選ぶ

テレビの設定 → チャンネル設定

2 ご使用になる地域を選ぶ

- 地域が特定できない場合は「チャンネルスキャン」を選び、手順 **4** へ進んでください。

3 ご使用になる都道府県を選ぶ

4 表示内容を確認し、「次へ」を選ぶ

選んだ都道府県とは別に現在設定中の場所で受信可能なチャンネルを検索します。

- 「スキャンしない」を選ぶと、検索せずに都道府県に登録されているチャンネルのみを登録します。
- 手順 **2** で「チャンネルスキャン」を選んだ場合、「次へ」を選ぶと現在設定中の場所で受信可能なチャンネルを検索します。

5 登録する放送局を確認し、「次へ」を選ぶ

次のページに続く

戻る

6 保存場所を選ぶ

自宅　：よく利用する場所のチャンネルを登録する場合などに設定してください。
おでかけ：滞在先などでテレビを見る場合などに設定してください。

「自宅」「おでかけ」を切り換える　☞ P40

チャンネルを消去する

準備　● テレビを受信しておく（P38）

1 本機の［⁝☰］を押して次の順で選ぶ

テレビの設定 → チャンネル消去

2 消去するチャンネルを選ぶ

3 確認画面で「はい」を選ぶ

◇ チャンネル一覧を消して元の画面に戻る

戻りたい画面に戻るまで本機の [⮌] を押してください。

お知らせ

- チャンネル一覧に登録されたチャンネルが 1 つしかない場合は、消去できません。

テレビの設定

準備 ●テレビを受信しておく（P38）

本機の［⁝☰］を押して次の順で選ぶ

テレビの設定 → 希望の設定項目 → 希望の設定内容 → OK

設定項目	設定内容　（※：お買い上げ時の設定）
チャンネル設定	41 ページをお読みください。
チャンネル消去	42 ページをお読みください。
字幕	字幕放送に対応した番組が放送されている場合に、字幕を表示して視聴することができます。 ※ **非表示**　**言語 1**　**言語 2** ●「言語 1」や「言語 2」に設定しても、対応する字幕情報がない番組の場合、字幕は表示されません。
二重音声	二重音声に対応した番組が放送されている場合に、二重音声を切り換えて視聴することができます。 ※ **主**　**副**　**主+副** ● 二重音声に対応していない番組の場合、主音声での視聴になります。
音声	番組内で複数の音声信号が放送されている場合に、音声を切り換えて視聴することができます。（2011 年 6 月現在、ほとんどの番組は「音声 1」のみ放送されています） ※ **音声 1**　**音声 2** ●「音声 2」に設定していても、以下の場合は「音声 1」に設定が変更されます。 • [•DISP/-POWER] ボタンや本機の [⌂] を押したり、チャンネルを切り換えた場合 • 番組視聴中、「音声 2」の放送がなくなった場合
アンテナ受信感度	※ **高感度**　テレビ放送を高感度で受信 **通常感度**　テレビ放送を通常の感度で受信 ● テレビ塔の近くなど、電波が強すぎるときは「通常感度」に設定してください。
録画先メモリー選択（視聴録画）	現在視聴中の番組を録画するときに内蔵メモリーに録画するか SD カードに録画するかを設定します。44 ページをお読みください。

◇ 元の画面に戻るには

戻りたい画面に戻るまで本機の [⮌] を押してください。

ワンセグ放送を録画する

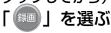
受信したテレビ放送を、次の 3 とおりの方法で内蔵メモリーや SD カードに録画することができます。

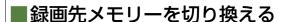
現在視聴中の番組を録画する ☞ 下記
番組表から録画を予約する ☞ P46
日時を指定して録画を予約する ☞ P48

● 録画可能時間については 200 ページをお読みください。

現在視聴中の番組を録画する

1 録画したいチャンネルにする（P38）

2 （番組情報表示が消えているときは画面をタップしてから）
「」を選ぶ

録画を開始します。
（動作表示ランプが約 1 秒間隔で点滅します）

● AC アダプターを電源として使用時は、停止操作をするまで最大約 8 時間録画し続けます。

■録画先メモリーを切り換える

内蔵メモリーに録画するか SD カードに録画するかを切り換えます。

● お買い上げ時は「内蔵メモリー」に設定されています。

本機の［⁝☰］を押して次の順で選び、録画先を設定する

テレビの設定 → 録画先メモリー選択（視聴録画）→
内蔵メモリー　または　SD カード → OK

◇ 元の画面に戻るには

本機の [⮌] を押してください。

次のページに続く

戻る

■録画を停止する

1 **（画面表示が消えているときは画面をタップしてから）「録画停止」を選ぶ**

確認画面が表示されます。

2 **確認画面で「はい」を選ぶ**

■他のアプリケーションを立ち上げているときに録画を停止するには

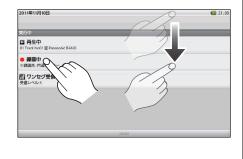
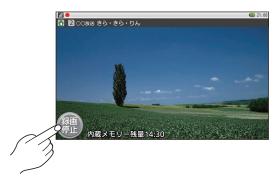
1 **ステータスバーを下方向へドラッグする**

現在の本機の状態が表示されます。

2 **「●録画中」を選ぶ**

テレビ画面が表示されます。

3 **（番組情報表示が消えているときは画面をタップしてから）「録画停止」を選ぶ**

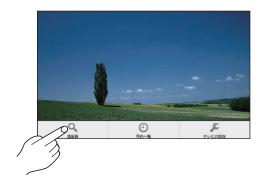
4 **確認画面で「はい」を選ぶ**

お知らせ

- 録画中、[•DISP/-POWER] ボタンを押してスタンバイ状態で録画を継続することもできます。録画中は動作表示ランプが約 1 秒間隔で点滅します。電源を切った場合は録画を停止します。
- 当社製お部屋ジャンプリンク（DLNA）対応レコーダーで録画番組を SD カードに転送中は、現在視聴中の番組を SD カードに録画することはできません。転送をキャンセルしてから（P108）録画を実行してください。

次のページに続く

番組表から録画を予約する

準備　●テレビを受信しておく（P38）

1 本機の［⁝☰］を押して「番組表」を選ぶ

2 予約する番組を選ぶ

予約する番組のチャンネルを選ぶ

「<」または「>」をタップしてください。

予約する番組を選ぶ

番組をタップしてください。

●番組表には最大 10 番組まで表示されます。
放送局または時間帯によって、番組表の番組数が少ないことがあります。

3「番組予約へ」を選ぶ

次のページに続く

4 下記の設定を変更する場合はタップして設定を変更する

「毎週予約」　：繰り返し録画する場合
「録画先メモリー」：内蔵メモリーと SD カードのどちらに録画するかを変更する場合

5「予約登録」を選ぶ

◇ 番組表を消して元の画面に戻るには

本機の [⮌] を押してください。

録画開始時刻になると ☞ P52

お知らせ

- 録画予約したあとに画面を消灯する場合、電源はスタンバイ状態にしておいてください。(P19)電源を切っていると、録画が開始されません。
- スタンバイ状態にする場合は、事前に録画を開始する場所で予約録画のチャンネルが受信可能かを確認してから [•DISP/━POWER] ボタンを押してください。
- パソコンと接続しているときは（P60）予約録画は実行されません。
- 番組表にまだ表示されていない番組は、日時を指定して予約録画してください。（P48）
- 本機は、番組延長などがあった場合に自動的に予約録画時間を変更する番組追従機能には対応していません。
- 録画開始時刻、終了時刻が未定の番組は録画を予約できません。
- 内蔵メモリーや SD カードのメモリー残量は予約一覧画面で確認できます。（P55）

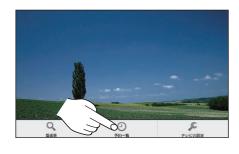
次のページに続く

日時を指定して録画を予約する

準備　●テレビを受信しておく（P38）

1 本機の [⋮☰] を押して「予約一覧」を選ぶ

2 「新規予約」を選ぶ

内蔵メモリーと SD カードの録画可能時間（時間と分で表示）

3 予約内容を設定する

❶ 設定項目をタップする

❷ 設定内容をタップする

- 録画日は 30 日先までの間で指定することができます。
- 「録画先メモリー」は内蔵メモリーと SD カードのどちらに録画するかを設定します。（お買い上げ時は「内蔵メモリー」）

4 「予約登録」を選ぶ

◇ 予約一覧を消して元の画面に戻るには

本機の [⮌] を押してください。

予約一覧画面の表示　☞ P55

録画開始時刻になると　☞ P52

次のページに続く

お知らせ

- 録画予約したあとに画面を消灯する場合、電源はスタンバイ状態にしておいてください。（P19）電源を切っていると、録画が開始されません。
- スタンバイ状態にする場合は、事前に録画を開始する場所で予約録画のチャンネルが受信可能かを確認してから［•DISP/−POWER］ボタンを押してください。
- パソコンと接続しているときは（P60）予約録画は実行されません。
- 予約一覧画面で、録画可能時間が「SD −−：−−」と表示されている場合は、本機に対応している SD カードが入っていません。予約録画開始時刻までに本機に SD カードを入れなかった場合、録画先メモリーを「SD カード」に設定した場合でも、内蔵メモリーに録画されます。

本機での録画について

- ワンセグ放送には、番組の著作権保護のためにコピー制御信号（「録画不可（コピーネバー）」、「1 回だけ録画可能（コピーワンス）」、「録画制限なし（コピーフリー）」を制御する信号）が組み込まれています。本機はコピー制御信号に対応しています。
- 通常の地上デジタル放送とワンセグ放送では同じ番組が放送される場合が多いですが、それぞれ独自の番組が放送されることもあります。新聞や雑誌の番組表を見て予約した場合、ワンセグ放送で独自の番組が放送されていると、希望の番組と違う番組が録画されます。
- SD カードに録画した番組をパソコンなどへドラッグ & ドロップで転送して見ることはできません。また SD カードに録画した番組をパソコンにコピーし、再度 SD カードに転送して本機で再生することはできません。

■本機で録画したビデオファイルの再生機器について

本機で録画した番組は当社製レコーダーやテレビでは再生できません。また、他社製品で再生することは保証していません。
携帯電話などの再生対応機器については下記サポートサイトでご確認ください。
http://panasonic.jp/support/viera_1/

録画時のお知らせ

	内蔵メモリー	SD カード
録画可能番組数	最大 4095 番組	SD カード 1 枚あたり最大 99 番組※
予約可能番組数	最大 12 番組	
連続録画時間	最大約 8 時間	

※ レコーダーなど他の機器で録画した番組や当社製お部屋ジャンプリンク（DLNA）対応レコーダーで転送した番組も含みます。

- SDカードに録画する場合、他の機器やパソコンでSDカード内のビデオファイルの消去やフォーマットをすると、管理情報が残るため 99 番組まで録画できない場合があります。フォーマットは本機で行うようにしてください。（P178）

次のページに続く

■以下の場合は録画が正しく行われません

- 電池残量表示が「 」になっているときや、電池残量がなくなった場合
- 内蔵メモリーの空き容量がない場合
- （SD カードに録画する場合）録画可能な SD カードが本機に入っていない、または空き容量が少ない場合
- 電波状況が悪い場合
- 時計が正しく設定されていない場合
- 予約録画の時間が重なっている場合

■録画中に以下の操作をすると録画が停止されます

- 本機の電源を切る
- パソコンと本機を接続
- 内蔵メモリーまたは SD カードのフォーマット
（予約録画の録画先とフォーマットするメモリーが同一の場合）
- データの初期化

■録画中は以下の操作はできません

- 録画番組以外の番組を視聴
- チャンネル一覧の表示
- 自宅←→おでかけの切り換え
- チャンネル設定 / 消去
- 現在予約録画実行中の予約の修正 / 取り消し
- 現在録画中のチャンネル以外のチャンネルの番組を番組表から録画予約
- ビデオ再生（録画先と再生ファイルの保存先が同一の「録画番組」ファイル（P68）を再生）
- ビデオファイルのコピー
- ビデオファイルのプロテクト / 消去
（録画先とプロテクト / 消去するファイルの保存先が同一の場合）
- 音楽再生
（録画先が SD カードで、SD カード内の「 SD-Audio 」アイコンのある音楽を再生する場合）
- 無線 LAN 接続が必要なアプリケーションの起動

次のページに続く

■録画先メモリーについて

録画先メモリーを SD カードに設定した場合でも、録画開始時に SD カードが入っていない場合や録画可能な SD カード※が入っていない場合は、内蔵メモリーに録画されます。

- 録画途中で SD カードの録画可能時間がなくなった場合は、内蔵メモリーに録画は引き継がれません。

※録画可能な SD カード

- SD カードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」側になっていない
- 録画に十分な録画可能時間が残っている
- 録画可能番組数（最大 99 番組）が記録されていない
- 認識できる SD カードである（サポート外のフォーマットでないなど）

■録画中に電波状況が悪くなると

録画が一時中断になり、ステータスバーに中断中のメッセージが表示されます。電波状況が回復すると、表示が消えて録画を再開します。このような状況で録画された番組を再生すると、録画されなかった区間はとび越して再生されます。

予約録画時間が重なっている場合は

予約時に、他の予約録画と重なっている場合は、重複予約の確認画面が表示されます。「はい」または「いいえ」を選んでください。

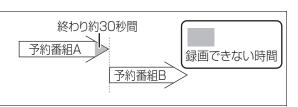
重複した場合の録画内容

- 録画開始時刻が同じときは、あとから予約した番組を録画します。
- 録画開始時刻になった番組を録画終了時刻まで録画したあと、すでに開始時刻を過ぎている番組を途中から録画します。

前の予約番組の終了時刻と次の予約番組の開始時刻が同じとき

次の予約録画の準備のため、前の予約番組の終わり約 30 秒間が録画されません。

次のページに続く

戻る

予約録画の開始時刻になると

本機の状態によって、予約録画が実行されなかったり、録画開始時刻前の本機の状態を継続できないことがあります。

本機の状態	録画開始時刻の本機の動き	録画の可否
電源「切」	録画されません。	否
パソコンと本機を接続中	録画されません。	否
スタンバイ状態	スタンバイ状態のままで録画が開始されます。（動作表示ランプが約 1 秒間隔で点滅） ● 録画中は、[•DISP/−POWER] ボタンを押して画面をつけたり消したりすることができます。	可
ワンセグテレビ視聴中（予約録画番組のチャンネルと異なるチャンネルを視聴中）	予約録画開始時刻 1 分前になると、ステータスバーに「 」が表示され、30 秒前になると予約録画するチャンネルに切り換わります。（動作表示ランプが約 1 秒間隔で点滅） 録画をキャンセルして続きを楽しみたい場合☞ P53	可
現在視聴中のワンセグテレビ番組を録画中	録画を停止しないと予約録画が開始されません。 45 ページの操作をして録画を停止すると予約録画が開始します。	可
ビデオ再生中（「録画番組」ファイル（P68）を再生時で、かつ再生ファイルの保存先と予約録画の録画先のメモリーが同一の場合）	予約録画開始時刻 1 分前になると、ステータスバーに「 」が表示され、予約録画開始時刻になるとビデオ再生を停止してビデオファイルリスト画面になります。（動作表示ランプが約 1 秒間隔で点滅） 録画をキャンセルして続きを楽しみたい場合☞ P53	可
ビデオファイルコピー中	予約録画開始時刻 1 分前になると、ステータスバーに「 」が表示され、予約録画開始時刻になるとコピー / プロテクト / 消去を中止してビデオファイルリスト画面になります。（動作表示ランプが約 1 秒間隔で点滅）	可
ビデオファイルプロテクト中（プロテクトするファイルの保存先と予約録画の録画先のメモリーが同一の場合）		
ビデオファイル消去中（消去するファイルの保存先と予約録画の録画先のメモリーが同一の場合）		
音楽再生中（SD カードの「 SD-Audio 」アイコンのある音楽を再生中で、かつ予約録画の録画先のメモリーが SD カードの場合）	予約録画開始時刻 1 分前になると、ステータスバーに「 」が表示され、予約録画開始時刻になると音楽を停止してお知らせ画面が表示されます。「OK」を選ぶと音楽リスト画面になります。（動作表示ランプが約 1 秒間隔で点滅） ● SD カードに録画する場合は、「 SD-Audio 」アイコンのある音楽の再生はできません。 録画をキャンセルして続きを楽しみたい場合☞ P53	可

次のページに続く

 戻る

■予約をキャンセルする（予約録画開始時刻 1 分前のキャンセル）

● テレビ視聴中は

❶ （番組情報表示が消えているときは画面をタップしてから）「録画キャンセル」を選ぶ

❷ 確認画面で「はい」を選ぶ

● テレビ以外のアプリケーションを立ち上げているときは

❶ ステータスバーを下方向へドラッグする

❷ 「 録画開始待ち」を選ぶ
テレビ画面が表示されます。

❸ 「録画キャンセル」を選ぶ

❹ 確認画面で「はい」を選ぶ

予約録画が始まると

ステータスバーに「 」が表示され、動作表示ランプが約 1 秒間隔で点滅します。
●録画終了後は、録画開始前の画面に切り換わります。

■録画を停止する

● 録画番組を視聴中に録画を停止する

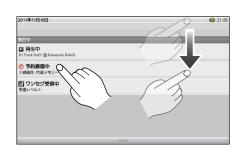
❶ （番組情報表示が消えているときは画面をタップしてから）「録画停止」を選ぶ

❷ 確認画面で「はい」を選ぶ

● テレビ以外のアプリケーション画面で録画を停止する

❶ ステータスバーを下方向へドラッグする

❷ 「 予約録画中」を選ぶ
テレビ画面が表示されます。

❸ 「録画停止」を選ぶ

❹ 確認画面で「はい」を選ぶ

予約録画を確認 / 変更 / 取り消しする

準備　●テレビを受信しておく（P38）

1 本機の［⁝☰］を押して「予約一覧」を選ぶ

2 変更 / 取り消ししたい予約を選ぶ

予約内容が表示されます。

●変更 / 取り消しがなければ、本機の [⮌] を押して予約一覧に戻ってください。

■変更する場合

3 変更したい項目を選び、予約内容を修正する

4 「予約修正」を選ぶ

■取り消す場合

3 「予約取消」を選ぶ

4 確認画面で「はい」を選ぶ

◇ 予約一覧を消して元の画面に戻るには

本機の [⮌] を押してください。

お知らせ

●現在予約録画実行中の番組は、変更や取り消しすることができません。変更や取り消ししたい場合は予約録画を停止してから操作してください。（P53）

次のページに続く

予約一覧画面

A	**現在の時刻** ● 時計は、テレビ放送を受信すると自動的に設定されます。
B	**録画可能時間の目安** ● 内蔵メモリーとSDカードの録画可能時間を時間と分で表示します。 ● 録画可能なSDカードが入っていない場合は「SD --:--」と表示されます。 ● 録画可能時間について、詳しくは 200 ページをお読みください。
C	**予約録画が重複している番組**

D	**毎週予約の設定がされている番組**
E	**正しく録画されなかった番組** ● タップすると録画されなかった理由が表示されます。 ● 理由を表示中に「未実行履歴消去」をタップすると表示中の履歴を消去します。 ● 未実行履歴 の番組は最大 4 件まで表示されます。4 件を超えると、古いものから自動的に消去されます。

再生ファイルの準備

本機で再生できるビデオ、音楽、写真ファイルを準備するには、以下の方法があります。

ビデオファイル

- 本機でワンセグ放送を受信して録画（P44）
- パソコンのエクスプローラーでドラッグ & ドロップで転送（P60）
- Windows Media Player を使って転送（P64）
（著作権保護されたファイルを転送する場合、Windows Media Player を使って転送してください）
- 当社製レコーダーなどで録画した録画番組を SD カードに持ち出して（P57）、その SD カードを本機に挿入
- USB 接続ケーブル（付属）を使って USB 端子付きのレコーダーと接続して持ち出し番組を転送（P63）

音楽ファイル

- パソコンのエクスプローラーでドラッグ& ドロップで転送（P60）
- Windows Media Player を使って転送（P64）
（著作権保護されたファイルを転送する場合、Windows Media Player を使って転送してください）
- 当社製のレコーダーやステレオシステムまたは当社製ソフトウェア（SD-Jukebox）で音楽ファイルを記録した SD カード（P57）
を本機に挿入

写真ファイル

- パソコンのエクスプローラーでドラッグ & ドロップで転送（P60）
- デジタルカメラで写真を撮影した SD カードを本機に挿入

無線で転送する ☞ 102、104、111

次のページに続く

戻る

ビデオファイル記録の対応機器のご紹介

当社製機器（レコーダーやテレビなど）で録画した録画番組を SD カードに持ち出し、本機で再生することができます。

- DLNA 対応機器と無線 LAN で DLNA 接続し、ビデオファイルを転送することもできます。詳しくは 102 ページ、104 ページ、111 ページをお読みください。

SD カードに持ち出し可能対応機器

（2011 年 6 月現在）

商品名	対応機器の品番
ブルーレイディスクレコーダー	DMR-BZT900※、DMR-BZT800※、DMR-BZT700※、DMR-BZT600※、DMR-BRT300※、DMR-BWT3100※、DMR-BWT2100※、DMR-BWT1100※、DMR-BWT500※、DMR-BW890※、DMR-BW690※、DMR-BR590、DMR-BR585、DMR-BF200
テレビ	TH-P46RT2B、TH-P42RT2B、TH-P50R2、TH-P46R2、TH-P42R2、TH-L37R2B、TH-L32R2B 、TH-L37R2、TH-L32R2、TH-L19R2
ポータブルテレビ	SV-ME870、SV-ME850V、SV-ME750、SV-ME650、SV-ME550、SV-ME75、SV-MC75、SV-MC55
デジタルメディアプレーヤー	SV-MV100
上記以外の対応機器については下記サポートサイトでご確認ください。 http://panasonic.jp/support/viera_1/	

※「高画質（VGA）」「ワンセグ画質（QVGA）」の持ち出しに対応した機器です。本機は「高画質（VGA）」「ワンセグ画質（QVGA）」再生に対応しています。

- 他社製品の機器などで録画した番組を本機で再生することは保証していません。
- 上記レコーダー/ テレビで録画したファイルを本機で再生することはできますが、本機で録画したビデオファイルを上記レコーダー / テレビで再生することはできません。

音楽ファイル記録の対応機器のご紹介

（2011 年 6 月現在）

商品名	対応機器の品番
コンパクトステレオシステム	SC-HC40、SC-HC4
ブルーレイディスクレコーダー	DMR-BZT900、DMR-BZT800、DMR-BZT700、DMR-BZT600、DMR-BWT3100、DMR-BWT2100、DMR-BWT1100、DMR-BW890、DMR-BW690、DMR-BWT500
上記以外の対応機器については下記サポートサイトでご確認ください。 http://panasonic.jp/support/viera_1/	

次のページに続く

本機で再生できるファイル形式

	ファイル形式	詳細	拡張子
ビデオ	H.264(Baseline Profile) MPEG-4 (Simple Profile)	ビットレート　：～4 Mbps フレームレート：～30 fps 画角サイズ　　：～720 × 480	.mp4 .m4v .3gp .3g2
	WMV※2	ビットレート　：～3 Mbps フレームレート：～30 fps 画角サイズ　　：～640 × 360	.wmv
	SD Video (SD カードのみ)	SD Video H.264 Mobile Video Profile【VGA画質※3】 SD Video ISDB-T Mobile Video Profile (Class4)【VGA 画質※4、ワンセグ画質】	–
音楽※1	AAC	ビットレート：～320 kbps	.m4a .mp4 .3gp
	MP3	ビットレート：～320 kbps	.mp3
	WMA※2	ビットレート：～192 kbps	.wma
写真	JPEG	JPEG ベースライン方式、DCF 準拠、Exif2.2 準拠	.jpg

- 上記ファイル形式のすべてのファイルの再生を保証するものではありません。
- ファイル形式に対応していても、ファイルによっては再生位置を正しく変更できない場合があります。

※1　SD Audio は SD カードにのみ保存可能です。SD Audio の対応ビットレートなどの詳細は、転送する機器や SD-Jukebox の取扱説明書をお読みください。

※2　著作権保護された WMA および WMV は内蔵メモリーに転送されたファイルのみ再生可能です。(SD カードまたは DLNA 経由でのファイルの再生はできません)

※3　当社製レコーダーから持ち出し番組を SD/USB 経由で持ち出す場合に、記録画質を高画質（VGA）に設定して SD カードに保存したファイル

※4　当社製レコーダーから持ち出し番組をネットワーク経由（DLNA）で転送したファイル

本機で認識できるファイル数

ビデオ	録画番組	内蔵メモリー：4095 ファイル	SD カード：99 ファイル
	その他動画	内蔵メモリー：2000 ファイル	SD カード：2000 ファイル
音楽		内蔵メモリー：8000 ファイル	SD カード：8000 ファイル
写真		内蔵メモリー：10000 ファイル	SD カード：10000 ファイル

- フォルダ構成やファイル名によって、本機で認識できるファイル数が前後します。

パソコンと接続する

動作環境を確認する

<table>
<tr><td rowspan="6">対応 OS
（プリインストールされた各日本語版）</td><td>Windows XP SP3</td></tr>
<tr><td>Home Edition/Professional</td></tr>
<tr><td>Windows Vista SP1、SP2</td></tr>
<tr><td>Home Basic/Home Premium/Business/Ultimate</td></tr>
<tr><td>Windows 7 および SP1</td></tr>
<tr><td>Starter/Home Premium/Professional/Ultimate</td></tr>
</table>

※ Windows Media Player 11 以降が必要です。

- Windows XPをお使いの場合は、必ずWindows Media Player 11以降にアップデートしてご使用ください。

次のページに続く

パソコンと接続してファイルを転送する

準備
- パソコンを起動させておく
- 本機の電源を入れて画面を点灯させておく（P19）

1 付属のUSB接続ケーブルを使って、本機とパソコンを接続する

- 録画、転送、再生などの動作中にパソコンに接続すると、接続前の動作（録画、転送、再生など）が停止します。

2 接続先選択画面が表示されるので、「USB 接続（内蔵メモリー）」または「USB 接続（SD カード)」を選ぶ

3 ドラッグ & ドロップでファイルを転送する

内蔵メモリーに転送時は、下記フォルダーに転送することをおすすめします。

- ビデオファイル　→　「Video」フォルダー
- 音楽ファイル　→　「Music」フォルダー
- 写真ファイル　→　「Pictures」フォルダー

内蔵メモリーフォルダー構造

（画面例：Windows 7 使用の場合）

転送時のお知らせ　☞P 62

Windows Media Player を使って転送する場合　☞P 64

次のページに続く

■パソコンから取り外す

本機の接続先を「USB 接続（内蔵メモリー）」に設定している場合

ファイル転送が完了していることをパソコン画面で確認してから USB 接続ケーブルを取り外してください。

本機の接続先を「USB 接続（SD カード）」に設定している場合

パソコンのタスクトレイにあるアイコン（「 」や「 」）をダブルクリックし、画面の指示に従って USB 接続ケーブルを取り外してください。（OS の設定によっては表示されません）

お知らせ

- **USB 接続ケーブルは付属のものをお使いください。また、付属のケーブルは他の機器に使わないでください。**
- パソコンと接続中は、予約録画や当社製お部屋ジャンプリンク（DLNA）対応レコーダーからの転送は実行されません。
- パソコンと接続すると充電されますが、満充電になるまで約 9 時間かかります。
- パソコンを起動（再起動）するときは、本機から USB 接続ケーブルを抜いておくことをおすすめします。
- 1 台のパソコンに 2 台以上の USB 機器を接続している場合や、USB ハブ、延長ケーブルを使用する場合は、動作を保証しません。

■USB 接続先を切り換えるには

本機に接続中の USB 接続ケーブルを一度取り外し、再度接続すると接続先選択画面が表示されます。再度接続先を選択してください。

■内蔵メモリー /SD カードに転送したファイルの更新について

USB 接続ケーブルをパソコンと接続したり取り外したときなどに、再生ファイルの管理情報を更新します。（更新中はステータスバーに「 」が表示されます）

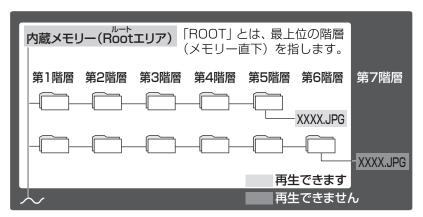
本機の操作ができない場合は、「 」表示が消えてから操作してください。

- ファイル数が多い場合は更新が完了するまでに時間がかかります。
- 電源がスタンバイ状態のときは更新されません。

次のページに続く

ファイル転送時のお知らせ

■内蔵メモリーに転送時

- 内蔵メモリーの 6 階層目まで転送できます。

- フォルダー名は 31 文字まで、ファイル名は 63 文字まで対応しています。
- パソコンから内蔵メモリーに転送するファイルが本機サポート外のファイルの場合、転送時に本機サポートのファイル形式に変換される場合があります。

■SD カードに転送時

- 本機で再生できるファイルは SD カードの 8 階層目までに転送されたファイルです。

お知らせ

- ビデオ、音楽、写真ファイルを、フォルダー名が「.(ピリオド)」で始まるフォルダーに転送しないでください。本機で再生できません。
- 「DCIM」フォルダー、「SD_VIDEO」フォルダー、「SD_AUDIO」フォルダーがある場合、これらのフォルダーを消去したり、フォルダー名を変更しないでください。
- 「SD_VIDEO」フォルダーと「SD_AUDIO」フォルダーにドラッグ & ドロップでファイルを転送しないでください。
- 当社製ソフトウェア (SD-Jukebox) を使って音楽を転送する場合、内蔵メモリーに転送することはできません。SD カードに転送してください。

当社製レコーダーと接続する

USB 端子付き当社製レコーダーと本機を USB 接続ケーブル（付属）で接続して、本機に入れた SD カードに持ち出し番組や音楽ファイルを転送できます。

準備
- 本機に SD カードを入れておく（P15）
- 本機とレコーダーの電源を入れておく

1 付属の USB 接続ケーブルを使って、本機とレコーダーを接続する

2 接続先選択画面が表示されるので「USB 接続（SD カード）」を選ぶ

お知らせ
- レコーダーの取扱説明書もお読みください。
- 内蔵メモリーに転送することはできません。

Windows Media Playerを使って本機に転送する

Windows Media Player は Windows Media Player11 以降を使用してください。（P59）
- 本書では、Windows Media Player 12 で説明しています。Windows Media Player 12 以外で転送する場合は、Windows Media Player のヘルプをご覧ください。

パソコン内の音楽や動画、音楽 CD の曲を本機に転送するには、大きく分けて以下の 2 つの手順が必要です。
① Windows Media Player に動画や音楽ファイルを取り込む
② Windows Media Player に取り込んだ動画や音楽を転送する（P66）
- すでに Windows Media Player に動画や音楽を取り込んでいる場合は ②の操作から行ってください。（P66）

① Windows Media Player に取り込む

パソコン内の動画を取り込む場合と音楽 CD の曲を取り込む場合で操作が異なります。

■パソコン内の動画を取り込む場合

準備　●パソコンを起動しておく

1 Windows Media Player 12を起動する

2 画面左の「ビデオ」をクリックする

3 取り込むファイルを Windows Media Player にドラッグする

取り込んだ動画を本機に転送する ☞P 66

次のページに続く

戻る

■音楽 CD の曲を取り込む場合

準備 ●パソコンを起動し、音楽 CD をパソコンに入れておく

1 **Windows Media Player 12を起動する**

CD 内の曲の一覧が表示されます。

2 **取り込まない曲があれば、クリックして「☑」（チェック）を外す**

3 **「»」をクリックして「CD の取り込み」をクリックする**

チェックを入れた曲の取り込みを開始します。

お知らせ

- 取り込んだ曲はパソコンのミュージックライブラリに保存されます。
- インターネットに接続したパソコンをご使用の場合、マイクロソフトのサーバーに音楽 CD の情報が付与されていれば、自動的にアルバム名やタイトルを取り込みます。
- 音質やファイル形式などを変更する場合や、音楽と一緒にジャケット写真も転送する場合など、詳しくは Windows Media Player 12 のヘルプをご覧ください。

取り込んだ音楽を本機に転送する☞P 66

次のページに続く

戻る

② 本機に転送（同期）する

準備

●パソコンを起動しておく
●本機の電源を入れて画面を点灯させておく（P19）

1 パソコンと本機を付属の USB 接続ケーブルで接続しておく（P60）

2 Windows Media Player12 を起動する

3 画面右の「同期」をクリックする

4 画面左の「ビデオ」または「音楽」をクリックする

5 転送したいファイルを右クリックし、「追加」→「同期リスト」を選ぶ

画面右下段の同期リストに選んだファイルが追加されます。

●右側の同期リストにドラッグ & ドロップで追加することもできます。

6 「同期の開始」をクリックする

転送（同期）が開始されます。

お知らせ

- 詳しくは Windows Media Player のヘルプをご覧ください。
- ライセンス（著作権保護）付きファイルは、そのライセンスの条件によっては本機に転送できない場合があります。
- 本機の日時設定が正しくない場合、著作権保護されたファイルは再生できない場合があります。
- 本機に転送時に、本機に対応した形式に変換処理が行われる場合があります。

ビデオを再生する

本機で録画したワンセグ放送を再生したり、当社製レコーダーやパソコンから転送したファイルを再生することができます。

準備　●再生ファイルを準備しておく（P56）

1 本機の [⌂] を押す

ホーム画面が表示されます。

2 「(ビデオ)」アイコンを選ぶ

ビデオファイルリストが表示されます。

3 再生したいファイルを選ぶ

❶ 保存先を切り換える

- :内蔵メモリーに保存したビデオファイル
- SD :SD カードに保存したビデオファイル

❷ タップしてファイルの種類を切り換える

録画番組　：本機で録画したワンセグ放送や当社製レコーダーから転送したファイル

その他動画：パソコンから転送した動画ファイル

- 切換画面はしばらく操作しないでいると自動的に隠れます。

ビデオファイルリスト画面（「録画番組」）

まだ視聴していないビデオファイル

☞ P70　☞ P74　☞ P70

「」（「」）をタップするたびに、サムネイル※ / リスト表示を切り換えることができます。

※「サムネイル」とは複数の画像を一覧表示するために縮小した画像のことです。

- 録画日が不明な場合、録画日は「---------」と表示されます。

お知らせ

- 容量が 2 GB 以上のファイルは正常に再生できない場合があります。
- DLNA 対応機器からファイルを転送中や Podcast/RSS の内容をダウンロード中は、再生画面が乱れたりとぎれたりすることがあります。（転送中やダウンロード中は動作表示ランプが約 1 秒間隔で点滅します）
- 録画中は録画先と同じメモリーの録画番組を再生できません。
- 当社製お部屋ジャンプリンク（DLNA）対応レコーダーで SD カードに転送中は SD カードの録画番組を再生できません。

次のページに続く

■音量を調整する

本機の [＋][－] を押す

■再生操作をする

画面をタップしたりドラッグして操作します。

● 操作アイコンは操作後しばらくすると消えます。（本機を縦向きに構えているときは消えません）

操作アイコンが消えているときは

画面をタップして操作アイコンを表示してください。タップするたびに表示させたり消したりすることができます。（表示を消すときは、操作アイコンがないところをタップしてください）

A	**一時停止する（再生する）：**（ ） ● 一時停止した状態でプログレスバーを移動させたり、スキップをしたあとは自動的に再生が始まります。
B	**プログレスバー** 左右にドラッグして再生位置を変更します。 ● プログレスバーに灰色の縦線が表示されている場合はチャプターマークに対応しています。（P71） ● ファイルによって再生位置を正しく変更できない場合があります。

C	**スキップする** ● 当社製レコーダー/テレビで作成されたチャプターマークがあるファイルは、チャプターマーク単位でスキップします。 ● ファイルによってスキップできない場合があります。
D	**10秒戻しスキップ/30秒送りスキップ** 10s戻し ：10 秒前※に戻します。 30s送り ：30 秒先※に進めます。 ※ 再生しているファイルによっては誤差が生じる場合があります。 ● ファイルをまたいでスキップすることはできません。

■停止してビデオファイルリストに戻る場合

本機の [⮌] を押してください。

次のページに続く

■「まとめ」表示のある番組（まとめ表示）

「毎週予約」を設定して予約録画したファイルをビデオファイルリスト画面で１つのタイトルにまとめて表示／管理します。

- ビデオファイルリスト画面で「まとめ」表示のある番組を選ぶと、「毎週予約」設定によって繰り返し録画されたビデオファイルが表示されます。

「まとめ表示」しないようにする P76

■「録画中断区間あり」が表示されている場合

本機でワンセグ録画したときに電波状況が悪いなど正常に録画されていない区間がある場合、ビデオファイルリストに表示されます。
再生すると、録画されなかった区間はとび越して再生されます。途中に録画されなかった区間があった場合でも、記録時間の表示はこの区間を含めたものになります。

■ビデオファイルリスト画面で詳細情報を確認する

ビデオファイルリスト画面で詳細情報を確認したいファイルを長くタッチすると詳細情報が表示されます。

詳細情報画面

「先頭から再生」
タップすると、選んでいるファイルの先頭から再生を開始します。

「SD カードにコピー」
タップすると、選んでいるファイルをSDカードにコピーできます。

「プロテクト」
タップすると、選んでいるファイルを保護（プロテクト）します。

「消去」
タップすると、選んでいるファイルを消去します。

詳細情報を消して元の画面に戻るには本機の［ ］を押してください。

次のページに続く

■レジューム機能

前回停止したところから再生します。

- 当社製レコーダーやテレビで録画した番組をSDカードに持ち出し本機で再生した場合、レコーダー/テレビで見ていた続きから再生されます。（続き再生メモリー機能）

番組の先頭から再生させるときは

1. ビデオファイルリスト画面で詳細情報画面が表示されるまでファイルを長くタッチする
2. 「先頭から再生」を選ぶ

■チャプターマーク対応

当社製レコーダー/テレビから SD カードに持ち出した番組の場合、作成されたチャプターマークは本機にも引き継がれるため、スキップ操作で見たい場面を探すことができます。

お知らせ

- SD カードの書き込み禁止スイッチが [LOCK] 側になっている場合は（P16）停止位置が記録されず、レジュームされません。
- レコーダー/テレビで編集などを行った場合は、チャプターマークが引き継がれなかったり、レジューム機能が働かない場合があります。
- チャプターマークやレジューム位置は多少ずれる場合があります。
- 録画番組の持ち出しかたやチャプターマークの作成については、レコーダーやテレビの取扱説明書をお読みください。
- 当社製お部屋ジャンプリンク（DLNA）対応レコーダーで途中まで視聴していた持ち出し番組を無線 LAN 接続して転送した場合、レコーダーで視聴していた続きから再生されず、ファイルの先頭からの再生になります。

ビデオを保護（プロテクト）する

誤って消去しないように、録画番組のビデオファイルを保護（プロテクト）することができます。

●「その他動画」のファイルにプロテクトすることはできません。

準備 ●ビデオファイルを再生している場合は停止して（P69）、「録画番組」のビデオファイルリスト画面にしておく（P68）

1 本機の［⁝☰］を押して「プロテクト」を選ぶ

2 保護したい録画番組のビデオファイルを選ぶ

選んだビデオファイルに鍵マーク（🔒）が入ります。

●保護を解除したい場合は、「🔒」のあるビデオファイルをタップしてください。

3 保護するビデオファイルをすべて選んだあと、「実行」を選ぶ

4 確認画面で「はい」を選ぶ

プロテクトされたファイルにはビデオファイルリスト画面で「🔒」が表示されます。

●複数のビデオファイルをプロテクトする場合、実行中に本機の［↩］、［⌂］、［•DISP/–POWER］ボタンのいずれかを押すと、ボタンを押した以降のファイルのプロテクトを中止します。

お知らせ

●プロテクトしたいファイルを長くタッチして詳細情報を表示し、設定することもできます。（P70）

●保護していてもフォーマットした場合は消去されます。

●電池残量表示が「▭」になっているときは、プロテクト / プロテクト解除することはできません。

戻る

録画番組をコピーする（内蔵メモリー→ SD カード）

本機の内蔵メモリーにワンセグ録画した番組を SD カードにコピーすることができます。

●以下のコピーには対応していません。

- SD カードのビデオファイルを内蔵メモリーにコピー
- 「その他動画」のファイルをコピー
- 当社製お部屋ジャンプリンク（DLNA）対応レコーダーから内蔵メモリーに転送されたファイルをコピー

準備

- ●SD カードを入れておく（P15）
- ●ビデオファイルを再生している場合は停止して（P69）、「録画番組」のビデオファイルリスト画面にしておく（P68）
- ●保存先メモリーを「内蔵メモリー」にしておく（P68）

1 本機の［⁝☰］を押して「コピー」を選ぶ

2 コピーしたい録画番組のビデオファイルを選ぶ

選んだビデオファイルにチェック（✓）が入ります。

- ●もう一度ビデオファイルをタップすると、チェックが外れます。

3 コピーするビデオファイルをすべて選んだあと、「実行」を選ぶ

4 確認画面で「はい」を選ぶ

- ●複数のビデオファイルをコピーする場合、コピー中に本機の［⮌］、［⌂］、［•DISP/━POWER］ボタンのいずれかを押すと、ボタンを押した以降のファイルのコピーを中止します。

次のページに続く

戻る

コピーの制限について

デジタル放送のほとんどの番組には、不正なダビングを防止し著作権を保護するためコピー制限があります。

10：数字はコピーできる残り回数を示しています。

- 数字が「1」になると、これ以上コピーすることはできません。このファイルのコピー操作を行うと、確認画面が表示されます。
  「OK」をタップすると、選んだファイルは内蔵メモリーから消去され、SD カードへ移動します。
- プロテクトされているファイルは移動できません。

コピー制御のしくみに関する一般的な内容については、下記ホームページをご覧ください。
社団法人 デジタル放送推進協会　　　　http://www.dpa.or.jp

お知らせ

- コピーしたいファイルを長くタッチして詳細情報を表示し、コピーすることもできます。(P70)
- まとめ表示しているビデオファイル（「まとめ」表示のあるビデオファイル）を選んだ場合は、そのタイトル内にまとめられているコピー可能なファイルをコピーします。この場合、「1」の表示されているファイルは内蔵メモリーから消去され、SD カードへ移動します。
- 電池残量表示が「　」になっているときはコピーできません。

ビデオを消去する

準備　●ビデオファイルを再生している場合は停止してビデオファイルリスト画面にしておく（P69）

1 本機の［⁝☰］を押して「選択消去」または「全消去」を選ぶ

●「全消去」を選んだ場合は手順 **4** へ進んでください。

2 消去したい録画番組のビデオファイルを選ぶ

選んだビデオファイルにチェック（✓）が入ります。

●もう一度ビデオファイルをタップすると、チェックが外れ選択が解除されます。

3 消去するビデオファイルをすべて選んだあと、「実行」を選ぶ

4 確認画面で「はい」を選ぶ

●複数のビデオファイルを消去する場合、消去中に本機の［↩］、［⌂］、［•DISP/−POWER］ボタンのいずれかを押すと、ボタンを押した以降のファイルの消去を中止します。（中止するまでに消去された番組は元に戻すことはできません）

◇ 消去後のワンセグ録画可能時間について

放送局から送信されるビットレート（単位時間あたりの情報量）は、放送局や番組によって異なります。
本機では、ビットレートの大きい番組（412 kbps）を想定してワンセグ録画可能時間の目安を表示しています。そのため、本機で録画したビデオファイルで、情報量の少ない番組を消去した場合は、消去した番組の録画時間に対して、増加する録画可能時間が少なくなります。

お知らせ

●消去したいファイルを長くタッチして詳細情報を表示し、消去することもできます。（P70）
●「プロテクト」設定されたビデオファイルは消去できません。
●まとめ表示しているビデオファイル（「まとめ」表示のあるビデオファイル）を選んだ場合は、そのタイトル内にまとめられているすべてのファイルが消去されます。
●電池残量表示が「□」になっているときは、消去できません。

ビデオの再生設定

本機の［⁝☰］を押して次の順で選ぶ

ビデオの設定 → 希望の設定項目 → 希望の設定内容 → OK

設定項目	設定内容　（※：お買い上げ時の設定）
字幕 **（「録画番組」のみ）**	字幕放送に対応したビデオファイルを再生している場合に、字幕を表示して視聴することができます。 ※ **非表示**　**言語 1**　**言語 2** ●「言語 1」や「言語 2」に設定しても、対応する字幕情報がないビデオファイルの場合、字幕は表示されません。
二重音声 **（「録画番組」のみ）**	二重音声に対応したビデオファイルを再生している場合に、二重音声を切り換えて視聴することができます。 ※ **主**　**副**　**主＋副** ● 二重音声に対応していないビデオファイルの場合、主音声での視聴になります。
リピート	繰り返し再生するように設定することができます。 ※ **オフ**　**1 ファイル**　**全ファイル**
まとめ表示 **（「録画番組」のみ）**	「毎週予約」を設定して繰り返し録画したファイルをビデオファイルリスト画面でまとめて表示するように設定します。 ※ **オン**：まとめて表示します。 **オフ**：まとめて表示しません。

音楽を聴く

準備　●本機に音楽ファイルを転送しておく（P56）

1 本機の [⌂] を押す

ホーム画面が表示されます。

2 「♫（音楽）」アイコンを選ぶ

音楽リストが表示されます。

3 再生したいファイルを選ぶ

❶ 保存先を切り換える

- ：内蔵メモリーに保存した音楽ファイル
- SD ：SD カードに保存した音楽ファイル

❷ ファイルの分類を選ぶ

- ファイルの分類については80ページをお読みください。

❸ 再生したいファイルをタップする

- 「全曲」以外の分類を選んだ場合は、さらにアーティストやアルバムなどのプレイリストをタップして再生したいファイルを選んでください。

音楽リスト画面

タップするとスクロールします。

- 当社製レコーダーやステレオシステム、当社製ソフトウェア（SD-Jukebox）を使って SD カードに転送したファイルには「SD-Audio」が表示されます。

音楽を再生します。

動作表示ランプが約 3 秒間隔で点滅します。

- 画面は一定時間操作しないでいると消灯します。お買い上げ時は「10 分」に設定されています。一定時間の設定のしかたについては 173 ページをお読みください。

■音量を調整する

本機の [＋][－] を押す

次のページに続く

再生操作をする

画面をタップしたりドラッグして操作します。

● 操作アイコンは操作後しばらくすると消えます。（本機を縦向きに構えているときは消えません）

操作アイコンが消えているときは

画面をタップして操作アイコンを表示してください。タップするたびに表示させたり消したりすることができます。（表示を消すときは、操作アイコンがないところをタップしてください）

画面が消えているときは

[•DISP/−POWER] ボタンを押すと点灯します。

A	**ジャケット写真** 音楽に添付された JPEG 形式の写真を表示します。 ● ジャケット写真（アルバムアート・静止画添付）の添付のしかたについては、Windows Media Player の取扱説明書または当社製ソフトウェア（SD-Jukebox）の取扱説明書をお読みください。 ● ジャケット写真がない場合や表示できない場合は固定の画像が表示されます。 ● 1 曲に複数の写真を添付している場合、本機では最初の 1 枚のみが表示されます。
B	**スキップする** ● 左右にフリックしてスキップさせることもできます。 ● ランダム再生をしている場合は、再生し終わった曲へ戻ることはできません。
C	**一時停止する（再生する）:**

D	**ランダム再生する** タップするたびに、、を切り換えます。 ：選択したアルバム内を順不同に再生します。 ：順不同に再生しません。
E	**リピート再生する** ● タップするたびに、、、を切り換えます。 （全ファイルリピート）： 選択したプレイリスト内のすべての曲を繰り返し再生します。 （1 ファイルリピート）： 選択した曲を繰り返し再生します。 ： 繰り返し再生しません。
F	**現在の曲 / 総曲数**
G	**プログレスバー** 左右にドラッグして再生位置を変更します。 ● 一時停止した状態でプログレスバーをドラッグすると、自動的に再生が始まります。 ● ファイルによって再生位置を正しく変更できない場合があります。

次のページに続く

戻る

■音楽再生画面から音楽リスト画面に戻る

本機の［↩］を押す

- 現在選択中の曲は、音楽リストの右端に「▶」を表示します。
- 本機の［☰］を押して「リスト画面へ」をタップして音楽リスト画面を表示することもできます。

■音楽リスト画面から現在再生中の音楽の再生画面に戻る

音楽リスト画面の「再生へ」をタップする

- 本機の［☰］を押して「再生画面へ」をタップして音楽再生画面を表示することもできます。

■画面を消灯 / 点灯させる

一定時間（173 ページで設定した時間）操作しないでいると自動的に画面は消灯しますが、本機の [•DISP/━POWER] ボタンを押して画面の消灯 / 点灯を切り換えることができます。

■音楽リスト画面で詳細を表示する

音楽リスト画面で詳細表示したいプレイリストや曲を長くタッチすると詳細情報を表示します。

- 詳細表示からリスト画面に戻るには「戻る」をタップしてください。

■レジューム機能

前回停止したところから再生します。

お知らせ

- 音楽を再生中に [•DISP/━POWER] ボタンを押すと、再生したままで画面が消灯します。音楽を聴かない場合は、停止してから [•DISP/━POWER] ボタンを押してください。
- SD カードに録画中や当社製お部屋ジャンプリンク（DLNA）対応レコーダーで SD カードに転送中は「SD-Audio」表示のある曲を再生できません。
- 本機で音楽の消去はできません。パソコンなど転送した機器で消去してください。

次のページに続く

■ファイルの分類

全曲	選んでいる内蔵メモリーまたは SD カード内のすべての曲から選べます。リストはアルファベット → かな → 漢字の順で表示されます。
アーティスト	音楽データにアーティスト情報がある場合、アーティストごとに分類された中から選べます。 ● アーティスト情報がない場合は「不明なアーティスト」と表示されます。
アルバム	音楽データにアルバム情報がある場合、アルバムごとに分類された中から選べます。 ● アルバムの場合はジャケット画像が表示されます。ジャケット画像がない場合は固定の画像が表示されます。 ● アルバム情報がない場合は、「不明なアルバム」またはファイルが含まれるフォルダ名が表示されます。 ● 本機を横に構えたときと縦に構えたときで表示のしかたが変わります。 **サムネイル画面** 左右にフリックしてください。 **リスト画面**
ジャンル	音楽データにジャンル情報がある場合、ジャンルごとに分類された中から選べます。 ●「SD-Audio」が表示される曲（P77）はジャンル情報がありません。
プレイリスト	**新曲**※ 当社製ステレオシステムや当社製ソフトウェア（SD-Jukebox）で新曲転送された曲を選べます。 **マイベスト**※ 当社製マイベスト機能搭載オーディオ機器でマイベストに分類された曲を選べます。 **ウキウキ系/癒し系/ゆったり系/騒ぎたい感じ/ポップ系/切ない感じ/ノリノリ系**※ 当社製ステレオシステムや当社製ソフトウェア（SD-Jukebox）などで印象に分類されたプレイリストから選べます。 **ユーザープレイリスト** Windows Media Player や当社製ソフトウェア（SD-Jukebox）でお客様が作成されたプレイリスト（再生リスト）から選べます。 ● 上記のプレイリストは、プレイリストがある場合のみ表示します。 ●「※」のプレイリストは、「SD-Audio」が表示される曲（P77）がある場合のみ表示します。

●「全てのアーティスト」を選ぶとすべてのアーティストのアルバムを一覧表示します。
●「全てのアルバム」を選ぶとすべてのアルバムの曲をアルバム単位の曲順で一覧表示します。
●「全てのジャンル」を選ぶとすべてのジャンルのアーティストを一覧表示します。

写真を再生する

デジタルカメラなどで撮影した JPEG 形式のファイルを選んで表示したり（シングル表示）、1枚ずつ順番に再生する（スライドショー）ことができます。

写真を表示する（シングル表示）

1 本機の [⌂] を押す

ホーム画面が表示されます。

2 「▦」を選んでランチャー画面を表示し、「(写真)」アイコンを選ぶ

写真が一覧表示されます。

写真一覧画面

保存先を切り換えます。
：内蔵メモリーに保存した写真
SD ：SD カードに保存した写真

3 写真一覧画面から再生したい写真を選ぶ

選んだ写真がシングル表示されます。
操作表示はしばらくすると消えます。

- 一覧画面にすべての写真を表示できていない場合は、画面を上下にフリックしてください。
- シングル表示させたあと、画面を左右にフリックして表示する写真を変更することができます。

シングル表示の写真の画像が粗い場合があります。

シングル表示画面はサムネイル※の拡大画像を一時的に表示後、主画像の写真を表示します。このため、一覧画面から写真を選んでシングル表示したときやシングル表示で画像を切り換えたときは、画像の粗い写真が表示される場合があります。(写真のファイルサイズが大きい場合は数秒表示されることもあります)

※「サムネイル」とは、複数の画像を一覧表示するために縮小した画像のことです。

シングル表示画面

◇ 一覧画面に戻るには

本機の [⮌] を押してください。

次のページに続く

写真を順番に再生する（スライドショー）

準備　●写真をシングル表示しておく（P81）

（操作表示が消えているときは画面をタップしてから）
「▶」をタップする

順番に写真の再生が始まり、繰り返し再生します。

■再生操作をする

画面をタップしたりフリックして操作します。
●操作アイコンは操作後しばらくすると消えます。

操作アイコンが消えているときは
画面をタップして操作アイコンを表示してください。タップするたびに表示させたり消したりすることができます。（表示を消すときは、操作アイコンがないところをタップしてください）

再生する（一時停止する）：
▶（⏸）

●スキップ（戻る・送る）する場合は左右にフリックしてください。

◇ 一覧画面に戻るには

本機の［↩］を押してください。

次のページに続く

■一覧画面で詳細情報を確認する

写真のファイル名、写真を記録（または更新）した日付、画素数、ファイルサイズを表示します。

写真一覧画面で詳細情報を確認したい写真を長くタッチしてください。

詳細情報を消して元の画面に戻るには本機の [ ] を押してください。

■音楽や radiko.jp を聴きながら写真を見るには

先に音楽の再生や radiko.jp を起動してから、ホーム画面に戻って「 （写真）」を選んでください。

お知らせ

- 「SD_VIDEO」「SD_AUDIO」フォルダー内のファイルは再生できません。パソコンの写真を転送する場合はこれらのフォルダーに転送しないでください。
- 一覧画面などではサムネイル画像を表示します。サムネイル画像がないなど、ファイルによって一覧画面などでサムネイル画像が表示できない場合は「 」を表示します。

写真を検索する

日付別に写真を表示する

準備 ●写真を一覧表示しておく（P81）

1 「日付検索」を選ぶ

●画面下に「日付検索」のメニューが表示されていない場合は、「↑」をタップすると表示します。

2 表示したい日付を選ぶ

選んだ日付に記録された写真が一覧表示されます。

3 表示したい写真を選ぶ

選んだ写真をシングル表示します。

◇ 元の一覧画面（すべての写真の一覧）に戻したい場合

手順 1 で「全ての写真」を選んでください。

お知らせ

- 日付表示できる範囲は 2037 年 12 月 31 日までです。
- 日付は写真の撮影日となります。写真ファイルに撮影日の情報がない場合、更新日（写真を本機の内蔵メモリーに転送した日やパソコンなどで編集した日）が表示されます。

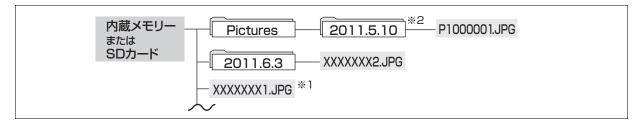
次のページに続く

フォルダー別に写真を表示する

本書では、以下のフォルダー構造の場合に写真を選ぶ操作で説明しています。

準備　●写真を一覧表示しておく（P81）

1 「フォルダー検索」を選ぶ

●画面下に「フォルダー検索」のメニューが表示されていない場合は、「↑」をタップすると表示します。

2 表示したいフォルダーを選ぶ

●現在開いているフォルダー内に写真とフォルダーがある場合、「このフォルダの写真」が表示されます。
※１　本例の場合、フォルダー構造説明の「XXXXXXX1.JPG」ファイルを選ぶ場合

●「　」で表示されるフォルダーは、さらに下の階層にフォルダーが存在します。
※２　本例の場合、フォルダー構造説明の「Pictures」フォルダー内にさらに「2011.5.10」フォルダーが存在

探しているフォルダーが見つかるまでこの操作を繰り返してください。

3 写真を選ぶ

選んだ写真をシングル表示します。

◇ 元の一覧画面（すべての写真の一覧）に戻したい場合

手順 *1* で「全ての写真」を選んでください。

写真をコピーする（内蔵メモリー ⟷ SD カード）

内蔵メモリーの写真を SD カードへコピーしたり、SD カードの写真を内蔵メモリーへコピーします。

- 写真コピーの操作をしているときにパソコンと接続するとコピーを中止します。
- 他機でプロテクト設定やお気に入り登録した写真をコピーしてもこれらの設定はコピーされません。

1 枚ずつコピーする

準備　● SD カードを本機に入れておく（P15）

1 コピーする写真をシングル表示にする（P81）

2 本機の［⁝☰］を押して「コピー」を選ぶ

3 確認画面で「はい」を選ぶ

お知らせ

- 一覧画面でコピーしたい写真を長くタッチして詳細情報を表示し、コピーすることもできます。（P83）
- 電池残量表示が「 」になっているときはコピーできません。

次のページに続く

複数の写真を選んでコピーする

準備　●SD カードを本機に入れておく（P15）

1 写真を一覧表示にする（P81）

2 本機の［⁝☰］を押して「コピー」を選ぶ

3 コピーする写真を選ぶ

選んだ写真に「✅」（チェック）が入ります。

- もう一度タップするとチェックが消え、選択が解除されます。

4 コピーする写真をすべて選んだあと、「実行」を選ぶ

5 確認画面で「はい」を選ぶ

お知らせ

- 複数の写真をコピーする場合、コピー中に本機の［⮌］、［⌂］、［•DISP/‒POWER］ボタンのいずれかを押すと、ボタンを押した以降の写真のコピーを中止します。
- 電池残量表示が「▭」になっているときはコピーできません。

戻る

写真を消去する

写真を消去するには、現在表示中の写真を消去する方法、写真を選んで複数の写真を消去する方法、内蔵メモリーもしくは SD カード内のすべての写真を消去する方法があります。

- 消去の操作をしているときにパソコンと接続すると消去を中止します。
- 当社製デジタルカメラやポータブルテレビなどでプロテクト設定された写真は本機で消去できません。

選んでいる 1 枚だけを消去する

1 消去する写真をシングル表示にする（P81）

2 本機の［⁝☰］を押して「消去」を選ぶ

3 確認画面で「はい」を選ぶ

お知らせ

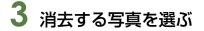
- 一覧画面で消去したい写真を長くタッチして詳細情報を表示し、消去することもできます。（P83）
- 電池残量表示が「▭」になっているときは消去できません。

次のページに続く

選んで消去する

1 写真を一覧表示にする（P81）

2 本機の［⁝☰］を押して「選択消去」を選ぶ

3 消去する写真を選ぶ

選んだ写真に「✅」（チェック）が入ります。

- もう一度タップするとチェックが消え、選択が解除されます。

4 消去する写真をすべて選んだあと、「実行」を選ぶ

5 確認画面で「はい」を選ぶ

- 複数の写真を消去する場合、消去中に本機の［⮌］、［⌂］、［•DISP/−POWER］ボタンのいずれかを押すと、ボタンを押した以降の写真の消去を中止します。（中止するまでに消去された写真は元に戻すことはできません）

すべて消去する

1 本機の［⁝☰］を押して「全消去」を選ぶ

2 確認画面で「はい」を選ぶ

- 消去中に本機の［⮌］、［⌂］、［•DISP/−POWER］ボタンのいずれかを押すと、ボタンを押した以降の写真の消去を中止します。（中止するまでに消去された写真は元に戻すことはできません）

お知らせ

- 電池残量表示が「▭」になっているときは消去できません。

写真を活用する（壁紙に設定・メール添付）

表示している写真を壁紙にしたり、メールや連絡先に添付したりして活用することができます。

写真を壁紙に設定する

1 設定する写真をシングル表示にする（P81）

2 本機の［⁝☰］を押して次の順で選ぶ

登録 / 共有 → 壁紙に登録

3 壁紙にする範囲を決め、「保存」を選ぶ

- オレンジ色の枠をドラッグして設定する範囲を決めます。
- 画像サイズによっては、範囲が固定されてオレンジ色の枠を調整できません。
- 設定後の画像表示範囲は、壁紙設定時のオレンジ色の枠で選択した範囲と多少異なります。

◇ 元の画面に戻るには

本機の［⮌］を押してください。

お知らせ

- 登録した写真を消去しても、壁紙は消去されません。

メールに添付する写真を選ぶ

1 添付する写真をシングル表示にする（P81）

2 本機の［⁝☰］を押して次の順でタップする

登録 / 共有 → メールで送信

メールを送受信できるように設定している場合は（P146）、メール作成画面が表示されます。メール作成については 150 ページをお読みください。

写真の再生設定

準備　●写真を一覧表示しておく（P81）

本機の［⁝☰］を押して、次の順で選ぶ

写真の再生設定 → 希望の設定項目 → 希望の設定内容

設定項目	設定内容　（※：お買い上げ時の設定）
写真回転表示	写真をシングル表示する場合や順番に再生する場合、写真の回転情報に基づいて自動的に回転します。 ※☑：回転します　☐：回転しません ● 撮影した機器によっては、回転できない場合があります。
スライドショー効果	※ **フェード** 次の写真を徐々に表示して写真を切り換えながら再生します。 **スライドイン（左右）** 画面右側から左側へ流れるように写真を切り換えながら再生します。 **スライドイン（上下）** 画面上から下へ流れるように写真を切り換えながら再生します。
スライドショー間隔	**短い**　約 1 秒間隔で写真を切り換えます。 ※ **標準**　約 6 秒間隔で写真を切り換えます。 **長い**　約 10 秒間隔で写真を切り換えます。 ● 写真のファイルサイズが大きい場合は、設定にかかわらず、切り換わるまでに時間がかかる場合があります。
ズーム設定	写真の画像横縦比が「16:9」以外の写真の場合に、左右または上下に現われる帯が表示されなくなるまで写真をズーム表示します。 ☑：ズーム表示します　※☐：ズーム表示しません ● 帯が表示されなくなるまでズーム表示するため、写真の上下または左右の一部が欠けて表示されます。

◇ 元の画面に戻るには

本機の [⮌] を押してください。

無線 LAN 機能の使用上のお願い

無線 LAN を利用すると、家庭内で構築した無線 LAN 環境や、外出先の公衆無線 LAN 環境を経由してインターネットに接続したり、他機器と無線接続することができます。

- ご自宅などで接続するには、無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）が必要です。
- 外出先で接続する場合は、公衆無線 LAN サービスを提供している場所で利用してください。

機器認定

本機は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、無線局の免許は不要です。ただし、本機を分解 / 改造することは、電波法で禁止されています。

使用制限

本機の使用にあたり、以下の制限がありますので予めご了承ください。
制限をお守りいただけなかった場合、および本機の使用または使用不能から生ずる付随的な損害などについては、当社は一切の責任を負いかねます。

- **本機は無線 LAN 機器としてお使いください。**
- **無線 LAN 機能は日本国内でのみ使用できます。**
- **利用権限のない無線ネットワークには接続しないでください。**
  無線ネットワーク環境の自動検索時に利用する権限のない無線ネットワーク（SSID※）が表示されることがありますが、不正アクセスと見なされるおそれがあります。
- **磁場・静電気・電波障害が発生するところで使用しないでください。**
  次の機器の付近などで使用すると、通信がとぎれたり、速度が遅くなることがあります。
  - 電子レンジ
  - デジタルコードレス電話機
  - その他 2.4 GHz 帯の電波を使用する機器（Bluetooth® 対応機器、ワイヤレスオーディオ機器、ゲーム機など）

  本機は無線 LAN の IEEE802.11b/g（2.4 GHz）規格に対応しています。
  当社製お部屋ジャンプリンク（DLNA）対応レコーダーや DLNA 対応機器などと家庭内の無線 LAN でご使用される場合は、IEEE802.11n（2.4 GHz/5 GHz 同時使用可）の無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）をお選びください。また暗号化方式は「AES」にしてください。
- **電波によるデータの送受信は傍受される可能性があります。**

※ 無線LANで特定のネットワークを識別するための名前のことです。このSSIDが双方の機器で一致した場合、通信可能になります。

次のページに続く

無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）のセキュリティ設定をする場合は、お客様ご自身の判断で行ってください。無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）のセキュリティ設定により発生した障害に関して、当社では責任を負いません。また、設定・使用方法などに関する問い合わせには、当社ではお答えできません。

お知らせ

- 無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）への接続は、SSID や暗号キーが必要になる場合があります。詳しくは無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）を設定した管理者にご確認ください。
- 無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）の設定については無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）の取扱説明書をお読みください。
- 無線 LAN は電波強度が十分得られる場所でご使用ください。

無線でネットワーク接続する

準備　●本機の［⌂］を押して、ホーム画面を表示しておく（P23）

1 「（設定）」アイコンを選ぶ

設定メニューが表示されます。

2 「無線とネットワーク」を選ぶ

3 「Wi-Fi」を選び、オンにする

☑：オン　　☐：オフ

オンにすると利用可能な Wi-Fi ネットワークの検出が始まります。
オンになったあと、次のいずれかの方法で接続してください。

- Wi-Fi オンになるまで数秒かかる場合があります。
- 一度接続した接続履歴のあるWi-Fiネットワークには自動で接続するので、以下の操作は必要ありません。

■Wi-Fi 簡単設定で接続する（P95）

無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）が AOSS™ や WPS（Wi-Fi Protected Setup™）に対応している場合は、無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）とかんたんに接続できます。

■検出されたネットワークから選択して接続する（P96）

セキュリティが設定された Wi-Fi ネットワークの場合、パスワードを入力する必要があります。

■手動で接続する（P96）

ネットワーク SSID や認証方式などを手動で設定して接続します。あらかじめネットワーク SSID などの確認が必要です。

次のページに続く

お知らせ

- Wi-Fi オンに設定すると、無線 LAN 接続をしていなくても電池持続時間が短くなります。
- 電池残量が少なくなると自動的に Wi-Fi オフになります。電池残量表示が「」以上の状態にしておくか、AC アダプターと接続しておいてください。（P17）
- Wi-Fi オンに設定していても、ワンセグテレビを起動すると Wi-Fi オフになります。（テレビ視聴をやめてホーム画面に戻ると自動的に Wi-Fi オンになりますが、切り換わるのに数秒かかる場合があります）

■Wi-Fi 簡単設定で接続する

1 「Wi-Fi 簡単設定」を選ぶ

2 登録するアクセスポイントの方式を選ぶ

WPS：プッシュ方式：WPS マークがある Wi-Fi Protected Setup™ 対応アクセスポイントでプッシュ方式に対応するアクセスポイントを登録する場合

WPS：PIN コード方式：WPS マークがある Wi-Fi Protected Setup™ 対応アクセスポイントで PIN コード方式に対応するアクセスポイントを登録する場合

AOSS：BUFFALO™ の AirStation™ など、AOSS™ マークがあるアクセスポイントを登録する場合

3

■ 「WPS：プッシュ方式」を選んだ場合

アクセスポイント側の WPS ボタンをアクセスポイントのランプが点滅するまで押したままにしたあと、本機画面上の「接続」を選ぶ

■ 「WPS：PIN コード方式」を選んだ場合

本機画面上の PIN コードをアクセスポイントに設定してから、「接続」を選ぶ

■ 「AOSS」を選んだ場合

アクセスポイント側のAOSSボタンをアクセスポイントのランプが点滅するまで押したままにしたあと、本機画面上の「接続」を選ぶ

4 接続完了画面で「OK」を選ぶ

次のページに続く

■検出されたネットワークから選択して接続する

準備　●「Wi-Fi」をオンに設定しておく（P94）

1 「Wi-Fi 設定」を選ぶ

2 検出されたネットワークから利用するネットワークを選び、「接続」をタップする

- セキュリティが設定された Wi-Fi ネットワークの場合（「　」が表示されているネットワーク）、パスワードを入力する必要があります。パスワードについては無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）の取扱説明書をご覧になるか、設定した管理者にご確認ください。文字入力については 27 ページをお読みください。
- 利用可能なネットワークを再検出したいときは、「無線とネットワーク」→「Wi-Fi 設定」で本機の [　] を押して「スキャン」を選んでください。

■手動で接続する

準備　●「Wi-Fi」をオンに設定しておく（P94）

1 「Wi-Fi 設定」を選ぶ

2 「Wi-Fi ネットワークを追加」を選ぶ

3 ネットワーク SSID を入力し、「セキュリティ」を選ぶ

- 文字入力については 27 ページをお読みください。
- 選んだ「セキュリティ」によって、その他必要な事項を設定してください。

4 「保存」を選ぶ

お知らせ

- ご自宅などの無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）を登録する場合は、無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）の取扱説明書や設定をご確認ください。公衆無線 LAN の場合は、サービス提供者のホームページなどをご確認ください。
- Wi-Fi 簡単設定で登録した場合、複数のセキュリティが設定されたネットワークが登録されることがあります。お使いのネットワークを選択してご利用ください。
- お使いの環境によっては通信速度が低下したり、ご利用になれない場合があります。

無線 LAN の詳細設定

■無線LANネットワークが検出されると本機に通知するように設定する

（お買い上げ時はオン（通知する）に設定されています）

1 本機の [⌂] を押して次の順で選ぶ

(設定) → 無線とネットワーク → Wi-Fi 設定

2 「ネットワークの通知」を選び、オンにする

☑：オン（通知する）　☐：オフ（通知しない）

■無線 LAN ネットワークの詳細設定をする

以下の設定や MAC アドレスの確認をすることができます。

- 「静的 IP を使用する」：IP アドレス、ゲートウェイ、ネットマスク、DNS1、DNS2 の設定をします。
- 「AutoIP を使用する」：使用可能な IP アドレスを自動で付与します。

1 本機の [⌂] を押して次の順で選ぶ

(設定) → 無線とネットワーク → Wi-Fi 設定

2 本機の［☰］を押して「詳細設定」を選び、「静的 IP を使用する」または「AutoIP を使用する」を選ぶ

- 「AutoIP を使用する」は Wi-Fi オフにしてから選んでください。

当社製お部屋ジャンプリンク(DLNA)対応レコーダーと無線接続

本機能に対応しているレコーダーは、2011 年 2 月以降発売の当社製お部屋ジャンプリンク（DLNA）対応レコーダーのみです。

対応機器の品番（2011 年 6 月現在）

DMR-BZT900、DMR-BZT800、DMR-BZT700、DMR-BZT600、DMR-BWT500

対応機種については下記サポートサイトでご確認ください。

http://panasonic.jp/support/viera_1/

当社製お部屋ジャンプリンク（DLNA）対応レコーダーと無線 LAN でネットワーク接続し、レコーダーを通してテレビ視聴したり、レコーダーの HDD 内のビデオファイルを再生したり、本機に転送することができます。

- 接続しようとするレコーダーが他の DLNA 対応機器と接続中の場合は、本機を接続しないでください。1 台のレコーダーに 2 台以上の DLNA 対応機器を接続することはできません。
- 無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）の暗号化（セキュリティ）設定が必要です。（P92）

■当社製お部屋ジャンプリンク（DLNA）対応レコーダーを使ってできること

テレビ視聴 **お部屋ジャンプリンク** ☞ P100

レコーダーで視聴できる放送を本機で視聴することができます。

再生 **お部屋ジャンプリンク** ☞ P101

レコーダーのHDD内の録画番組と写真を再生することができます。

ビデオ転送 ☞ P102

レコーダーのHDD内の録画番組を転送することができます。

かんたん自動転送設定 ☞ P104

レコーダーの HDD 内の「かんたん転送」に登録した録画番組を、いつの時点の録画番組を転送するかや、転送するタイミングを指定して自動的に転送するように設定することができます。

■DLNA を使って本機で再生できるファイル

「本機で再生できるファイル形式」（P58）をお読みください。

- 著作権保護されたファイルは再生できません。
- 音楽ファイルについては2011年6月現在、本機での再生/転送に対応している当社製レコーダーはありません。

次のページに続く

戻る

■当社製お部屋ジャンプリンク（DLNA）対応レコーダーを使用中に本機でできる機能（2011 年 6 月現在）

○：できる
×：できない※1

レコーダーの状態	本機の「（DIGA）」アプリケーションの動作				
	テレビ視聴	再生（ビデオ）		再生（写真）	ビデオ転送 / かんたん自動転送
		通常の番組※4	持ち出し番組※5		
放送視聴中	○※6	○	○	○	○
「番組表」表示中	○	○	○	○	○
「予約一覧」表示中	○	○	○	○	○
「録画一覧」表示中	○	○	○	○	×
録画番組再生中	×	×	○	○	×
1 番組録画中※2	×	×	○※7	○※7	○※7
2 番組以上録画中※2	×	×	×	×	×
高速ダビング中（HDD ↔ BD/DVD）ファイナライズあり	×	×	×	×	×
高速ダビング中（HDD ↔ BD/DVD）ファイナライズなし	×	×	○	×	×
1 倍速ダビング中（HDD ↔ BD/DVD）※3	×	×	×	×	×
「テレビでネット」/「お部屋ジャンプリンク（DLNA）」/「ビデオコミュニケーション」利用中	×	×	×	×	×
ドアホン（センサーカメラ）録画・再生中	×	×	○	○	○
音楽録音中・転送中	×	×	○	×	○

● 本機の「（DIGA）」アプリケーションに対応しているレコーダーについては 98 ページをお読みください。

※1
- 無線 LAN 接続して、本機でレコーダーの放送や録画番組などを視聴したり、録画番組を転送する場合、レコーダーの操作完了後に再度実行してください。
  本機の操作を優先する場合は、レコーダーで該当操作を停止後に再度実行してください。
- 無線 LAN 接続して、本機でレコーダーの放送や録画番組視聴中でも、レコーダー本体の操作が優先されます。この場合、本機に下記のメッセージが表示されます。

処理を実行できませんでした。以下の要因が考えられます。	視聴を開始できませんでした。以下の要因が考えられます。	視聴 / 再生できませんでした。以下の要因が考えられます。
・サーバー側で操作中 ・通信エラー ・その他のエラー	・DIGA 本体で操作中 ・視聴できない番組 ・その他のエラー	・再生できないコンテンツ ・サーバー側で操作中 ・通信エラー ・その他のエラー

※2　レコーダーの電源状態（ON/OFF）は影響ありません。
※3　1 倍速ダビングとは、録画モードの変換を伴うダビングのことです。
※4　持ち出し番組以外の番組
※5　持ち出し方法設定時に「ネットワーク経由」を選択した番組
※6　入力切換で「L1」「DV」に設定されているときは視聴することができません。
※7　スカパー！ HD の番組を録画中は本機で操作できません。

次のページに続く

テレビを視聴する お部屋ジャンプリンク

準備
- 本機を無線 LAN に接続しておく（P94）
- DIGA 側でお部屋ジャンプリンク（DLNA）の設定をしておく

1 本機の [⌂] を押す

ホーム画面が表示されます。

2 「(DIGA)」アイコンを選ぶ

DIGA メニューが表示されます。
- 音楽やradiko.jpを聴いている場合、音楽やradiko.jpを停止します。

初めて DIGA メニューを使う場合は
DLNA 対応機器一覧が表示されます。
接続したいレコーダーを選んでください。

3 「テレビ視聴」を選ぶ

DIGA メニュー画面

現在接続しているレコーダー

接続するレコーダーを変更する ☞ P108

4 受信放送を選ぶ

DMR-BZT900
地上デジタル
BSデジタル
CSデジタル

5 チャンネルを選ぶ

- 本機の [☰] を押して「再読み込み」を選ぶとチャンネルの読み込みをし直します。
- 表示されるチャンネル番号は、レコーダーに表示されるチャンネル番号（3 桁表示）になります。

■視聴中にチャンネルを切り換えるには

画面をタップして操作表示を表示し、「」をタップしてチャンネルを選んでください。

お知らせ
- 視聴する番組は、実際の放送よりも十数秒遅れて表示されます。ネットワークの状況によってはそれ以上遅れることがあります。
- 連続して 8 時間以上は視聴できません。

次のページに続く

録画番組や写真を再生する お部屋ジャンプリンク

レコーダーの HDD 内の録画番組と写真を再生することができます。

準備
- 本機を無線 LAN に接続しておく（P94）
- DIGA 側でお部屋ジャンプリンク（DLNA）の設定をしておく

1 本機の [⌂] を押す

ホーム画面が表示されます。

2 「（DIGA）」アイコンを選ぶ

DIGA メニューが表示されます。

- 音楽やradiko.jp を聴いている場合、音楽やradiko.jp を停止します。

初めて DIGA メニューを使う場合は

DLNA 対応機器一覧が表示されます。
接続したいレコーダーを選んでください。

3 「再生」を選ぶ

DIGA メニュー画面

接続するレコーダーを変更する ☞ P108

4 分類を選び、見たいファイルを選ぶ

- 本機の [☰] を押して「再読み込み」を選ぶとファイルの読み込みをし直します。

ビデオファイルの再生操作をする ☞ P69
写真の再生操作をする ☞ P82
再生設定をする ☞ P112

お知らせ
- 録画番組を再生する場合、スキップ操作で再生するファイルを変更することには対応していません。
- レコーダーで途中まで視聴していた録画番組を本機で再生しても、レコーダーで視聴していた続きから再生されず、ファイルの先頭からの再生になります。
- レコーダーで「持ち出し番組」を作成していない録画番組を再生時は、操作から少し遅れて動作します。

次のページに続く

録画番組を転送する

レコーダーの HDD 内の録画番組を転送することができます。
●録画番組を転送するには、レコーダーでネットワーク経由の持ち出し番組を作成しておく必要があります。詳しくはレコーダーの取扱説明書をお読みください。

準備
●本機を無線 LAN に接続しておく（P94）
●DIGA 側でお部屋ジャンプリンク（DLNA）の設定をしておく

1 本機の [⌂] を押す

ホーム画面が表示されます。

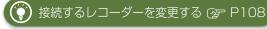
2 「(DIGA)」アイコンを選ぶ

DIGA メニューが表示されます。
●音楽やradiko.jp を聴いている場合、音楽やradiko.jp を停止します。

初めて DIGA メニューを使う場合は
DLNA 対応機器一覧が表示されます。
接続したいレコーダーを選んでください。

3 「ビデオ転送」を選ぶ

接続するレコーダーを変更する ☞ P108

DIGA メニュー画面

4 本機の［⁝☰］を押して次の順で選び、転送先を設定する

転送先メモリー選択 → 内蔵メモリー　または　SD カード

●お買い上げ時は「内蔵メモリー」に設定されています。

次のページに続く

戻る

5 転送方法を選ぶ

「持ち出し番組一覧から選択」：レコーダーの HDD 内の持ち出し番組を選んで転送します。

「かんたん自動転送を実行」：105 ページで設定している期間分、レコーダーの HDD 内に作成された「かんたん転送」に登録した持ち出し番組の転送を今すぐ開始します。

6 ■「持ち出し番組一覧から選択」を選んだ場合

転送するファイルを選び、「OK」を選ぶ

●本機の [⁝☰] を押して「再読み込み」を選ぶとファイルの読み込みをし直します。

■「かんたん自動転送を実行」を選んだ場合

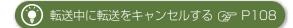
確認画面で「OK」を選ぶ

転送が始まります。

●転送中は、ステータスバーのダウンロードアイコン「 」が動き、動作表示ランプが約 1 秒間隔で点滅します。

転送中に転送をキャンセルする ☞ P108

◇ 転送完了すると

ステータスバーにダウンロードアイコン「 」が表示されます。

お知らせ

- 転送にかかる時間の目安は 1 時間の録画番組を転送する場合、約 20 分かかります。（転送時間はご使用の無線 LAN 環境で多少変わります）
- 転送できる番組の時間は録画可能時間（P200）よりも少なくなります。（録画可能時間の約 4 分の 1）
  例：内蔵メモリーや SD カードの残量表示が 12 時間の場合、約 3 時間の番組の転送が可能
- 電池残量が少なくなると自動的に Wi-Fi オフになります。転送時に電池残量表示が「 」以上の状態にしておくか、AC アダプターと接続しておいてください。（P17）
- 転送中に本機でビデオファイルを再生した場合、再生画面が乱れたりとぎれたりすることがあります。
- 以下の場合、SD カードへ転送することはできません。
  - SD カードの録画番組を再生しているとき
  - SD カードに録画しているとき
  - 音楽リスト画面で「SD-Audio」表示のある曲を再生しているとき
- SD カードに転送する場合、最大 99 番組まで転送可能です。（99 番組には、本機で録画した番組やレコーダーなど他の機器で録画した番組を含みます）
- SD カードに転送中は、SD カードの録画番組や「SD-Audio」表示のある曲を再生できません。
- SD カードに転送する場合、3.86 GB（最大約 5 時間 25 分※）を超えるファイルは転送できません。※ビットレート約 1.7 Mbps で計算
  （ビットレートは録画番組により変化するため、転送可能な番組の時間は前後します）
- 本機に転送すると、レコーダーの持ち出し番組のコピー制限残り回数が 1 つ減ります。
- レコーダーで途中まで視聴していた持ち出し番組を転送して本機で再生する場合、レコーダーで視聴していた続きから再生されず、ファイルの先頭からの再生になります。

録画番組を自動転送する

レコーダーの HDD 内の録画番組をいつの時点の HDD 内の録画番組を転送するかや、転送するタイミングを指定して自動的に本機に毎日転送するように設定することができます。

●録画番組を転送するには、レコーダーでネットワーク経由の持ち出し番組を作成しておく必要があります。詳しくはレコーダーの取扱説明書をお読みください。

準備
- 本機を無線 LAN に接続しておく（P94）
- DIGA 側でお部屋ジャンプリンク（DLNA）の設定をしておく

1 本機の [⌂] を押す

ホーム画面が表示されます。

2 「(DIGA)」アイコンを選ぶ

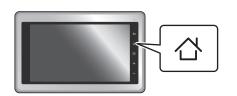
DIGA メニューが表示されます。

●音楽やradiko.jp を聴いている場合、音楽やradiko.jp を停止します。

初めて DIGA メニューを使う場合は
DLNA 対応機器一覧が表示されます。
接続したいレコーダーを選んでください

3 「かんたん自動転送設定」を選ぶ

接続するレコーダーを変更する ☞ P108

DIGA メニュー画面

次のページに続く

4 設定項目を選んで設定する

「自動転送を有効にする」にチェックを入れる（✓）と、毎日「転送開始時刻指定」で設定した時刻に自動で転送を開始します。

● 転送先メモリーを変更する場合は、本機の［☰］を押して「転送先メモリー選択」を選び、内蔵メモリーに転送するか SD カードに転送するかを選んでください。

かんたん自動転送設定画面

設定項目	設定内容　　（※：お買い上げ時の設定）
名前	接続機器の名前を変更できます。文字入力については 27 ページをお読みください。
自動転送を有効にする	自動転送設定を有効にするか無効にするかを切り換えます。 ✓：設定したかんたん転送の内容で自動転送を実行します。 ※□：転送しません。
録画番組転送期間指定	いつまでさかのぼって録画番組を転送するかを設定します。 **※最新 3 日分**　**最新 1 週間分** **最新 2 週間分**　**期間制限なし**
転送開始時刻指定	毎日自動で転送する時刻を設定します。 **1 「変更」を選ぶ** **2 「＋」「－」をタップして時間を入力する** **3 「設定」を選ぶ** **4 「OK」を選ぶ** タップしてチェックを入れると、開始時刻に AC アダプターに接続しているときのみ自動転送を行います。

◇ DIGA メニュー画面に戻るには

本機の［↩］を押してください。

次のページに続く

戻る

お知らせ

- 既に転送済みのファイルは重ねて転送されません。
- 転送にかかる時間の目安は 1 時間の録画番組を転送する場合､約 20 分かかります｡（転送時間はご使用の無線 LAN 環境で多少変わります）
- 転送できる番組の時間は録画可能時間（P200）よりも少なくなります。（録画可能時間の約 4 分の 1）

  例：内蔵メモリーや SD カードの残量表示が 12 時間の場合、約 3 時間の番組の転送が可能
- 電池残量が少なくなると自動的に Wi-Fi オフになります。自動転送時に電池残量表示が「 」以上の状態にしておくか、AC アダプターと接続しておいてください。（P17）
- 転送中に本機でビデオファイルを再生した場合、再生画面が乱れたりとぎれたりすることがあります。（転送中は動作表示ランプが約 1 秒間隔で点滅します）
- 以下の場合、SD カードへ転送することはできません。
  - SD カードの録画番組を再生しているとき
  - SD カードに録画しているとき
  - 音楽リスト画面で「SD-Audio」表示のある曲を再生しているとき
- SD カードに転送する場合、最大 99 番組まで転送可能です。（99 番組には、本機で録画した番組やレコーダーなど他の機器で録画した番組を含みます）
- SD カードに転送中は、SD カードの録画番組や「SD-Audio」表示のある曲を再生できません。
- SD カードに転送する場合、3.86 GB（最大約 5 時間 25 分※）を超えるファイルは転送できません。※ビットレート約 1.7 Mbps で計算

  （ビットレートは録画番組により変化するため、転送可能な番組の時間は前後します）
- 本機に転送すると、レコーダーの持ち出し番組のコピー制限残り回数が 1 つ減ります。
- コピー制限の残り回数が「1」のファイルは転送されません。

次のページに続く

■現在設定中のかんたん転送する機器を確認 / 変更 / 取り消しする

1 DIGA メニュー画面（P100）で、本機の［⁝☰］を押す

2「かんたん自動転送登録一覧」を選ぶ

3 確認 / 変更 / 取り消ししたい登録を選ぶ

4 ■ <u>変更する場合</u>
変更したい項目を選び、自動転送設定を変更する

■ <u>取り消す場合</u>
「自動転送を有効にする」を選び、チェックを外す

◇ DIGA メニュー画面に戻るには

本機の [⮌] を押してください。

次のページに続く

■転送中に転送をキャンセルする

1 ステータスバーを下方向にドラッグする

2 「⇩」アイコンのある転送中のファイルを選ぶ

転送リストが表示されます。

3 プログレスバーの表示されているファイルを長くタッチして、「転送をキャンセル」を選ぶ

- 複数のファイルを転送している場合、本機の［☰］を押して「全転送をキャンセル」を選び、「OK」を選ぶとすべての転送をキャンセルできます。
- 転送リスト画面で、本機の［☰］を押して「リストを消去」を選び、「OK」を選ぶと転送履歴を消去できます。

転送リスト

接続するレコーダーを変更する

複数の当社製お部屋ジャンプリンク（DLNA）対応レコーダーをお持ちの場合、接続するレコーダーを変更します。

1 DIGA メニュー画面（P100）で、「DIGA 選択」を選ぶ

2 接続したいレコーダーを選ぶ

現在接続しているレコーダー

戻る

パソコンなど家庭内の DLNA 対応機器と無線接続

ネットワーク接続して、パソコンや DLNA 対応機器に記録された動画や写真、音楽などを本機で再生したり、本機に転送することができます。

■DLNA を使って本機で再生できるファイル

「本機で再生できるファイル形式」(P58)をお読みください。
- ファイルによっては再生位置を正しく変更できない場合があります。
- 著作権保護されたファイルは再生できません。
- DLNA 対応機器で対応していないファイルは本機で再生することはできません。
- すべての DLNA 対応機器との動作を保証するものではありません。

- DLNA 対応機器の取扱説明書もお読みください。

接続する機器を選び、再生する

準備 ●本機と接続する機器を無線 LAN に接続しておく(P94)

1 本機の [⌂] を押す

ホーム画面が表示されます。

2 「(ネットワークメディアプレーヤー)」アイコンを選ぶ

接続できる機器一覧が表示されます。
- 音楽やradiko.jp を聴いている場合、音楽やradiko.jp を停止します。

3 接続したい機器を選ぶ

次のページに続く

4 再生したいファイルを選ぶ

ビデオファイルの再生操作をする ☞ P69
写真の再生操作をする ☞ P82
音楽の再生操作をする ☞ P78
再生設定をする ☞ P112

お知らせ

- ビデオファイルを再生する場合、スキップ操作で再生するファイルを変更することには対応していません。
- 接続できる機器の一覧に当社製 DLNA 対応レコーダーも表示されますが、録画番組の再生や転送機能に対応していない機器も表示されます。2011 年 2 月以降発売のお部屋ジャンプリンク（DLNA）対応レコーダーと無線 LAN 接続してご使用される場合は、ホーム画面で「（DIGA）」アイコンを選んでください。（P101、102）

次のページに続く

パソコン内のファイルなどを本機に転送する

準備　●DLNA 対応機器と接続しておく（P109）

1 本機の［☰］を押して次の順で選び、転送先を設定する

転送先メモリー選択 → 内蔵メモリー または **SD カード**

●お買い上げ時は「内蔵メモリー」に設定されています。

2 転送したいファイルを長くタッチして「OK」をタップする

転送が始まります。
転送中は、ステータスバーのダウンロードアイコン「⇩」が動き、動作表示ランプが約 1 秒間隔で点滅します。

■転送中に転送をキャンセルする

1 ステータスバーを下方向にドラッグする

2 「⇩」アイコンのある転送中のファイルを選ぶ

転送リストが表示されます。

3 プログレスバーの表示されているファイルを長くタッチして、「転送をキャンセル」を選ぶ

●複数のファイルを転送している場合、本機の［☰］を押して「全転送をキャンセル」を選び、「OK」を選ぶとすべての転送をキャンセルできます。
●転送リスト画面で、本機の［☰］を押して「リストを消去」を選び、「OK」を選ぶと転送履歴を消去できます。

お知らせ

●転送中に本機でビデオファイルを再生した場合、再生画面が乱れたりとぎれたりすることがあります。
●SD カードにビデオ転送可能なファイルサイズは 4 GB までです。

ビデオや写真の再生設定をする

準備 ● ビデオや写真の再生画面を表示しておく（P101、109）

本機の［⁝☰］を押して次の順で選ぶ

希望の設定項目→ 希望の設定内容

ビデオの再生設定

設定項目	設定内容　（※：お買い上げ時の設定）
リピート設定	繰り返し再生するように設定することができます。 **※ オフ**　**1 ファイル**　**全ファイル**

写真の再生設定

設定項目	設定内容　（※：お買い上げ時の設定）
写真回転表示	オンに設定すると、写真をシングル表示する場合や順番に再生する場合、写真の回転情報に基づいて自動的に回転します。 **オフ**　**※ オン** ● 撮影した機器によっては、回転できない場合があります。
スライドショー効果	**※ フェード** 次の写真を徐々に表示して写真を切り換えながら再生します。 **スライドイン（左右）** 画面右側から左側へ流れるように写真を切り換えながら再生します。 **スライドイン（上下）** 画面上から下へ流れるように写真を切り換えながら再生します。
スライドショー間隔	**短い**　約 1 秒間隔で写真を切り換えます。 **※ 標準**　約 6 秒間隔で写真を切り換えます。 **長い**　約 10 秒間隔で写真を切り換えます。 ● 写真のファイルサイズが大きい場合は、設定にかかわらず、切り換わるまでに時間がかかる場合があります。
ズーム設定	オンに設定すると、写真の画像横縦比が「16:9」以外の写真の場合に、左右または上下に現われる帯が表示されなくなるまで写真をズーム表示します。 **※ オフ**　**オン** ● 帯が表示されなくなるまでズーム表示するため、写真の上下または左右の一部が欠けて表示されます。

インターネットの閲覧制限について

本機には、インターネットを見るときに、お子様などに見せたくないホームページなどの閲覧を制限するための機能が組み込まれています。お子様などが本機を使ってインターネットをご覧になる家庭では、この制限機能の利用をおすすめします。制限機能を使用する場合は、「ネット接続ロック」をオンに設定してください。
オンに設定すると、「(ブラウザ)」、「(Podcast)」、「(RSS リーダー)」、「(YouTube)」、「(DiMORA)」、「(MeMORA)」、「(愛用者登録)」が起動できなくなります。

1 本機の [⌂] を押す

ホーム画面が表示されます。

2 「」を選んでランチャー画面を表示し、「(ネット接続ロック)」アイコンを選ぶ

3 「ネット接続ロック」をタップしてチェックを入れる

☑：オン　☐：オフ

4 確認画面で「次へ」を選ぶ

5 パスワードを決めて入力し、「次へ」を選ぶ

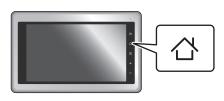
6 もう一度、手順 5 で入力したパスワードを入力し、「次へ」を選ぶ

◇ 元の画面に戻るには

本機の [⮌] を押してください。

■解除する場合

上記手順 1、2 を操作し、手順 3 で「ネット接続ロック」を選ぶとパスワード画面が表示されます。オンに設定したときに入力したパスワードを入力し、「次へ」を選ぶと解除できます。

戻る

YouTube（ユーチューブ）を見る

動画共有サイトに接続して、リストから見たい動画を選ぶことができます。

準備 ●インターネット接続されたルーターに無線 LAN 接続しておく（P94）

1 本機の [⌂] を押す

ホーム画面が表示されます。

2 「YouTube（YouTube）」アイコンを選ぶ

YouTube メニュー画面が表示されます。

YouTube を起動時は

注意事項が表示されます。内容をお読みの上、「閉じる」をタップしてください。

3 メニューから動画の分類を選ぶ

- キーワードを入力して検索したい場合などはログインする必要があります。ログインについては 117 ページをお読みください。

YouTube メニュー画面

おすすめ動画 / ログイン / エンターテイメント / 音楽 / 映画とアニメ / ペットと動物 / 旅/人/ハウツー / その他 / 著作権情報 / 注意事項

4 リスト画面から見たい動画を選び、再生する

❶ リストから動画を選ぶ
❷ 再生画面をタップする

本機の画面の大きさまで再生画面を拡大して再生します。

リスト画面について ☞P116

YouTube リスト画面

再生画面

次のページに続く

音量を調整する

本機の [＋][−] を押す

再生操作をする

画面をタップしたりドラッグして操作します。

- 操作アイコンは操作後しばらくすると消えます。

操作アイコンが消えているときは

画面をタップして操作アイコンを表示してください。タップするたびに表示させたり消したりすることができます。（表示を消すときは、操作アイコンがないところをタップしてください）

A	**プログレスバー** 再生位置を示します。
B	**スキップする** ● 左右にフリックしてスキップさせることもできます。
C	**一時停止する（再生する）：**（　）
D	**戻る** リスト画面に戻ります。 ● 本機の [ ] を押して戻ることもできます。

お知らせ

- YouTube 起動時は、本機を縦向きに構えても画面は回転しません。本機を横向きに構えて視聴してください。
- 本機で YouTube に動画を投稿する機能はありません。
- 日付や時刻が正しく設定されていないと YouTube が正しく表示されないことがあります。YouTube を見る前に日付や時刻が正しく設定されているかご確認ください。（P170）
- DLNA対応機器からファイルを転送中やPodcast/RSSの内容をダウンロード中は、YouTube の再生画面が乱れたりとぎれたりすることがあります。（転送中やダウンロード中は動作表示ランプが約 1 秒間隔で点滅します）

- YouTube のコンテンツは、YouTube, LLC により独自に運営されています。
- 本機では、パソコンで閲覧できる YouTube のコンテンツで閲覧できないものがあります。
- YouTube のコンテンツには、お客様が不適切であると感じるような情報が含まれることがあります。
- 当社は、YouTube が提供するコンテンツに関して一切の責任を負いません。
- コンテンツ内容の不明点は YouTube ホームページよりお問い合わせください。
  http://www.youtube.com/t/contact_us

次のページに続く

■YouTube リスト画面

A	**動画リストの分類選択** 「<」「>」をタップすると分類を変更できます。 ● YouTube メニュー画面で「おすすめ動画」を選んだ場合は、下記の選択となります。 **日本**　　：日本の動画共有サイトを表示 **世界**　　：世界の動画共有サイトを表示 **カテゴリ別**：分類を表示
B	**動画リスト** 上下にフリックして再生する動画を探します。
C	**詳細** 動画の内容や追加された日などを表示します。詳細を見たい動画をリストから選んでから「詳細」をタップしてください。 ● ログインしている場合は、詳細画面でお気に入りなどの登録ができます。詳しくは 118 ページをお読みください。 ● 詳細表示画面で「閉じる」をタップすると通常のリスト画面に戻ります。

D	**連続再生** タップするたびにオン / オフを切り換えます。オンにすると、動画リストの動画を連続で再生します。
E	**このユーザーの他の動画** 同じ投稿者の動画をリスト表示します。 ● リストの「閉じる」をタップすると通常のリスト画面に戻ります。
F	**関連動画** 関連する動画をリスト表示します。 ● リストの「閉じる」をタップすると通常のリスト画面に戻ります。
G	**再生画面**
H	**再生 / 一時停止**
I	**スキップ**

次のページに続く

戻る

ログインして再生する動画を探す

動画の分類画面で「ログイン」を選んだ場合は、再生回数の多い動画リストから選んだり、動画をキーワードで検索したり、お気に入りに登録した動画を探すことができます。

準備
- YouTube のホームページにアクセスし、アカウントを作成しておく
- YouTube メニュー画面を表示しておく（P114）

1 「ログイン」を選ぶ

2 ユーザー名、パスワードを入力して「ログイン」を選ぶ

ログイン成功後、「OK」をタップする

文字入力のしかた ☞ P27

3 動画の分類を選ぶ

- 「検索」を選んだ場合は、文字入力欄をタップしてキーワードを入力し、「検索」をタップするとキーワードから検索された動画リストが表示されます。
- お気に入りに登録した動画（P118）を表示したい場合は「マイアカウント」を選んでください。

4 見たい動画を選ぶ

詳細画面については118 ページをお読みください。

次のページに続く

戻る

お知らせ
- ログインしている場合は、次に YouTube を起動したときもログインされた状態になります。

◇ ログアウトする場合

❶ 右の画面が表示されるまで本機の [ ] を押す
❷ 「ログアウト」を選ぶ
❸ 確認画面で「はい」を選ぶ

■詳細画面

詳細画面の表示のしかたは、YouTube リスト画面（P116）で「詳細」を選んでください。

Ⓐ	**チャンネル登録** コンテンツの投稿者を「登録チャンネル」リストに登録できます。 ログインしたあと、分類画面で「マイアカウント」を選び、動画リストの分類で「登録チャンネル」を選んで再生してください。
Ⓑ	**お気に入りに追加** 「実行」をタップして追加すると、お気に入りに登録した動画だけをリストで管理できます。 ログインしたあと、分類画面で「マイアカウント」を選んで再生してください。
Ⓒ	**再生リストに追加** 再生リストを作成できます。 ● 再生リストの作成には、あらかじめブラウザで設定が必要です。

Ⓓ	**閉じる** 詳細画面を閉じ、通常のリスト画面に戻ります。
Ⓔ	**評価** 動画を評価できます。評価を選び、「確認」をタップしてください。
Ⓕ	**フラグ** 不適切な動画を報告することができます。内容を選び、「報告」を選んでください。

radiko.jp（ラジコ）を聴く

インターネットを通じて、ラジオ音声を聴くことができます。
- radiko.jp は地上波ラジオの放送エリアに準じた地域に配信するサービスです。配信エリアや放送局については radiko.jp のウェブサイトでご確認ください。

準備　●インターネット接続されたルーターに無線 LAN 接続しておく（P94）

1 本機の［⌂］を押す

ホーム画面が表示されます。

2 「 (radiko.jp)」アイコンを選ぶ

3 聴きたいラジオ局を選ぶ

- ラジオ音声の再生 ／ 停止の切り換えは、本機の［☰］を押して切り換えることもできます。

■終了する

1 本機の［⮌］を押す

2 「終了」を選ぶ

- radiko.jp の画面上の「✕」をタップして終了することもできます。

お知らせ
- radiko.jp 起動時は、本機を縦向きに構えても画面は回転しません。本機を横向きに構えて操作してください。
- 日付と時刻が正しく設定されていないと起動しない場合があります。日付や時刻が正しく設定されているかご確認ください。（P170）

ウェブサイトを見る

インターネットブラウザを使ってウェブサイトの閲覧ができます。

準備 ●インターネット接続されたルーターに無線 LAN 接続しておく（P94）

1 本機の [⌂] を押す

ホーム画面が表示されます。

2 「(ブラウザ)」アイコンを選ぶ

インターネットに接続し、Google の検索画面が表示されます。

3 アドレス入力欄をタップしてアドレスを入力するか、検索欄をタップして閲覧するページのキーワードを入力する

文字入力のしかた ☞ P27

■表示ページをスクロールする

画面を上下左右にフリックします。

■パソコン用サイトの表示サイズを変更する

（縮小 / 拡大ボタンが消えているときは画面をフリックしてから）
 をタップします。

縮小 / 拡大ボタン

■ひとつ前の画面に戻る

本機の [ ] を押してください。

- 戻る前の画面を表示する場合は、本機の［ ］を押して「進む」を選んでください。

■開いているページを最新の内容に更新する

本機の［ ］を押して「再読み込み」を選んでください。

お知らせ

- ウェブサイトによっては正しく表示または動作しない場合があります。また、画像や動画などを含む大容量のウェブサイトは表示できない場合があります。
- 日付や時刻が合っていない場合、ウェブサイトが正しく表示されないことがあります。日付や時刻を正しく設定してからウェブサイトを閲覧してください。（P170）
- ファイルをダウンロードする場合、ファイルは SD カードに一時的に保存され、そのファイルを本機にダウンロードします。SD カードを入れてからダウンロードしてください。
- 本機のインターネットブラウザは、Flash® コンテンツ、ファイルのアップロード、音楽や動画のストリーミング再生などの機能には対応していません。

次のページに続く

新しいブラウザウィンドウを開く

閲覧中のウィンドウを開いたまま、さらに新しいウィンドウを開くことができます。複数のウィンドウを開くと、ウェブサイト間の切り換えが簡単にできるようになります。最大で８つのブラウザウィンドウを開くことができます。

（ウェブを閲覧中に）
本機の［⁝☰］を押して「新しいウィンドウ」を選ぶ

新しいウィンドウが開きます。

■複数のウィンドウの表示を切り換える

1 （ウェブを閲覧中に）
本機の［⁝☰］を押して「ウィンドウ」を選ぶ

現在開いているウィンドウの一覧が表示されます。

2 表示したいウィンドウを選ぶ

- 「新しいウィンドウ」を選ぶと新しいウィンドウが開き、Google の検索画面が表示されます。

ウィンドウを閉じる

1 （ウェブを閲覧中に）
本機の［⁝☰］を押して「ウィンドウ」を選ぶ

現在開いているウィンドウの一覧が表示されます。

2 閉じたいウィンドウの「×」をタップする

次のページに続く

サイトの情報を活用する

1 （ウェブを閲覧中に）本機の［⁝☰］を押して「その他」を選ぶ

2 設定項目を選ぶ

設定項目	設定内容
ブックマークを追加	124 ページをお読みください。
ページ内検索	検索する文字を入力すると、一致する文字が緑色でハイライト表示されます。 ◀/▶をタップすると、一致した検索文字を戻したり進めます。 検索画面を閉じる場合、「✖」をタップしてください。
テキストを選択してコピー	コピーしたいテキストの開始点に指を置き、コピーしたいテキストの終了点までドラッグして指を離すとコピー完了です。コピーしたテキストはメールなどの文字入力時に、文字入力欄を長くタッチして「貼り付け」を選ぶと貼り付けることができます。 ● ウェブサイトによっては文字を選択できません。
ページ情報	ウェブサイトのタイトル、アドレスを表示します。情報画面を閉じるには「OK」をタップしてください。
ページを共有	選んでいるサイトを下記で選択したものとリンクを共用します。 共用するものを選んでください。 • Podcast • RSS リーダー • メール （メールを送受信できるように設定していないときは表示されません）
ダウンロード履歴	ダウンロード済みもしくはダウンロード中の情報を履歴リストとして表示します。
設定	126 ページをお読みください。

ブックマークと閲覧履歴を管理する

■ブックマークに登録する

ブックマークに登録しておくと、登録したウェブサイトを簡単に開くことができます。

1 登録したいウェブサイトを表示する（P120）

2 本機の［⁝☰］を押して次の順で選ぶ

その他 → ブックマークを追加

3 名前とアドレスを確認し、「OK」を選ぶ

- 名前やアドレスを修正する場合は、名前入力欄もしくは場所入力欄をタップし修正してください。文字入力については 27 ページをお読みください。

お知らせ

- ブックマークリスト（下記）で、本機の［⁝☰］を押して「最後に表示したページをブックマークする」を選んで登録することもできます。

■ブックマークに登録したウェブサイトや閲覧履歴を見る

準備	● ホーム画面で「（ブラウザ）」アイコンを選んでおく（P120）

1 本機の［⁝☰］を押して「ブックマーク」を選ぶ

2 ブックマークリストから開きたいサイトを選ぶ

ブックマークリスト

Ⓐ **ブックマーク**：タップすると、ブックマークに登録したサイトのリストを表示します。

- ブックマークリスト画面で、本機の［⁝☰］を押して「リスト表示」を選ぶと、表示方法を変更することができます。元の表示に戻したい場合は再度［⁝☰］を押して「サムネイル表示」を選んでください。

Ⓑ **よく使用**：タップすると、よく閲覧しているサイトのリストを表示します。

Ⓒ **履歴**：タップすると、「今日」「昨日」「5 日前」「1 か月前」に分けて閲覧した時期ごとのリストを表示します。

次のページに続く

■ウェブサイトを活用したり消去する

準備 ●ブックマークリストを表示しておく（P124）

1 活用 / 消去したいサイトを長くタッチする

2 設定項目を選ぶ

設定項目	設定内容
開く	現在表示しているウィンドウを閉じて、選んでいるブックマークを開きます。
新しいウィンドウで開く	現在表示しているウィンドウを閉じずに、選んでいるブックマークを別のウィンドウで開きます。
編集	サイトの名前やアドレスを変更できます。編集ウィンドウが表示されるので、変更を入力し「OK」を選んでください。 文字入力については 27 ページをお読みください。
ショートカットを作成	ホーム画面にショートカットを作成します。ホーム画面でこのショートカットをタップすると、選んでいるブックマークサイトを表示することができます。
リンクを共有	選んでいるサイトを下記で選択したものとリンクを共有します。 共有するものを選んでください。 • Podcast • RSS リーダー • メール （メールを送受信できるように設定していないときは表示されません）
URL をコピー	選んでいるサイトの URL アドレスをコピーします。コピーしたテキストはメールなどの文字入力時に、文字入力欄を長くタッチして「貼り付け」を選ぶと貼り付けることができます。
消去	選んでいるサイトを消去します。確認画面で「OK」を選んでください。 ●「履歴」を消去する場合は、一括してすべての履歴を消去することもできます。 **「履歴」をすべて消去する** **1 ブックマークリスト画面（P124）で「履歴」を選ぶ** **2 本機の「⁝☰」を押して「履歴消去」を選ぶ**
ホームページとして設定	表示中のサイトをブラウザ起動時に表示する「ホームページ」に設定することができます。

ウェブサイトの設定をする

準備　● ホーム画面で「（ブラウザ）」アイコンを選んでおく（P120）

本機の［⁝☰］を押して次の順で選ぶ

その他 → 設定 → 希望の設定項目 → 希望の設定内容

設定項目	設定内容　（※：お買い上げ時の設定）
テキストサイズ	ブラウザ画面に表示される文字サイズを設定します。 最小　小　※ 中　大　最大
デフォルトの倍率	ブラウザ画面を表示したときのウェブサイトの解像度を設定します。 低　※ 中　高
ページを全体表示で開く	ウェブページ全体を画面に収まるように全体を縮小して表示します。 ※☑：縮小表示します　☐：縮小表示しません
テキストエンコード	文字コードを変更します。 Latin-1（ISO-8859-1）　Unicode（UTF-8）　日本語（ISO-2022-JP） ※ 日本語（Shift_JIS）　日本語（EUC-JP）
ポップアップウィンドウをブロック	ポップアップウィンドウをブロックするかを設定します。 ※☑：ブロックします　☐：ブロックしません
画像の読み込み	ウェブページの画像を表示するかどうかを設定します。 ※☑：画像を表示します　☐：表示しません
ページの自動調整	開いた画面に合わせてウェブページの表示サイズを自動調整するかを設定します。 ※☑：自動調整します　☐：自動調整しません ● ウェブページによっては自動調整されない場合があります。
常に横向きに表示	本機を縦向きにしても本機の向きに合わせて回転させません。 ☑：常に横向きで表示します　※☐：自動で回転させます

次のページに続く

設定項目	設定内容　　　（※：お買い上げ時の設定）
JavaScriptを有効にする	JavaScript を有効にします。 ※☑：有効にします　☐：有効にしません
プラグインを有効にする	プラグインを有効にします。 ※☑：有効にします　☐：有効にしません
バックグラウンドで開く	現在のウィンドウの後ろに新しいウィンドウを開きます。 ☑：新しいウィンドウで開きます　※☐：新しく開きません
ホームページ設定	ブラウザ起動時に表示する「ホームページ」を設定することができます。サイトの URL を入力し、「OK」を選んでください。 ● 文字入力のしかたについては 27 ページをお読みください。
キャッシュを消去	「OK」を選ぶと読み込んだウェブサイトのキャッシュファイルを消去します。
履歴消去	「OK」を選ぶとウェブサイトの過去の閲覧履歴を消去します。
Cookie を受け入れる	ウェブサイトから受け取る Cookie を常に受信します。 ※☑：常に受信します　☐：受信しません
Cookie をすべて消去	「OK」を選ぶとウェブサイトから受け取った Cookie ファイルを消去します。
フォームデータを保存	ウェブサイト閲覧中に入力したフォームデータを保存するかを設定します。 ※☑：保存します　☐：保存しません
フォームデータを消去	「OK」を選ぶと本機に保存されたフォームデータをすべて消去します。
位置情報を有効にする	ウェブサイトに現在地情報へのアクセスを許可するかを設定します。 ※☑：許可します　☐：許可しません
位置情報アクセスを消去	「OK」を選ぶとすべてのウェブサイトの位置情報アクセスを消去します。
パスワードを保存	ウェブサイト閲覧時に入力したサイトのユーザー名とパスワードを保存するかを設定します。 ※☑：保存します　☐：保存しません
パスワードを消去	「OK」を選ぶと本機に保存されたサイトのユーザー名とパスワードを消去します。
セキュリティ警告	サイトの安全性に問題がある場合、警告表示をするかを設定します。 ※☑：表示します　☐：表示しません
ウェブサイト設定	ウェブサイトごとの位置情報アクセスやダウンロードしたデータを消去します。
初期設定にリセット	「OK」を選ぶとブラウザのすべての設定をお買い上げ時の設定に戻します。 ● ブックマークや閲覧履歴、キャッシュなど本機に保存されたデータは消去されません。

◇ 元の画面に戻るには

本機の [↩] を押してください。

i 文庫を読む

i 文庫は、青空文庫（著作権が消滅した文学作品や著作権者が閲覧を許諾した文学作品）から本機の内蔵メモリーに読みたい書籍を無料でダウンロードして、書籍を閲覧できるテキストリーダーです。

- 本機に搭載されている i 文庫は、本機専用に機能を制限しているので、インターネット上で市販されている i 文庫 for Android と同等の機能ではありません。
- 書籍をダウンロードするには、インターネット接続された無線 LAN 接続が必要ですが、ダウンロード済みの書籍を読む場合や「（i 文庫サンプル作品）」の書籍（P136）を読む場合は、無線 LAN 接続は不要です。

準備　●インターネット接続されたルーターに無線 LAN 接続しておく（P94）

1 本機の [⌂] を押す

ホーム画面が表示されます。

2 「」を選んでランチャー画面を表示し、「（i 文庫）」アイコンを選ぶ

本棚が表示されます。

- お買い上げ時は「おすすめ 1」の本棚が表示されます。

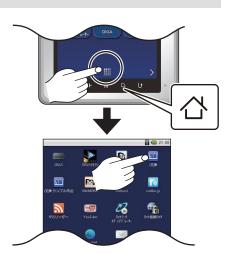
3 読みたい書籍を選ぶ

選んだ書籍の情報が表示されます。

表示する本棚を切り換える ☞ P132

すべての青空文庫の書籍から探す ☞ P133

4 「ダウンロード」を選ぶ

内蔵メモリーへダウンロードし、書籍が表示されます。

お知らせ

- 書籍を SD カードにダウンロードすることはできません。

次のページに続く

読書中の操作

縦向きに構えた画面例

横向きに構えた画面例

- 本棚画面で、本機の向きを回転させた場合、本棚の書籍が２冊重なったような表示になることがありますが、そのままお使いいただいて問題ありません。

■ページをめくる

左右にフリックしてめくる

- 画面の左下と右下をタップしてめくることもできます。

■ページを移動する

1 画面の上部をタップしてスクロールバーを表示させる

2 スクロールバーに沿ってドラッグする

次のページに続く

戻る

■画面を拡大する

（書籍を開いているときに）
画面をダブルタップ（2 回すばやくタップ）する

拡大 / 縮小調整画面が表示されます。

元の大きさに戻します。　拡大します。
Zoom x 2.00
縮小します。 Zoom out　Fit　Zoom in

■文字の大きさを変更する

1 （書籍を開いているときに）本機の［⋮☰］を押して次の順で選ぶ

設定 → 文字

2 大きさを調整する

- 「小」「大」をタップするたびに文字の大きさが変わります。
- 「標準」を選ぶとお買い上げ時の大きさになります。

◇ 元の画面に戻るには

戻りたい画面になるまで、本機の［⮌］を押してください。

■書籍を閉じて本棚に戻る

本機の［⮌］を押す

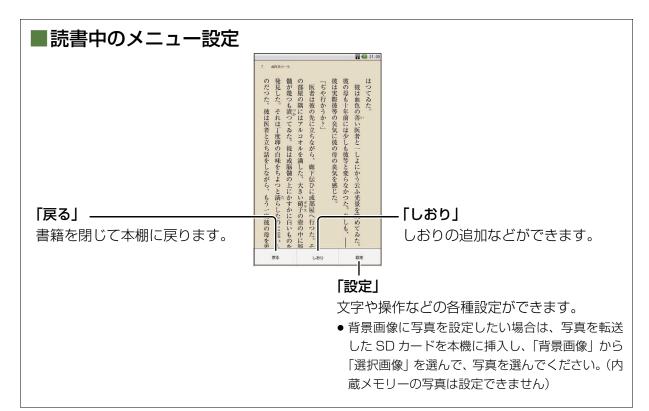
- 本機の［⋮☰］を押して「戻る」を選んだり、画面上のボタンをタップして戻ることもできます。

お知らせ

- 本を閉じると、自動的に「しおり」が挟まれるので、次に同じ書籍を読むときは続きから読むことができます。

次のページに続く

読書中のメニュー設定

「戻る」
書籍を閉じて本棚に戻ります。
「しおり」
しおりの追加などができます。
「設定」
文字や操作などの各種設定ができます。
● 背景画像に写真を設定したい場合は、写真を転送した SD カードを本機に挿入し、「背景画像」から「選択画像」を選んで、写真を選んでください。（内蔵メモリーの写真は設定できません）

表示する本棚を切り換える

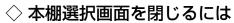
準備　●ホーム画面で「(ｉ文庫)」アイコンを選んでおく（P128）

1 「」を選ぶ

2 表示する本棚を選ぶ

●「おすすめ」本棚には、青空文庫の中からおすすめの書籍を集めています。無線 LAN 接続して書籍を選び、ダウンロードしてお読みください。

青空文庫のすべての書籍から書籍を探すには　P133

◇ 本棚選択画面を閉じるには

本機の [] を押してください。

■本棚の編集をする

手順 **2** の画面で「編集」を選ぶと、本棚の追加、削除、本棚の名称の変更ができます。

- **追加する**：「追加」を選び、本棚の名称を入力して「Save」を選ぶ
- **削除する**：削除したい本棚の「」をタップし、「削除」をタップする
- **本棚の名称を変更する**：変更したい本棚を選び、文字を入力して「Save」を選ぶ
  - 変更する名称の文字数が多い場合は、すべて表示できません。

編集を完了したら「完了」をタップしてください。

すべての青空文庫の書籍から探す

準備
- インターネット接続されたルーターに無線 LAN 接続しておく（P94）
- ホーム画面で「(i 文庫)」アイコンを選んでおく（P128）

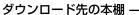
1 本機の［⁝☰］を押して「青空文庫」を選ぶ

2 リスト画面から読みたい書籍を選ぶ

❶ 著者を選ぶ
❷ 書籍を選ぶ

リストを「履歴」「新着本」に切り換えることや、検索して選ぶこともできます。

3「ダウンロード」を選ぶ

内蔵メモリーへのダウンロードを開始します。

ダウンロード先の本棚
- 変更する場合は、タップして本棚を選んでください。

お知らせ
- 1 つの本棚に登録できる書籍の数は 100 冊までです。

次のページに続く

戻る

書籍を消去する

準備　●ホーム画面で「(i文庫)」アイコンを選んでおく（P128）

1 「編集」を選ぶ

2 消去する書籍を選び、「削除」を選ぶ

選んだ書籍に「✓（チェック）」が入ります。

3 確認画面で「OK」を選ぶ

◇ 元の画面に戻って書籍を読むには

「完了」を押してください。

お知らせ

- ダウンロードした書籍を消去しても、内蔵メモリーの空き容量は増えません。空き容量を増やすには「詳細設定」で「青空文庫データの削除」を行ってください。（P135）

次のページに続く

設定や本棚の初期化などi文庫の設定をする

準備　● ホーム画面で「📖（i文庫）」アイコンを選んでおく（P128）

1 本機の［⁝☰］を押して「設定」を選ぶ

2 「詳細設定」を選ぶ

3 設定する

設定項目	設定内容
設定の初期化	読書中などに設定した内容をお買い上げ時の設定に戻します。
本棚の初期化	本棚をお買い上げ時の状態に戻します。
青空文庫データの削除	青空文庫からダウンロードした書籍を消去します。
青空文庫ミラーサーバーを使用	青空文庫の書籍のデータを取得するサーバーを選択します。データ取得できない場合に「ON」に設定してください。
初期表示方向	書籍を最初に開いたときの表示を指定します。 ● 設定は、すでに本棚に登録されている書籍には反映されません。設定後にダウンロードする書籍に対して、変更した設定が反映されます。 ● お買い上げ時は「常に縦/右開き」に設定されています。

◇ 元の画面に戻るには

戻りたい画面になるまで、本機の［↩］を押してください。

お知らせ

● i文庫の各種設定やダウンロード済みの書籍などをお買い上げ時の設定に戻すには、「設定の初期化」「本棚の初期化」「青空文庫データの削除」を行ってください。

次のページに続く

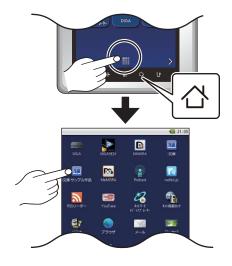
サンプル作品を読む

ダウンロード操作をしないでもすぐに書籍が読めるようにｉ文庫の書籍の一部を集めたアプリケーションから書籍を読むことができます。

1 **本機の [⌂] を押す**

ホーム画面が表示されます。

2 **「▦」を選んでランチャー画面を表示し、「📖（i 文庫サンプル作品）」アイコンを選ぶ**

書籍のリストが表示されます。

3 **読みたい書籍を選ぶ**

- 読書中の操作は、i 文庫と同じです。129ページをお読みください。

サンプル作品以外の書籍を読みたい場合、タップすると「📖（i文庫）」を起動します。

■書籍を閉じて書籍のリストに戻る

1 **（書籍を開いているときに）**
本機の [↶] を押す

i 文庫の本棚画面になります。

2 **（i 文庫の本棚が表示されているときに）**
本機の [↶] を押す

お知らせ

- 書籍を閉じるときに一度本棚画面に戻りますが、サンプル作品は本棚に登録されません。

Podcast(ポッドキャスト)/RSS サイトを登録する

Podcast（ポッドキャスト）とは
インターネット上に公開された音声ファイルや動画ファイルを登録することで、最新情報をダウンロードして再生します。

RSS（アールエスエス）とは
ニュースやブログなどの最新記事が入っている規格データを RSS と呼び、登録することで、最新記事をダウンロードして閲覧できます。

準備　●インターネット接続されたルーターに無線 LAN 接続しておく（P94）

1 インターネットブラウザで登録したいサイトを表示する（P120）

Podcast や RSS に対応したサイトの場合、サイト上に RSS アイコンが表示されています。
●RSS アイコンはサイトによって異なります。サイトの説明をご確認ください。

2 RSS アイコンを長くタッチして、次の順で選ぶ

リンクを共有 → Podcast または RSS リーダー → 保存

RSS サイトを検索して登録する

1 本機の [⌂] を押す

ホーム画面が表示されます。

2 「▦」を選んでランチャー画面を表示し、「RSS (RSS リーダー)」アイコンを選ぶ

3 本機の［⁝☰］を押して「検索」を選ぶ

4 文字入力欄をタップして検索する文字を入力し、「OK」を選ぶ

文字入力について　☞ P27

次のページに続く

戻る

5 検索結果一覧から登録したいサイトを選ぶ

6 確認画面で「保存」を選ぶ

◇ 元の画面に戻るには

戻りたい画面になるまで本機の [ ] を押してください。

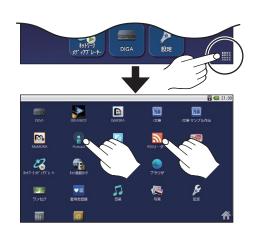
その他の登録方法

1 本機の [ ] を押す

ホーム画面が表示されます。

2 （Podcast 記事を閲覧する場合）「 」を選んでランチャー画面を表示し、「 (Podcast)」アイコンを選ぶ

（RSS を閲覧する場合）「 」を選んでランチャー画面を表示し、「 (RSS リーダー)」アイコンを選ぶ

お買い上げ後、Podcast を起動したときは更新画面が表示されます。メッセージを確認し操作してください。

3 本機の［ ］を押して「追加」を選ぶ

4 追加する方法をタップする

追加する方法	設定内容
手動で追加	手動でアドレスを入力して、「保存」を選んでください。文字入力のしかたは 27 ページをお読みください。
（RSS サイトのみ）Google リーダーの読み込み	Google リーダー読み込み画面が表示されます。アドレスとパスワードを入力して「OK」を選んでください。
OPMLの読み込み	OPML 形式のリストを本機に読み込むことができます。アドレスを入力して「インポート」を選んでください。

Podcast/RSS の記事を閲覧する

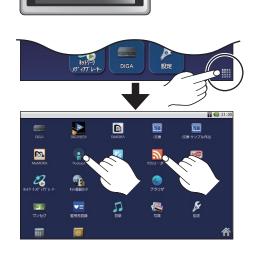
1 本機の [⌂] を押す

ホーム画面が表示されます。

2 （Podcast 記事を閲覧する場合）「」を選んでランチャー画面を表示し、「(Podcast)」アイコンを選ぶ

（RSS を閲覧する場合）「」を選んでランチャー画面を表示し、「 (RSS リーダー)」アイコンを選ぶ

登録したサイト一覧が表示されます。

- お買い上げ後、Podcast を起動したときは更新画面が表示されます。メッセージを確認し操作してください。

更新する ☞ P142

3 サイト一覧から閲覧したい記事を選ぶ

記事一覧が表示されます。

更新する ☞ P142

サイト一覧

Podcast の場合　　RSS の場合

4 閲覧したい記事を選ぶ

- Podcast の場合、再生開始します。再生操作についてはビデオファイルの場合は 69 ページを、音楽ファイルの場合は 78 ページをお読みください。（スキップには対応していません）
- Podcast のファイルがダウンロードされていない場合、無線 LAN接続しているとダウンロードを実行します。

記事一覧

未 未読記事
□ ファイルダウンロード未
■ ファイルダウンロード済み

次のページに続く

戻る

お知らせ

- RSS サイトによっては無線 LAN 接続しないと記事の閲覧ができない場合があります。この場合、サイト一覧画面で本機の［⁝☰］を押して「設定」を選び、「ダウンロード形式」を「モバイル Web 形式」もしくは「フルブラウザ形式」に設定すると（P145）、記事のコンテンツを本機にダウンロードするので、ブラウザ接続していないときでも記事を閲覧することができます。
- Podcast を再生した場合、レジューム（前回停止したところから再生）機能には対応していません。
- 内蔵メモリーをフォーマットした場合、記事の一部が閲覧できなくなることがあります。
- サイト一覧を表示中に本機の［⁝☰］を押して、「About」を選ぶと、Podcast や RSS リーダーのバージョンを表示します。「OK」をタップするとバージョン表示を閉じます。

■（RSS 記事閲覧の場合）閲覧中の記事を共有する

1 **（記事閲覧中に）**
本機の［⁝☰］を押して「記事を共有」を選ぶ

2 **添付するアプリケーションを選ぶ**

お知らせ

- 閲覧記事の情報をメールで送信する場合は、本機でメールを送受信できるように設定する必要があります。（P146）

次のページに続く

新着記事を見る

登録したすべてのサイトの最新内容から 50 件分を表示します。

準備 ●サイト一覧を表示しておく（P139）

1 「新着順」を選ぶ

新着記事一覧を表示します。

2 見たい記事を選ぶ

●「サイト一覧」を選ぶと一覧画面に戻ります。

画面例：RSS リーダー

お気に入りに登録する

登録すると、お気に入り登録したサイトだけをリストで表示することができるので管理に便利です。

準備 ●記事一覧を表示しておく（P139）

登録したい記事の「☆」をタップする

お気に入り登録すると「★」に表示が変わります。

画面例：RSS リーダー

◇ お気に入り登録した記事を見る

サイト一覧画面で画面下部の「お気に入り」を選ぶと、お気に入り登録した一覧が表示されます。

●「サイト一覧」を選ぶと一覧画面に戻ります。

一覧の内容を更新する

準備
- インターネット接続されたルーターに無線 LAN 接続しておく（P94）
- サイト一覧を表示しておく（P139）

登録したすべてのサイト一覧を更新する

本機の［⁝☰］を押して「更新」を選ぶ

登録したすべてのサイトを更新します。（動作表示ランプが約 1 秒間隔で点滅します）
- Podcast の場合、すでに一覧に表示されていて、記事ファイルのダウンロードがされていない記事は、この操作ではファイルのダウンロードはされません。（P139）

画面例：RSS リーダー

◇ 更新中に更新を中止するには

ステータスバーを下へドラッグし、「中止」をタップしてください。

選んだサイトの記事一覧を更新する

1 サイト一覧から更新するサイトを選ぶ

記事一覧が表示されます。

2 本機の［⁝☰］を押して「更新」を選ぶ

選んだサイトの記事一覧を更新します。（動作表示ランプが約 1 秒間隔で点滅します）
- Podcast の場合、すでに一覧に表示されていて、記事ファイルのダウンロードがされていない記事は、手順 2 の操作ではファイルのダウンロードはされません。（P139）

◇ 更新中に更新を中止するには

ステータスバーを下へドラッグし、「中止」をタップしてください。

お知らせ
- サイト一覧で更新したいサイトを長くタッチして「更新」を選んで更新することもできます。
- ダウンロード中にビデオファイルを再生した場合、ビデオファイルの再生が乱れたりとぎれたりすることがあります。
- ダウンロード中は更新することができません。

Podcast/RSS の記事を消去する

準備 ●サイト一覧を表示しておく（P139）

サイトを選んで消去する

1 サイト一覧から消去するサイトを選ぶ

記事一覧が表示されます。

2 本機の［⁝☰］を押して次の順で選ぶ

サイト → サイト消去 → OK

お知らせ

●サイト一覧で、消去したいサイトを長くタッチして「サイト消去」を選んで消去することもできます。

記事を選んで消去する

1 サイト一覧からサイトを選び、記事一覧を表示する

2 消去する記事を長くタッチして「記事消去」を選ぶ

3 確認画面で「OK」を選ぶ

お知らせ

●RSS の場合、消去する記事を選び、本機の［⁝☰］を押して「記事消去」を選んで消去することもできます。

Podcast/RSS の設定など

準備　● サイト一覧を表示しておく（P139）

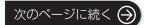
記事一覧画面から設定できること

1　サイト一覧からサイトを選び、記事一覧を表示する

2　本機の［⁝☰］を押して項目を選び、設定する

<table>
<tr><th colspan="2">設定項目</th><th>設定内容</th></tr>
<tr><td colspan="2">更新</td><td>142 ページをお読みください。</td></tr>
<tr><td colspan="2">全て既読にする</td><td>記事をすべて既読にします。
● それぞれの記事を個別に変更する場合は、変更したい記事を長くタッチして「未読にする」または「既読にする」を選んでください。</td></tr>
<tr><td colspan="2">既読記事消去</td><td>既読記事をすべて消去します。
● お気に入りに登録している記事は消去されません。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">サイト</td><td>サイト消去</td><td>143 ページをお読みください。</td></tr>
<tr><td>サイト編集</td><td>サイトのタイトルと URL を変更できます。変更後、「保存」を選んでください。
● 文字入力については 27 ページをお読みください。
● サイト一覧で、編集したいサイトを長くタッチして「編集」を選んで編集することもできます。</td></tr>
<tr><td>記事保有数設定</td><td>145 ページで設定しているサイト内記事制限に関係なく、個別で現在選んでいるサイトの記事のダウンロード数を設定できます。
「記事保有数を個別設定する」のチェックボックスをタップしてチェックを入れ、「変更」を選びます。何件までの記事をダウンロードするかを選び、「OK」を選んでください。
● サイト一覧で、設定したいサイトを長くタッチして「記事保有数設定」を選んで設定することもできます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">設定</td><td>145 ページをお読みください。</td></tr>
</table>

次のページに続く

戻る

サイト一覧画面から設定できること

本機の［⁝☰］を押して次の順でタップする

設定 → 希望の設定項目 → 希望の設定内容

設定項目	設定内容　　（※：お買い上げ時の設定）
自動更新	自動でサイトを更新するタイミングを設定します。 **※なし　時間間隔指定　時刻指定** ●「時間間隔指定」や「時刻指定」を選んだ場合は、「変更」を選び、時間を設定してください。 ●「外部電源使用時のみ実行」にチェックを入れるとACアダプターに接続しているときのみ自動更新を行います。 ●電池残量が少なくなると自動的にWi-Fiオフになります。自動更新時に電池残量表示が「　」以上の状態にしておくか、ACアダプターと接続しておいてください。（P17） 設定し終わったら「OK」を選んでください。
(Podcast のみ) コンテンツ最大領域	設定した容量以上の情報の場合、ダウンロードを停止します。 **1 GB　2 GB　4 GB　8 GB　※ 制限なし** ●本機の内蔵メモリーの使用可能領域は約3.1 GBのため、「4GB」「8GB」を選択すると、「制限なし」と同じ設定となります。
(RSS のみ) ダウンロード形式	RSSデータをダウンロードする形式を選びます。 **※記事のみ　記事＋画像　モバイル Web 形式　フルブラウザ形式**
(Podcast のみ) コンテンツ消去	ダウンロードした音声ファイルや動画ファイルを消去します。
(RSS のみ) キャッシュのクリア	「ダウンロード形式」を「記事＋画像」、「モバイル Web 形式」、「フルブラウザ形式」に設定した場合に、ダウンロードした画像や記事のコンテンツを消去します。
(RSS のみ) 文字サイズ	記事の文字サイズを設定します。 **小　※中　大**
既読記事は表示しない	記事一覧に既読記事を表示するか、未読記事だけを表示するかを設定します。 ☑：既読記事を表示しません（未読記事だけ表示）　※☐：既読記事も表示します
サイト表示順	サイト一覧で表示する順番を設定します。 **※タイトル順　登録順**
サイト内記事制限	最新内容に更新時にダウンロードされる記事の数を設定できます。 **※ 25 件　50 件　100 件　制限無し**
通知	新着情報を受信すると画面上部のステータスバーに「　」または「　」を表示してお知らせするかを設定します。 ※☑：通知します　☐：通知しません
通知音を選択	新着情報を受信したときに鳴らす音を設定します。音を選び、「OK」を選んでください。

メールを送受信できるように設定する

メールのアカウントを設定することで、E メールを本機で送受信することができます。

準備
- あらかじめお使いのメールアカウントを準備しておく
- インターネット接続されたルーターに無線 LAN 接続しておく（P94）

1 本機の［⌂］を押す

ホーム画面が表示されます。

2 「▦」を選んでランチャー画面を表示し、「✉（メール）」アイコンを選ぶ

メールアドレスとパスワードの設定画面が表示されます。

3 メールアドレスとパスワードを入力し、「次へ」を選ぶ

4 アカウントの名前と送信時の表示を入力し、「完了」を選ぶ

次のページに続く

戻る

■受信サーバーと送信サーバーの設定を変更する場合

本機の［☰］を押して「アカウントの設定」を選び、アカウントの設定画面から下記の手順で設定してください。

1 受信サーバーを設定する

「受信設定」を選び、設定内容を変更して「次へ」をタップする

2 送信サーバーを設定する

「送信設定」を選び、設定内容を変更して「次へ」をタップする

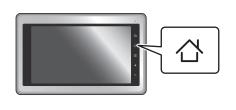
お知らせ

- アカウントの設定はお使いのプロバイダーのメールのご利用設定に従って、各種設定を行ってください。
- 半角カナや特殊文字（日本語やアルファベット以外の言語の文字や記号など）は本機で正しく表示できない場合があります。
- 本機で送受信したメールは、パソコンや SD カードにバックアップをとることができません。

メールを見る

1 本機の [⌂] を押す

ホーム画面が表示されます。

2 「▦」を選んでランチャー画面を表示し、「✉（メール）」アイコンを選ぶ

3 メールトレイから見たいメールを選ぶ

- 新着メールを読み込む場合は、インターネット接続されたルーターに無線 LAN 接続し（P94）、本機の [☰] を押して「更新」を選んでください。

メールトレイ画面

メッセージ表示画面

ファイルが添付されています。
「開く」：本機で対応できるファイルの場合、添付のファイルを表示します。元の画面に戻る場合は本機の [⮌] を押してください。
「保存」：本機に SD カードを入れている場合、添付ファイルを SD カードに保存します。

- メールを転送したい場合は、メッセージ表示画面で本機の［☰］を押して「転送」を選んでください。
- メールの返信や転送をする場合、「元のメッセージ」欄の「☒」をタップすると、返信や転送するために作成したメッセージだけを送信し、受信した元のメッセージは送信しません。
- 既読のメールを未読にしたい場合は、メッセージ表示画面で本機の［☰］を押して「未読にする」を選んでください。

次のページに続く

■メールトレイを切り換える(受信・送信・下書き・送信済み・ゴミ箱など)

現在表示しているメールトレイを切り換えることができます。

準備　● メールトレイ画面を表示しておく(P148)

1 本機の[⋮☰]を押して「フォルダ」を選ぶ

2 表示したいトレイをタップする

メールを送る

準備

- インターネット接続されたルーターに無線 LAN 接続しておく（P94）
- メールトレイ画面を表示しておく（P148）

1 本機の［⁝☰］を押して「作成」を選ぶ

2 アドレス、件名、本文を入力してメールを作成し、「送信」をタップする

- 連絡先に登録したアドレスにメールを送信する場合は 151 ページをお読みください。

■写真などの添付や宛先の追加をする

メール作成中に本機の［⁝☰］を押して設定する

設定項目	設定内容
Cc/Bcc を追加	アドレス入力欄に Cc、Bcc 入力欄が表示されるので、宛先を追加できます。
送信	メールを送信します。
下書き保存	作成したメールを送信せず、下書きトレイに保存します。下書きトレイに保存したファイルは、メールトレイ画面で本機の［⁝☰］を押して、「フォルダ」→「下書き」の順に選んで呼び出すことができます。
破棄	作成したメールを破棄します。
添付ファイルを追加	写真を添付できます。添付するファイルを選んでください。選んだあと添付をやめる場合は「✖」をタップしてください。

次のページに続く

連絡先に登録したアドレスにメールを送る

準備
- インターネット接続されたルーターに無線 LAN 接続しておく（P94）
- 連絡先を登録しておく（P153）

1 本機の [ ] を押す

ホーム画面が表示されます。

2 「 」を選んでランチャー画面を表示し、「 （連絡先）」アイコンを選ぶ

3 メールを送信する相手を選ぶ

4 送信するアドレスを選ぶ

5 メールを作成し、「送信」を選ぶ

メールの設定

準備　● メールトレイ画面を表示しておく（P148）

本機の［⁝☰］を押して次の順でタップする

アカウントの設定 → 希望の設定項目 → 希望の設定内容

設定項目	設定内容　（※：お買い上げ時の設定）
アカウント名	アカウント名の変更ができます。
名前	名前の変更ができます。
メールアドレス	メールアドレスの変更ができます。
新着メール自動確認	何分おきに新着メールの着信確認をするかを設定します。 **自動確認しない　5 分毎　10 分毎　※15 分毎　30 分毎　1 時間毎**
優先アカウントにする	タップしてチェックを入れると、常に表示のアカウントを優先してメールを送信します。 ※☑：優先します　☐：優先しません
メール着信通知	タップしてチェックを入れると、新着メールがあると、画面上部のステータスバーに「✉」を表示してお知らせします。 ※☑：通知します　☐：通知しません
通知音を選択	メール着信時の通知音を設定します。通知音を選んで「OK」を選んでください。
受信設定	147 ページをお読みください。
送信設定	147 ページをお読みください。

※ メールサーバーが「POP3」の場合の設定項目です。「IMAP」「Exchange」の場合は設定項目が異なります。

■アカウントを選択する

本機の［⁝☰］を押して「アカウント」を選ぶ

設定されているメールアカウントのリストが表示されるので、使用するアカウントを選んでください。

- 総合受信トレイ　：複数設定されたすべてのメールアカウントの受信メールが入ります。
- 下書き　：下書き保存されたメールが入ります。
- 送信トレイ　：未送信のメールが入ります。
- アカウントのリスト：設定されたすべてのメールアカウントのリストが表示されます。

メールアドレスなど連絡先を登録する

1 本機の［⌂］を押す

ホーム画面が表示されます。

2 「▦」を選んでランチャー画面を表示し、「@（連絡先）」アイコンを選ぶ

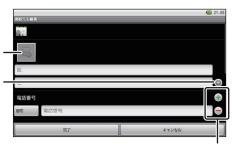
- お買い上げ時など、連絡先が登録されていない場合は操作案内画面が表示されます。

3 「連絡先」タブが選ばれていることを確認し、本機の［⁝☰］を押して「連絡先を新規登録」を選ぶ

次のページに続く

4 登録したい項目欄をタップし、連絡先を入力する

文字入力のしかた ☞ P27

タップするたびに新規入力欄が追加されます。
「−」をタップすると消去します。

5 登録したい項目をすべて入力したら「完了」を選ぶ

お知らせ

- 連絡先に登録された内容は、故障などによって消失することがあります。故障による登録内容の変化・消失の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

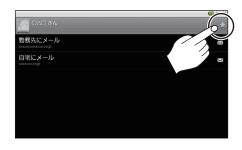
次のページに続く

■お気に入りに登録する

準備 ●ホーム画面で「（連絡先）」アイコンをタップして連絡先タブを選んでおく（P153）

1 お気に入りに登録したい連絡先を選ぶ

2 「☆」をタップする

★：お気に入りに登録
☆：お気に入り解除

■登録したアドレスを表示する

ホーム画面で「（連絡先）」アイコンを選び、「お気に入り」タブを選ぶ

登録した連絡先を編集する

準備 ●ホーム画面で「 （連絡先）」アイコンを選んでおく（P153）

連絡先を検索して表示する

連絡先に登録した名前やアドレスをもとに、連絡先を検索して表示します。

1 本機の［⁝☰］を押して「検索」を選ぶ

2 文字を入力する

文字入力のしかた ☞ P27

3 「検索」をタップする

●入力した文字を確定して、キーボードを閉じた場合は「 」をタップしてください。

連絡先を編集する

1 編集したい連絡先を選ぶ

2 本機の［⁝☰］を押して「連絡先を編集」を選び、編集する

●編集のしかたは登録するときと同じです。（P153）

3 編集したい項目をすべて入力したら「完了」を選ぶ

他の連絡先と統合する

❶ 編集画面で、本機の［⁝☰］を押して「統合」を選ぶ
❷ 統合させたい連絡先を選ぶ

●統合させた連絡先を統合前の 2 つの連絡先に分割するときは、上記 ❶ で「分割」を選び、「OK」を選んでください。

次のページに続く

連絡先のバックアップをとる

本機に登録した連絡先を SD カードに書き出すことができます。

準備
- SD カードを本機に入れておく（P15）
- ホーム画面で「 （連絡先）」アイコンを選んでおく（P153）

1 本機の［⁝☰］を押して次の順で選ぶ

インポート / エクスポート → SD カードにエクスポート

2 確認画面で「OK」を選ぶ

■SD カードに書き出した連絡先を本機に読み込む

本機の［⁝☰］を押して次の順で選ぶ

インポート / エクスポート → SD カードからインポート

連絡先を消去する

1 消去したい連絡先を選ぶ

2 本機の［⁝☰］を押して「連絡先を消去」を選ぶ

3 確認画面で「OK」を選ぶ

電卓を使う

1 本機の [⌂] を押す

ホーム画面が表示されます。

2 「 」を選んでランチャー画面を表示し、「 (電卓)」アイコンを選ぶ

3 数字や記号を選び、計算する

- 関数計算する場合は、本機の［ ］を押して「関数機能」を選んでください。

お知らせ

- 計算エラーとなった場合は「エラー」が表示されます。

ホーム画面を変更する

壁紙を変更する

準備　●ホーム画面を表示しておく（P23）

1 本機の［☰］を押す

2 「壁紙」を選ぶ

3 壁紙の種類を選ぶ

壁紙：
あらかじめ本機に内蔵されている壁紙から選ぶことができます。
壁紙（写真から選択）：
本機の内蔵メモリーや SD カードの写真ファイルから選んで設定できます。

4 壁紙にしたい画像を選ぶ

「壁紙」を選んだ場合
左右にフリックして画像を選び、「壁紙に設定」を選んでください。

「壁紙（写真から選択）」を選んだ場合
オレンジ色の枠をドラッグして設定する範囲を決め、「保存」を選んでください。
- 画像サイズによっては、範囲が固定されてオレンジ色の枠を調整できません。
- 設定後の画像表示範囲は、壁紙設定時のオレンジ色の枠で選択した範囲と多少異なります。

「壁紙（写真から選択）」の場合

お知らせ
- 下記の方法でも壁紙を変更することができます。
  - アイコンのない部分を長くタッチすると、サブメニューが表示されます。サブメニューから「壁紙」を選び、種類を選んで壁紙を設定してください。

次のページに続く

ショートカットを作成する

ホーム画面にショートカットを作成できます。作成したショートカットをタップすると簡単に起動させることができます。

●中央画面（トップメニュー）にはショートカットを作成できません。

ショートカットの種類	内容
アプリケーション	ランチャーに表示されるアプリケーションのショートカットを作成します。
ブックマーク	ブックマークに登録したサイトのショートカットを作成します。
メール	受信トレイのショートカットを作成します。 ● メールを送受信できるように設定していないときは表示されません。
設定	「（設定）」アイコンで設定できる各分類のショートカットを作成します。

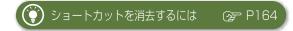
準備　●中央画面（トップメニュー）以外のホーム画面を表示しておく（P24）

1 本機の [⁝☰] を押して次の順で選ぶ

追加 → ショートカット

2 作成するショートカットの種類と内容を選ぶ

ショートカットを移動させるには　☞ P164

ショートカットを消去するには　☞ P164

お知らせ

● 下記の方法でもショートカットを追加することができます。

- アイコンのない部分を長くタッチするとサブメニューが表示されます。サブメニューから「ショートカット」を選び、種類を選んでショートカットを選んでください。
- アプリケーションのショートカットを作成する場合は、ランチャー画面を表示して作成したいアプリケーションのアイコンをひとまわり大きく表示されるまで長くタッチし、配置したい場所までドラッグしてください。

次のページに続く

ウィジェットを追加する

ウィジェットとは、ホーム画面に置くことができる小規模なアプリケーションのことです。時計や音楽再生状況の子画面など下記のウィジェットをホーム画面に置くことができます。

●中央画面（トップメニュー）にはウィジェットを配置できません。

ウィジェットの種類	内容
Wi-Fi オン / オフ	無線 LAN のオン / オフの切り換え操作ができる画面を表示します。
ジャケット付音楽 音楽	音楽再生中の曲名などを表示し、再生、一時停止などの操作ができます。「ジャケット付音楽」の場合は、ジャケット写真も表示します。
検索	検索ボックスを表示します。
時計	時計を表示します。

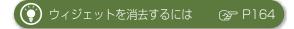
準備　●中央画面（トップメニュー）以外のホーム画面を表示しておく（P24）

1 本機の [⋮☰] を押して次の順で選ぶ

追加 → ウィジェット

2 追加するウィジェットの種類を選ぶ

ウィジェットを移動させるには　☞ P164

ウィジェットを消去するには　☞ P164

お知らせ

●下記の方法でもウィジェットを追加することができます。
- アイコンのない部分を長くタッチするとサブメニューが表示されます。サブメニューから「ウィジェット」を選び、種類を選んでください。

●「ジャケット付音楽」は容量が大きいウィジェットのため、画面内に他のウィジェットやフォルダー、ショートカットを配置している場合は追加することができません。

次のページに続く

フォルダーを作成する

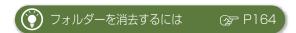
ショートカットアイコンの整理のため、フォルダーを作成して管理することができます。
●中央画面（トップメニュー）にはフォルダーを作成できません。

フォルダーの種類	内容
新しいフォルダ	フォルダーを新しく作ります。
スター付きの連絡先	お気に入りに登録した連絡先（P155）を表示します。
すべての連絡先	登録した連絡先すべてを表示します。
新着記事（Podcast）	Podcast（ポッドキャスト）の最新記事のリストを表示します。
新着記事（RSS）	RSS リーダーの最新記事のリストを表示します。

準備　●中央画面（トップメニュー）以外のホーム画面を表示しておく（P24）

1 本機の [⁝☰] を押して次の順で選ぶ

追加 → フォルダ

2 フォルダーの種類を選ぶ

お知らせ

●下記の方法でもフォルダーを作成することができます。
- アイコンのない部分を長くタッチするとサブメニューが表示されます。サブメニューから「フォルダ」を選び、種類を選んでください。

次のページに続く

■ショートカットアイコンを新しく作成したフォルダーの中に移動させる

1 移動させるアイコンを長くタッチする

アイコンがひとまわり大きく表示されます。

2 タッチしたままアイコンをフォルダーの上にドラッグする

3 アイコンから指を離す

お知らせ

- 連絡先フォルダー内（「 」「 」）や新着記事フォルダー内「 」「 」）に移動させることはできません。

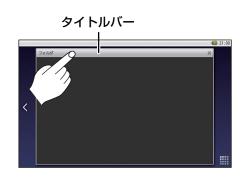
■フォルダーの名前を変更する

1 変更したいフォルダーをタップする

2 フォルダーのタイトルバーを長くタッチする

「フォルダ名を変更」画面になります。

3「フォルダ名」入力ボックスをタップして、フォルダー名を入力し「OK」を選ぶ

次のページに続く

アイコンなどを移動する

ショートカットアイコンや配置したウィジェット、フォルダーを移動します。

準備　●ホーム画面を表示しておく（P23）

1　**移動させるショートカットアイコンなどを長くタッチする**

ひとまわり大きく表示されます。

2　**タッチしたまま移動させたい場所までドラッグし、指を離す**

お知らせ

●中央画面（トップメニュー）には、ショートカットアイコンを追加したりウィジェットやフォルダーを移動することはできません。

アイコンやフォルダーなどを消去する

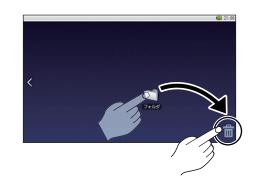
ショートカットアイコンや配置したウィジェット、フォルダーを消去します。

準備　●中央画面（トップメニュー）以外のホーム画面を表示しておく（P24）

1　**消去するショートカットアイコンやフォルダーなどを長くタッチする**

ひとまわり大きく表示されます。

2　**タッチしたまま「🗑」までドラッグし、指を離す**

●色が赤く変わったら指を離してください。

お知らせ

●中央画面（トップメニュー）のショートカットアイコンは消去できません。

次のページに続く

戻る

中央画面を変更する

お買い上げ時の中央画面にはトップメニューとして 9 つのアイコンが配置されています。トップメニューは、ショートカットアイコンを入れ替えることはできますが、ショートカットアイコンを追加 / 消去したり、ウィジェットやフォルダーを置くことはできません。
中央画面にウィジェットなどを置きたい場合は、トップメニューをオフにすると左右の画面と同様に変更できます。

■中央画面のショートカットアイコンを入れ替える

準備　●中央画面（トップメニュー）を表示しておく（P23）

1 画面下の「▦」をタップしてランチャー画面を表示し、中央画面に配置したいアイコンを長くタッチする

2 タッチしたまま入れ替えるアイコンの上にドラッグする

■トップメニューをオフにする

準備　●ホーム画面を表示しておく（P23）

1 本機の［⁝☰］を押す

2「ホーム設定」を選ぶ

3「トップメニューオフ」を選ぶ

◇ **トップメニューに戻すには**

手順 **3** で「トップメニューオン」に設定してください。

検索する

アプリケーションや登録した連絡先、ウェブサイト内の情報を検索できます。

準備
- ウェブサイト内を検索する場合は、インターネット接続されたルーターに無線 LAN 接続しておく（P94）
- ホーム画面を表示しておく（P23）

1 本機の [⋮☰] を押して「検索」を選ぶ

文字入力画面が表示されます。

2 検索したい文字を入力する

- 検索した文字は検索ボックスの下に、検索履歴として表示されます。検索履歴をタップして検索することもできます。

文字入力について P27

■検索の設定をする

1 本機の［⌂］を押して次の順で選ぶ

（設定）→ 取扱説明書のコピーとその他の設定 → 検索設定

2 設定したい項目をタップする

設定項目	設定内容　　　（※：お買い上げ時の設定）
検索対象	検索対象とする範囲を選んでください。 ※☑：検索対象とします　☐：検索対象としません
検索ショートカットをクリアする	検索履歴を消去します。「OK」をタップしてください。
Google 検索の設定	検索文字の入力時に Google の入力候補を表示するかを設定します。 ※☑：表示します　☐：表示しません

◇ 元の画面に戻るには

戻りたい画面になるまで、本機の [⮌] を押してください。

ロック設定をする

ロック設定をすると、スタンバイ状態から復帰したときにロック画面を表示して、解除しないとタッチパネル操作ができないようにします。再生が中断するなどの誤操作防止になり、また、本機をかばんなどに入れて持ち歩くときにタッチパネルに触れて本機が動作するのを防ぎます。
お買い上げ時は「☑」（設定しない）に設定されています。

1 本機の [⌂] を押して次の順で選ぶ

（設定）→ 画面設定

2 「ロック設定」を選び、チェックボックスにチェックを入れる

☑：ロック設定をする　☑：しない

◇ 元の画面に戻るには

戻りたい画面になるまで、本機の [⮌] を押してください。

お知らせ

● ロック設定をしていても、音楽や radiko.jp を聴いているときは音量調節することができます。

■ロック設定を解除する

電源を入れたときやスタンバイ状態から復帰したときなど、画面を点灯させたときにロック画面が表示されます。下記の操作で設定を解除してください。

「解除されました」が表示されるまで [🔓] を押したままにする

ロック画面

充電の設定をする（エコ充電）

通常充電にするか、エコ充電にするかを設定します。
お買い上げ時は「通常充電」に設定されています。

通常充電： 100％の充電になり、1 回の充電で長時間使用したい場合に向いています。
エコ充電： 90％の充電で充電完了になり、電池寿命（充電回数）を長持ちさせたい場合に向いています。（電池持続時間は通常充電の 90％になります（P199））

1 本機の [ ] を押して次の順で選ぶ

（設定）→
取扱説明書のコピーとその他の設定 →
エコ充電設定

2 「通常充電」または「エコ充電」を選ぶ

◇ 元の画面に戻るには

戻りたい画面になるまで、本機の [ ] を押してください。

■充電時間と充電回数

	通常充電	エコ充電
充電時間※	約 7 時間	約 8 時間
充電回数	約 500 回	通常充電時の約 2 倍

※ 周囲温度 25 ℃で充電時
電池を使い切った状態で、電源「切」もしくはスタンバイ状態で充電時

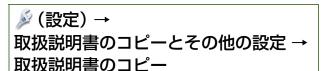
電池持続時間については P199

詳細操作ガイドを SD カードへコピーする

詳細操作ガイド（PDF ファイル）を SD カードへコピーします。

準備　●本機に SD カードを入れておく（P15）

1 本機の [⌂] を押して次の順で選ぶ

（設定）→
取扱説明書のコピーとその他の設定 →
取扱説明書のコピー

2 確認画面で「OK」を選ぶ

●完了画面が表示されたら「OK」をタップしてください。

◇ 元の画面に戻るには

戻りたい画面になるまで、本機の [⮌] を押してください。

日時設定を変更する

日付と時刻を正しく設定してください。正しく設定されていないと、ワンセグテレビ放送の予約録画が正しく行われなかったり、radiko.jp を起動できない場合があります。また、YouTube やウェブ画面が正しく表示されない場合もあります。

1 本機の [ ] を押して次の順で選ぶ

（設定）→
取扱説明書のコピーとその他の設定 →
日付と時刻の設定

2 設定したい項目を選ぶ

設定項目	設定内容
日付設定	＋、－をタップして年、月、日を入力し、「設定」を選んでください。
時刻設定	＋、－をタップして時、分を入力し、「設定」を選んでください。

◇ 元の画面に戻るには

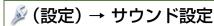
戻りたい画面になるまで、本機の [ ] を押してください。

お知らせ

- 日時設定できる範囲は 2000 年 1 月 1 日から 2037 年 12 月 31 日までです。
- 本機はワンセグテレビ放送を受信すると、自動的に時計が設定されます。ワンセグテレビ放送の時刻は標準時刻とは若干ずれますが、予約録画内容に影響はありません。
- 手動で時計設定をした場合でも、ワンセグテレビ放送を受信すると、ワンセグテレビ放送の時刻に合わせて時刻設定が変更されます。

音の設定をする

操作音や音質などを設定します。

1 本機の [ ] を押して次の順で選ぶ

（設定）→ サウンド設定

2 設定したい項目を選ぶ

設定項目	設定内容　（※：お買い上げ時の設定）
音質設定	**サウンド設定**
	聴く音楽や状況に合わせて設定できます。サウンドを選び、「OK」を選んでください。 **※フラット　ヘビー　クリア　ニュース　シネマ　スポーツ**
	反響音を抑える
	スピーカーで再生するときに、反響音を感じやすい帯域を抑えることによって、室内の壁面などから跳ね返ってくる反響音の影響を低減します。 ✓：低減する　※☐：しない
	小声を大きくする
	小さな声を聴き取りやすくします。効果を選び、「OK」を選んでください。 **オフ**　効果をオフします。 **レベル 1**　小さな声を聴き取りやすくします。 ※ **レベル 2**　レベル 1 よりさらに小さな声を聴き取りやすくします。 ●「（音楽）」を起動しているときは「小声を大きくする」の設定は反映されません。
メディア再生音量	音量を調整します。音量バーをドラッグして音量を調整し、「OK」を選んでください。 ● 本機の [＋][−] を押して調整することもできます。
通知音	新着情報を受信したときの通知音を設定します。通知音を選び、「OK」を選んでください。 ● 通知音の音量だけを変更することはできません。通知音の音量は本機の [＋][−] と連動しています。 ● Podcast/RSS の新着情報やメール受信の通知音をそれぞれ個別に設定した場合は（P145、152）、個別の通知音でお知らせします。
選択時の操作音	本機を操作したときに操作音を出すか出さないかを設定します。 ✓：操作音を出す　※☐：出さない

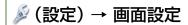
◇ 元の画面に戻るには

戻りたい画面になるまで、本機の [ ] を押してください。

画面の設定をする

画面の明るさや画質、タッチパネルの調整などを設定します。

1 本機の [⌂] を押して次の順で選ぶ

（設定）→ 画面設定

2 設定したい項目を選ぶ

設定項目	設定内容　（※：お買い上げ時の設定）
画質モード	スタンダード　標準の画質モード ※ダイナミック　明暗がはっきりしたメリハリのある画質モード ソフト　目にやさしい画質モード
コントラスト自動調整	視聴している画像の明暗に応じて液晶モニターの明るさを自動で調整します。 ※ ☑：自動調整する　☐：しない ● 設定は「（ワンセグ）」を起動しているときのみ効果があります。 ● 本機を縦置きにしているときは自動調整されません。
画面の向き	本機を横置きにするか縦置きにするかによって画面の向きを切り換えるかを設定します。 ※自動　横固定　縦固定 ● 設定にかかわらず、「（YouTube）」、「（radiko.jp）」を起動しているときは横向きのみの対応です。 ● 画面によっては、設定どおり回転しない場合があります。
画面の明るさ	調整バーをドラッグして明るさを調整し、「OK」を選んでください。

次のページに続く

戻る

設定項目	設定内容　（※：お買い上げ時の設定）
バックライト消灯	音楽や radiko.jp を聴いているときに、画面照明の点灯時間を設定します。設定した時間、本機を操作しないでいると画面を消灯します。 画面照明が消灯するまでの時間を選んでください。 **30 秒　1 分　3 分　5 分　※ 10 分　常時点灯**
ロック設定	167 ページをお読みください。
タッチパネル調整	タップしたものと違うものが選択されたり、反応しなかった場合などに、タッチパネルの調整をします。 画面に表示される「+」マークの中心を順番にタップしてください。（5 か所） ● 調整するときは先が細く丸いもの（SD カードの角やボールペンのキャップなど）を使ってタップしてください。 ● 先の鋭いもので押したり、必要以上に強く押したりしないでください。タッチパネルの表面を傷つけるおそれがあります。 ●「+」マーク以外の場所をタップしないでください。タッチパネルが正常に動作しなくなる可能性があります。 ● 調整中は本機を縦向きに構えても画面は回転しません。
タッチパネル調整初期化	タッチパネル調整をお買い上げ時の設定に戻します。 確認画面が表示されるので「OK」を選んでください。

◇ 元の画面に戻るには

戻りたい画面になるまで、本機の [↩] を押してください。

セキュリティロックなどを設定する

セキュリティロックの設定をする

電源を入れたときやスタンバイ状態から復帰したとき、または内蔵メモリー/SD カードのフォーマットやデータの初期化を行うときに、設定したパターンを入力しないと本機の操作ができないようにすることができるので、他人の使用を制限することができます。

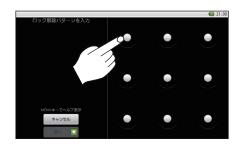
1 本機の [ ] を押して次の順で選ぶ

（設定）→ セキュリティとプライバシー → ロック解除パターン設定

初めてセキュリティロックを設定する場合は

機能説明画面が表示されます。内容を確認して「次へ」を選び、パターン例画面で「次へ」を選んでください。

2 ドラッグしてパターンを設定し、「次へ」を選ぶ

- 本機の［ ］を押すとパターン作成例が表示されます。パターン設定画面に戻るには「OK」をタップしてください。
- パターンは、4 点以上をつなぐようにドラッグしてください。

3 もう一度、手順 2 で入力したパターンをドラッグし、「確認」を選ぶ

◇ **元の画面に戻るには**

戻りたい画面になるまで、本機の [ ] を押してください。

次のページに続く

■セキュリティロックを解除する

1 本機の [⌂] を押して次の順で選ぶ

（設定）→ セキュリティとプライバシー → パターン入力が必要

2 現在設定中のロック解除パターンを入力する

- ロック解除パターンの入力を5回間違えるたびに30秒間入力できなくなります。合計20回間違えると本機の初期化の画面になり、お買い上げ時の設定に戻ります。（この場合、録画予約や当社製レコーダーのファイルを自動的に本機に転送されるように「かんたん転送」を設定している場合は、これらの予約や設定も初期化されます）

◇ 元の画面に戻るには

戻りたい画面になるまで、本機の [↩] を押してください。

■設定したロック解除パターンを変更する

1 本機の [⌂] を押して次の順で選ぶ

（設定）→ セキュリティとプライバシー → パターンの変更

2 現在設定中のロック解除パターンをドラッグする

- ロック解除パターンの入力を 5 回間違えるたびに 30 秒間入力できなくなります。

3 変更するパターンをドラッグして「次へ」を選ぶ

4 もう一度、手順 3 で入力したパターンをドラッグし、「確認」を選ぶ

◇ 元の画面に戻るには

戻りたい画面になるまで、本機の [↩] を押してください。

お知らせ

- ロック解除パターンを設定した場合、パターン入力時に軌跡を線で表示しないように設定することができます。本機の [⌂] を押して、「（設定）」→「セキュリティとプライバシー」→「指の軌跡を線で表示」を選んで、チェックを外してください。

次のページに続く

パスワード入力画面の設定をする

パスワード入力時に入力したパスワードを表示するかを設定します。
（お買い上げ時は、「☑」（表示する）に設定されています）

1 本機の [⌂] を押して次の順で選ぶ

（設定）→ セキュリティとプライバシー

2 「パスワードを表示」をタップしてチェックを入れる

☑：表示する　　☐：表示しない

◇ 元の画面に戻るには

戻りたい画面になるまで、本機の [↩] を押してください。

本機の設定をお買い上げ時の設定に戻す

本機の設定や、ワンセグテレビのチャンネル設定などをお買い上げ時の状態に戻します。

- お買い上げ時の状態に戻すと以下のデータが消去されます。
  - メール
  - 連絡先
  - Podcast
  - RSS リーダー
- 録画予約や当社製レコーダーのファイルを自動的に本機に転送されるように「かんたん転送」を設定している場合は、これらの予約や設定も取り消されます。
- お買い上げ時の設定に戻すには、本機の内蔵メモリー（ユーザー領域）に 40 MB 以上の空き容量が必要です。

空き容量を確認する P179

準備 ● AC アダプターと接続しておく（P17）

1 本機の [⌂] を押して次の順で選ぶ

2 「データの初期化を実行」をタップする

3 「はい」をタップする

画面が消灯し、本機が再起動します。

4 初期化完了のメッセージが表示されたら、[•DISP/–POWER] ボタンを押して電源を切る

お知らせ

- i 文庫で設定した内容については、i 文庫を起動して i 文庫の詳細設定で初期化をしてください。（P135）

内蔵メモリーやSDカードをフォーマットする

内蔵メモリー（SD カード）をフォーマットすると、内蔵メモリー（SD カード）内のデータが消去されます。

1 本機の [⌂] を押して次の順で選ぶ

（設定）→ SD カードと端末容量 →
内蔵メモリーをフォーマット　または　SD カードをフォーマット

- SD カードをフォーマットする場合は、「SD カードのマウント解除」を選んでから「SD カードをフォーマット」を選んでください。

2 確認画面が表示されるので、「内蔵メモリーをフォーマット」または「SD カードをフォーマット」を選ぶ

本機を廃棄や譲渡する前に内蔵メモリーをフォーマットする場合

「完全消去」にチェックを入れてから「内蔵メモリーをフォーマット」を選んでください。（この場合、フォーマット完了までに数十分かかります）

- 完全消去する場合は AC アダプターに接続しておいてください。（P17）
- メールや連絡先のデータ、Podcast、RSS リーダーの登録は「完全消去」では消去されません。「データの初期化」を行ってください。（P177）

3 確認画面が表示されるので、「すべて消去」を選ぶ

4 完了画面で「OK」を選ぶ

◇ 元の画面に戻るには

戻りたい画面になるまで、本機の [⮌] を押してください。

■SD カードのマウント（読み書き可能状態）を解除する

SD カードをフォーマットする場合や取り外す場合にマウント解除します。
次の順で選んでマウント解除してください。

（設定）→ SD カードと端末容量 → SD カードのマウント解除

お知らせ

- 電池残量表示が「▭」になっているときは、フォーマットできません。
- 内蔵メモリーをフォーマットすると、Podcast の音声 / 動画ファイルや RSS リーダーの記事情報（画像ファイル、モバイル Web 形式、フルブラウザ形式）が消去されます。記事情報は再取得できない場合がありますのでお気をつけください。

本機の情報を見る

メモリーの容量を確認する

メモリーの容量（SD カード、内蔵メモリー、システム領域※）を確認できます。
※システム領域には受信や送信などのメールトレイ、Podcast や RSS の記事を保存します。

本機の [ホーム] を押して次の順で選ぶ

（設定）→ SD カードと端末容量

- **SD カード**　：合計容量、空き容量
- **内蔵メモリー（ユーザー領域）**　：合計容量、空き容量
- **内蔵メモリー（システム領域）**　：空き容量

◇ 元の画面に戻るには

戻りたい画面になるまで、本機の [戻る] を押してください。

本機の情報を確認する

本機の情報を確認できます。

本機の [ホーム] を押して次の順で選ぶ

（設定）→ 端末情報（ファームウェア更新）→ 希望の確認項目

確認項目

- モデル番号
- ファームウェアバージョン
- Wi-Fi MAC アドレス
- OS バージョン
- 法的情報
- 技術適合認証番号

◇ 元の画面に戻るには

戻りたい画面になるまで、本機の [戻る] を押してください。

本機をアップデートする

本機を最新のファームウェアに更新することができます。
無線 LAN 接続している場合は、アップデートファイルが公開されると本機にお知らせ画面が表示されます。画面の指示に従って更新してください。

最新のファームウェアは以下の 2 とおりの方法で取得できます。

- 無線 LAN 接続してネットワークからアップデートファイルをダウンロード
- パソコンを使ってサポートサイトからアップデートファイルをダウンロード

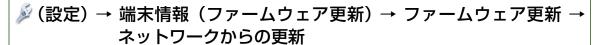
- アップデートには、本機の内蔵メモリー（ユーザー領域）に約 150 MB の空き容量が必要です。（アップデートファイルの容量により、必要な空き容量が増減する場合があります）

空き容量を確認する P179

■無線 LAN 接続してネットワークからダウンロード

準備
- インターネット接続されたルーターに無線 LAN 接続しておく（P94）
- AC アダプターと接続しておく（P17）

1 本機の [⌂] を押して次の順で選ぶ

（設定）→ 端末情報（ファームウェア更新）→ ファームウェア更新 → ネットワークからの更新

アップデートファイルがあるかを確認します。

2 確認画面で「はい」を選ぶ

アップデートファイルのダウンロードを開始します

3 完了画面で「OK」を選ぶ

画面が消灯し、本機が再起動します。

4 アップデート完了画面が表示されたあと、[•DISP/–POWER] ボタンを押す

お知らせ

- アップデートの内容についてはサポートサイト（http://panasonic.jp/support/）をご覧ください。

次のページに続く

■パソコンを使ってサポートサイトからダウンロード

サポートサイトからパソコンにダウンロードしたアップデートファイルを SD カード※に転送してアップデートします。

※アップデートには、SDカードまたはSDHCカードを使用してください。（SDXCカードには対応していません）

アップデート方法については下記サポートサイトをご覧ください。

http://panasonic.jp/support/

こんな表示が出たら

下表は主な確認 / エラーメッセージの例です。

表示	原因・対策
最新ファームウェアに更新できます。 更新を実行しますか？ ※外部電源を接続して実行してください。 外部電源を接続できない場合は [あとで更新] を選択してください。	● 無線 LAN 接続している場合は、アップデートファイルが公開されると本機にお知らせ画面が表示されます。 すぐに更新する場合は、AC アダプターを接続してから（P17）「今すぐ更新」を選んで画面の指示に従って操作してください。 あとから更新する場合は、「あとで更新」を選んでください。 更新するときは、180 ページをお読みください。
最新ファームウェアをダウンロードできませんでした。 以下の内容を確認して再度実行してください。 - ネットワーク接続を確認してください。 - 内蔵メモリーの空き容量を確認してください。 約 150 MB の空き容量が必要です。	● 本機がネットワーク接続できていない可能性があります。ご使用の無線 LAN 環境をご確認ください。 パソコンを利用して、サポートサイト (http://panasonic.jp/support/) から最新のファームウェアを SD カードにダウンロードし、本機をアップデートすることもできます。 ● 内蔵メモリーの空き容量を確認するには 179 ページをお読みください。内蔵メモリーの空き容量が不足している場合は、不要なデータを消去するなどして、空き容量を増やしてから、再度ファームウェアのダウンロードを実行してください。
ワンセグ動作が開始されたので、Wi-Fi をオフにしました。	● ワンセグテレビを視聴中や録画中は、Wi-Fiオフになり無線LANの利用はできません。（テレビ視聴をやめてホーム画面に戻ると自動的に Wi-Fi オンになりますが、切り換わるのに数秒かかる場合があります）
現在、受信できません。 窓際など受信状態のよい場所で 受信可能か、ご確認ください。 (E202)	● 電波状況が悪いため、映像を表示することができません。受信できる状態になると、自動的に映像を表示します。
電池残量が残りわずかになったので、 Wi-Fi をオフにしました。	● 電池残量が少なくなると自動的にWi-Fiオフになります。電池残量表示が「」以上の状態にしておくか、AC アダプターと接続してから（P17）、再度 Wi-Fi オンに設定してください。（P94）
電池残量不足のため 実行できません。 外部電源をご使用ください。	● 電池残量表示が少ない場合は実行できない操作です。電池を十分に充電するか（P18）、ACアダプターを接続してから（P17）操作してください。
i 文庫（i 文庫）は応答していません。	●「強制終了」を選んで i 文庫を一度終了させてください。
i文庫（com.access_company.android.ibunko）が予期せず停止しました。やり直してください。	
エラー 本棚に登録できる本の数は 100冊までです。	● 1 つの本棚に登録できる書籍の数は 100 冊までです。100 冊を超えて登録したい場合は、登録する本棚を変更してください。（P133）

次のページに続く

表示	原因・対策
メモリが不足しています。アプリケーションを終了してください。	● このメッセージが表示されても故障ではありません。動作を安定させるため、アプリケーションを終了させて一度電源を切り、再度電源を入れ直してください。（P19、20）
電池が故障している 可能性があります。 修理窓口にご相談ください。※	● 故障の可能性があります。お近くの「修理ご相談窓口」にお問い合わせください。
外部電源の電圧が異常です。 故障の可能性がありますので 修理窓口にご相談ください。※	● 故障の可能性があります。お近くの「修理ご相談窓口」にお問い合わせください。
本機の温度が高いため 動作を継続できません。 常温でご使用ください。※	● 周囲温度 0 ℃～ 40 ℃でご使用ください。

※動作表示ランプが約 0.5 秒間隔で点滅し、電池残量表示が「!」に変わります。

故障かな !?

まず、下表でご確認ください。直らない場合は、お近くの「修理ご相談窓口」またはお買い上げの販売店へお問い合わせください。

本機を持ち運びするときは、落としたり、ぶつけないようにお気をつけください。
故障や誤動作の原因になります。

■基本の操作

こんなときは	ここを確かめてください
電源が入らない **操作できない** **電源が切れない**	● 電池が消耗していませんか？（P26） → 電池を十分に充電するか（P18）、AC アダプターを接続して（P17）操作してください。 ● クリップのようなものを使って [RESET] ボタンを押してください。（本機に SD カードが入っている場合は、SD カードを抜いてから押してください） [RESET] ボタンを押しても症状が直らない場合は、お近くの「修理ご相談窓口」にお問い合わせください。 [RESET] ボタン
充電できない **充電しても電池持続時間が短い**	● 周囲の温度が極端に低いまたは高くありませんか？ → 電池の充電は周囲温度 5 ℃～ 35 ℃で行ってください。 ● スタンバイ状態で AC アダプターに接続した場合、動作表示ランプが点灯するまでに数十秒かかることがあります。１ 分以上経過しても点灯しない場合は [RESET] ボタンを押してください。 ● 電源を切った状態でパソコンと接続して充電する場合、接続しても本機の動作表示ランプが点灯しなかったり点滅して、充電できない場合があります。一度 USB 接続ケーブルを抜き差しするか、[RESET] ボタンを押してください。 ● はじめての充電や長時間未使用後の充電では電池持続時間が短いことがあります。何回か使用すると戻ります。 ● 充電しても電池持続時間が極端に短い場合は、電池の寿命です。電池の交換は、お近くの「修理ご相談窓口」にお問い合わせください。 ● SD カードによっては、電池持続時間が極端に短い場合があります。当社製 SD カードでお試しください。
本機がSDカードを認識しない **（SD カードのフォーマットがサポート外のときなど）**	● Windows 標準のフォーマット機能などで SD カードをフォーマットしませんでしたか？ → 本機でフォーマットしてください。（P178） ● 当社製 SD カードを本機に入れてお試しください。
本体が熱い	● 使用中や充電中は多少熱くなりますが異常ではありません。
タップしたものと違うものが選択される	● ご使用していくうちにタップした位置にずれが生じることがあります。タッチパネル調整を行ってください。（P173）

次のページに続く

戻る

こんなときは	ここを確かめてください
アプリケーションが起動できなかったり、動作が不安定になる	● 一度電源を切り、再度電源を入れ直してください。（P19、20） ● 内蔵メモリー（システム領域）の空き容量が少なくなっていませんか？（P179） → 不要なデータ（Podcast ※、RSS リーダー、メール）やアプリケーションを消去してください。（P143、148、191） ※ Podcast の音楽やビデオファイルは内蔵メモリー（ユーザー領域）に保存されるため、消去してもシステム領域の空き容量は増えません。
音が急に小さくなった	● 本機の底面に水滴がたまっていたり、じゅうたんなどの上に置いた場合、スピーカー（音孔）がふさがれて音が小さくなっている可能性があります。本機の置き場所を変えてご使用ください。
画面が消灯する	● 音楽や radiko.jp を聴いているときは、一定時間操作しないでいると「バックライト消灯」の設定に従って画面が消灯し、スタンバイ状態（P19）になります。一定時間の設定のしかたについては 173 ページをお読みください。

■テレビを見る・録る

こんなときは	ここを確かめてください
今まで見ていたチャンネルを受信できなくなった	● 放送局側で放送の送信周波数が変更される場合があり、変更されるとそのままのチャンネル設定では受信できなくなります。チャンネル設定し直してください。（P41）この場合地域や都道府県を選んだあと、「次へ」を選んでスキャンしてください。 録画予約をしていた場合は再度予約し直してください。
録画ができていない	● 以下の場合は録画ができない、もしくは正しく録画がされません。 - 電池残量表示が「 」になっているときや、電池残量がなくなった場合 - 内蔵メモリーの空き容量がない場合 - SD カードの空き容量が少ない場合 - 電波状況が悪い場合 - 番組の開始時刻が変更された場合 - 時計が正しく設定されていない場合 - 予約録画の時間が重なっている場合
予約録画した番組の最後の部分が録画されていない	● 前の予約番組の終了時刻と次の予約番組の開始時刻が同じときは、前の予約番組の終わり約 30 秒間が録画されません。
SD カードにビデオファイルを 99 番組まで録画することができない	● 他機器やパソコンでビデオファイルの消去や SD カードのフォーマットをしていませんか？ → 本機でフォーマットしてください。（P178）
録画した番組が正常に再生されない	● 本機で再生できるビデオファイルですか？（P58） ● 本機での再生に対応した機器を使って録画してください。（P57） ● 録画中に電波状況が悪くなると、画面が乱れた状態で録画されます。また、電波状況が悪くて受信できない区間があった場合、この区間は録画されないので、再生するとこの区間をとび越して再生されます。

次のページに続く

戻る

パソコンと接続する

こんなときは	ここを確かめてください
パソコンが本機を認識しない ファイルを本機に正常に転送できない。	● パソコンの電源は入っていますか？ ● 本機の電源は入っていますか？（P19） ● Windows Media Player のバージョンが 10 以下ではありませんか？ → パソコンと接続して本機を使用するには、Windows Media Player のバージョンを 11 以降にアップデートしてください。 ● 一度、USB 接続ケーブルを抜き差しして、接続先選択画面で動作を選び直してください。（P60） ● 本機と接続するパソコンの USB 端子を変更してください。 ● スタンバイ状態から復帰していますか？（P19） **ファイルを転送する場合** ● 本機の内蔵メモリーや SD カードの容量が不足していませんか？（P179） ● 著作権保護された再生制限（期間や回数など）のあるファイルは本機に転送できない場合があります。制限については配信元にご確認ください。
パソコンから内蔵メモリーに転送するのに時間がかかる	● フォルダー内に多くのファイルが入っている場合、転送速度が低下することがあります。

ビデオを見る / 音楽を聴く

こんなときは	ここを確かめてください
ビデオや音楽の再生がとぎれる	● 本機で再生できるファイルですか？（P58） ● 録画中やダウンロード中など他の処理が実行されているときは、再生がとぎれたり正常に再生できない場合があります。録画やダウンロードが終了してから再生してください。（録画中やダウンロード中は動作表示ランプが約 1 秒間隔で点滅します） ● Wi-Fi やネットワークの通信速度が低下すると、「(YouTube)」「(DIGA)」「(ネットワークメディアプレーヤー)」での動画再生がとぎれることがあります。
ビデオ、音楽（「SD-Audio」が表示される音楽）が停止する	● 予約録画が実行されていたり、DLNA 対応機器からのファイル転送が実行されていませんか？ → 録画先（転送先）と同じメモリー内のファイルは、再生や編集できない場合があります。
パソコンから転送したファイルの再生ができない	● 著作権保護されたファイルの場合、ドラッグ & ドロップで転送したファイルは再生できません。Windows Media Player を使って転送してください。
1 曲目から順番に再生しない	●「ランダム」が設定されていませんか？（P78） ● レジューム機能が働いていませんか？（P79）
アルバム名や曲名など、音楽の情報が更新されない	● 音楽ファイルのアーティスト名、アルバム名、曲名などの情報をパソコンで編集しても本機で更新されない場合があります。この場合、変更したファイルが含まれるフォルダーの名前を変更してみてください。変更したフォルダー以下のすべてのファイルの情報が更新されます。 （「DCIM」「SD_VIDEO」「SD_AUDIO」のフォルダー名は変更しないでください。本機や他の機器で正しく認識できなくなります。）

次のページに続く

写真を見る

こんなときは	ここを確かめてください
写真をシングル表示したときに画像が粗い	● シングル表示画面はサムネイルの拡大画像を一時的に表示後、主画像の写真を表示します。このため、一覧画面から写真を選んでシングル表示したときやシングル表示で画像を切り換えたときは、画像の粗い写真が表示される場合があります。
パソコンから転送した写真の日付が変更されている	● Exif に対応していない写真の場合は更新日（写真を本機の内蔵メモリーに転送した日やパソコンなどで編集した日）が表示されます。 Exif：一般社団法人 電子情報技術産業協会（JEITA）にて制定された、撮影情報などの付帯情報を追加することができる写真用のファイルフォーマット

無線 LAN 接続

こんなときは	ここを確かめてください
無線 LAN に接続できない **電波がとぎれる**	● Wi-Fi 設定がオフになっていませんか？ → 設定をオンにしてください。（P94） ● 電池が消耗していませんか？電池残量が少なくなると自動的に Wi-Fi オフになります。 → 電池残量表示が「 」以上の状態にしておくか、AC アダプターと接続してから（P17）操作してください。 ● 無線 LAN ネットワークの通信圏外ではありませんか？ → 電波強度を確認し（P26）、通信圏内でご使用ください。 ● ワンセグテレビが起動していませんか？ → ワンセグテレビを視聴中や録画中は無線 LAN に接続できません。 ● テレビ視聴をやめてホーム画面に戻った直後や電源を入れたりスタンバイ状態から復帰した直後ではありませんか？ → Wi-Fi 設定がオンに切り換わるのに数秒かかる場合があります。 ● 無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）により接続方式やセキュリティの設定方法が異なります。 → 無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）の取扱説明書または設定した管理者にご確認ください。 ● 当社製お部屋ジャンプリンク（DLNA）対応レコーダーとテレビなど DLNA 対応機器どうしを無線 LAN 5 GHz 帯で接続中ではありませんか？ → 5 GHz/2.4 GHz 同時使用できる無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）を使用しているかご確認ください。対応していない場合は本機と同時使用できません。 ● 2.4 GHz 帯の周波数を使用する電子レンジやコードレス電話機などの機器を近くで使用中ではありませんか？ → 同時に使用された場合、電波がとぎれることがあります。機器から離してご使用ください。 ● 電波がとぎれる場合は、無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）の置き場所や角度を変えると電波状態が良くなる場合があります。 ● 無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）のネットワーク SSID が非通知設定の場合、自動接続できない場合があります。下記をお試しください。 → 一度 Wi-Fi オフにしてから、再度 Wi-Fi オンにしてください。（P94）または無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）のネットワーク SSID の非通知設定を解除してお使いください。

次のページに続く

戻る

こんなときは	ここを確かめてください
接続したい無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）が検出されない	● 電波状況により無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）が見つからない場合があります。 →「スキャン」を行ってください。（P96） ● 無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）のネットワーク SSID が非通知に設定されていませんか？ → 非通知に設定されている場合、検出されない場合があります。ネットワーク SSID を入力して設定してください。（P96）
本機の画面に無線 LAN 接続中の電波状態（「」）が表示されているが、インターネットに接続できない	● ワイヤレスネットワーク構成機器（アクセスポイント、ルーター、ハブなど）との接続や設定は正しくされていますか？ → ネットワーク管理者に確認してください。 ● 接続先サーバーの状況などにより接続できないことがあります。 → しばらくしてから接続し直してください。

お部屋ジャンプリンク（DLNA）で映像を見る

こんなときは	ここを確かめてください
当社製レコーダーと無線 LAN 接続してテレビやビデオファイルが見られない、転送できない	● レコーダーは本機能に対応していますか？（P98） ● 本機およびレコーダーは同一のルーターに接続されていますか？（P94） → レコーダーのお部屋ジャンプリンク（DLNA）の設定についてはレコーダーの取扱説明書をお読みください。 ● レコーダーが再生中や録画中などの場合は、本機でテレビやビデオファイルが見られなかったり、ファイルの転送ができない場合があります。（P99）
無線 LAN 接続して見ているテレビやビデオの再生がとぎれる	● 他のDLNA対応機器から無線LAN接続で本機にファイルを転送中ではありませんか？ → 複数の DLNA 対応機器と無線 LAN 接続して同時に使用すると、映像や音声がとぎれることがあります。本機は、1 台の DLNA 対応機器と接続してご使用ください。

インターネットを楽しむ

こんなときは	ここを確かめてください
radiko.jpを聴いていないのに、ステータスバーに「 」が表示されたままになっている	● radiko.jp を終了するときは本機の [ ] を押して「終了」を選んでください。(P119) radiko.jp の画面からホーム画面に戻ったり他のアプリケーションを起動しても radiko.jp は終了していないため、ステータスバーにアイコンが残ります。
radiko.jp を起動しても再生されない	● 日付と時刻は正しく設定されていますか？（P170） → 日付と時刻が正しく設定されていないと起動しない場合があります。 ● radiko.jp が停止されていませんか？ → radiko.jp の画面上の再生ボタンを選んで再生してください。(P119)
i 文庫の書籍がダウンロードできない	● Wi-Fi 設定がオフになっていませんか？ → 設定をオンにしてください。(P94) ● Wi-Fi 設定がオンに設定されていてもダウンロードできない場合は、一度電源を切り、再度電源を入れ直してください。(P19、20)
i 文庫の背景や表紙の写真を選べない	● 背景などに写真を設定したい場合は、写真を転送した SD カードを本機に挿入してください。(内蔵メモリーの写真を設定することはできません)

その他

こんなときは	ここを確かめてください
文字入力できない画面なのにキーボードが表示される	● 本機の [ ] を長くタッチするとキーボードが表示されることがあります。異常ではありませんので本機の [ ] を押してキーボードを閉じてください。
DIGA リモコンの機器リストに操作したい当社製レコーダーが表示されない	● レコーダーは DIGA リモコンに対応していますか？ → DIGA リモコンに対応している機種は下記です。(2011 年 6 月現在) DMR-BZT900、DMR-BZT800、DMR-BZT700、DMR-BZT600、DMR-BRT300、DMR-BWT3100、DMR-BWT2100、DMR-BWT1100、DMR-BWT500、DMR-BW890、DMR-BW690、DMR-BF200、DMR-BWT3000、DMR-BWT2000、DMR-BWT1000、DMR-BW880、DMR-BW780、DMR-BW680、DMR-BW970 ※、DMR-BW870 ※、DMR-BW770 ※ ※ DIGA リモコンに対応するにはレコーダーのファームウェアの更新が必要な場合があります。 ● 本機およびレコーダーはネットワークに接続されていますか？（P94） → レコーダーの設定（ブロードバンドレシーバー設定と、お部屋ジャンプリンク（DLNA）設定またはホームサーバー機能設定）についてはレコーダーの取扱説明書をお読みください。 ●「 」をタップすると機器リストに表示される場合があります。

Q&A（よくあるご質問）

Q（質問）	A（回答）
地上デジタル放送（ワンセグ）を視聴するのに利用料金はかかるか？	本機での地上デジタル放送（ワンセグ）の視聴については、従来のアナログ放送と同様、NHK の受信料以外の利用料金はかかりません。（2011 年 6 月現在） 詳しくは下記ホームページをご覧ください。 社団法人 デジタル放送推進協会　http://www.dpa.or.jp
どの機器で録画した番組を再生できるか？ **レコーダーなどの他機で録画した番組を本機で再生できるか？**	当社製テレビやレコーダーで録画した録画番組を再生できますが、対応していないものもあります。対応機種については 57 ページをお読みください。 当社製お部屋ジャンプリンク（DLNA）対応レコーダーについては 98 ページをお読みください。
どんな SD カードが使えるか？	対応 SD カードについては 195 ページをお読みください。
どんなビデオファイル、音楽を再生できるか？	本機で再生できるファイル形式については58ページをお読みください。
ドラッグ & ドロップで転送できないファイルはどうしたらいいか？	本機の内蔵メモリーに直接ドラッグ & ドロップしても転送できない場合があります。 本機に対応しているファイル形式（P58）で転送できない場合は、Windows Media Player を使って転送してください。（P64）
使用できるWindows Media Playerのバージョンは？	Windows Media Playerでファイルの転送をするにはWindows Media Player のバージョン 11 以降が必要です。 Windows Media Player 10 以前のバージョンでは、正しく転送できない場合があるので、Windows Media Player をバージョン 11 以降にアップデートしてご使用ください。
音楽の消去はどうしたらよいか？	本機で音楽の消去はできません。パソコンなどで消去してください。 「SD-Audio」のある音楽については当社製ステレオシステムや当社製ソフトウェア（SD-Jukebox）などを使って消去してください。詳しくは、音楽を転送した商品の取扱説明書をお読みください。
製造番号はどこにあるか？	スタンドを開いたところにあります。（P12）
外出先でも無線 LAN が使えるか？	公衆無線LANサービスを利用してインターネットを利用することができます。ご利用の際に料金がかかる場合やログイン ID とパスワードの入力が必要な場合があります。
お部屋ジャンプリンク（DLNA）対応レコーダーと無線で接続して、SD カードに転送したファイルを他機で再生できるか？	本機以外の機器での再生には対応していません。 （ファイルが転送されたSDカードを転送元のレコーダーに挿入した場合も再生できません） （2011 年 6 月現在）

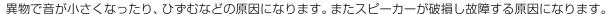
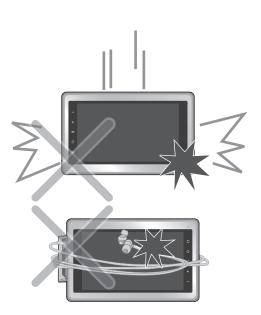
次のページに続く

Q（質問）	A（回答）
アプリケーションを追加できるか？	ホーム画面から、「（設定）」→「取扱説明書のコピーとその他の設定」→「アプリケーション設定」→「提供元不明のアプリ」にチェックを入れる（「✓」）とアプリケーションをインストールできます。 インストール用のファイルは、一度 SD カードに保存されたあとインストールされます。SD カードを入れてから実行してください。 ● お客様がインストールされるアプリケーションなどによっては、インストールができなかったり、本機が正常に動作しない場合があります。また、お客様の位置情報や本機に登録された個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され不正に利用される可能性があります。このため、ご利用されるアプリケーションなどの提供元および動作状況について十分にご確認のうえご利用ください。 ● 追加したアプリケーションを消去する場合は、「（設定）」→「取扱説明書のコピーとその他の設定」→「アプリケーション設定」→「アプリケーションの管理」を選んでください。
Adobe Flash コンテンツ（Flash サイト）は表示できるか？	本機では表示できません。
ウェブブラウザ内の動画（mp4 など）は視聴できるか？	本機では視聴できません。
DIGA（当社製レコーダー）を持っているが、お部屋ジャンプリンクは使用できるか？	本機でお部屋ジャンプリンクを使用できるのは、2011 年 2 月発売以降の当社製レコーダーのみ（P98）となります。 上記以外のレコーダーとは、お部屋ジャンプリンクはご使用できませんが、持ち出し番組作成機能搭載の当社製レコーダー（P57）をお持ちの場合は、SD カードを利用してレコーダーで録画した番組を本機で再生することができます。
ショッピングサイトなどの SSL（Secure Socket Layer）の通信は利用できるか？	本機は SSL 通信可能です。 ショッピングサイトのご利用方法については、各ショッピングサイトのご案内をご確認ください。
パナソニック製ビデオカメラやデジタルカメラで撮影した動画を転送して再生できるか？	カメラから直接、転送 / 再生することはできません。 本機に転送したり本機で再生したい場合は、当社製レコーダーを使って転送 / 再生することができます。 ❶ AVCHD、AVCHD Lite または 1080/60p の記録形式で撮影した動画を当社製レコーダーの HDD にダビングする ❷ ダビングした動画をレコーダーから SD カードへ持ち出す ● ご使用の当社製レコーダーがお部屋ジャンプリンク対応レコーダー（P98）の場合は、Wi-Fi 経由での転送や再生が可能です。（ただし、1080/60p の記録形式で撮影された動画の場合は、レコーダーにダビングした後に持ち出し番組作成が必要です） ● ダビングや持ち出しについてはレコーダーの取扱説明書をお読みください。
画面に「セーフモード」と表示されているが、どうしたらよいか？	通常のモードに戻るには、一度電源を切り、再度電源を入れ直してください。（P19、20）電源を入れるときに本機の [☰] を押したままにしていると「セーフモード」と表示される場合があります。 ※「セーフモード」とは、ご購入後に追加されたアプリケーションを起動しない状態で本機を起動するモードのことです。

戻る

使用上のお願い

本機について

- **本機を落としたり、ぶつけたりしないでください。
また、本機に強い圧力をかけないでください。**
  - 強い衝撃が加わると、液晶モニターや外装ケースが壊れ、故障や誤動作の原因になります。
  - 本機を入れたかばんを落としたり、ぶつけたりすると、本機に衝撃が加わりますのでお気をつけください。
  - ヘッドホンを本機に巻き付けたまま、かばんの中に入れ、外から大きな力を加えないでください。液晶モニターの破損につながります。
- **浴室など湿気の多い場所に放置しないでください。**
- **IH クッキングヒーターの上に置かないでください。**
本機や IH クッキングヒーターが故障する原因になります。
- **スピーカーの底面や側面の穴（音孔）に異物を入れないでください。**
異物で音が小さくなったり、ひずむなどの原因になります。またスピーカーが破損し故障する原因になります。

お手入れ

本機の電源を切ってから（P20）乾いた柔らかい布のようなものでふいてください。AC アダプターをご使用の場合は AC アダプターを抜いてください。

- 汚れがひどいときは、水にひたした布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた柔らかい布のようなものでふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤、浴室 / 浴槽洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので使用しないでください。

次のページに続く

液晶モニターについて

- 液晶モニターを強く押さえないでください。画面にムラが出たり、故障の原因になります。
- 寒冷地などで本機が冷えきっている場合、電源を入れた直後は液晶モニターが通常より少し暗くなります。内部の温度が上がると通常の明るさに戻ります。

液晶モニターは、精密度の高い技術で作られていますが、液晶モニターの画面上に黒い点が現れたり、常時点灯（赤や青、緑の点）することがあります。これは故障ではありません。液晶モニターの画素については99.99%以上の高精度管理をしておりますが、0.01%以下で画素欠けするものがあります。
これらの点は、内蔵メモリーや SD カードの映像には記録されませんのでご安心ください。

- 液晶モニターのお手入れは、乾いた柔らかい布のようなもの（眼鏡ふきなど）でふいてください。乾いた布で強くこすると液晶モニターに傷が付くことがありますのでお気をつけください。

内蔵電池について

充電環境
充電は周囲温度 5 ℃～ 35 ℃で行ってください。温度が低いまたは高いときは、充電にかかる時間が長くなったり、充電できない場合があります。この場合、動作表示ランプが約 0.5 秒間隔で点滅します。

■上手にお使いになるには

以下の使いかたをすることにより、電池寿命（充電回数）が長持ちします。
- エコ充電設定を「エコ充電」にして充電してください。（P168）
- 長期間使用しない場合は、定期的に（約 1 か月に一度）充電してください。

個人情報について

メールなどを使用したり、連絡先を登録すると本機内に個人情報が記録されます。
本機を修理依頼または譲渡 / 廃棄されるときは、個人情報保護のため内蔵メモリーをフォーマットし（P178）、データの初期化を行ってください。（P177）

免責事項
個人情報を含む情報は、誤操作、静電気の影響、事故、故障、修理、その他の取り扱いによって変化、消失することがあります。
個人情報を含む情報の変化、消失が生じても、それらに起因する直接または間接の損害については、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

次のページに続く

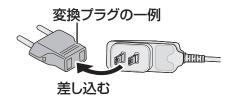
AC アダプターについて

機器を電源コンセントの近くに設置し、遮断装置（電源プラグ）へ容易に手が届くようにしてください。

- 必ず、付属の AC アダプターをお使いください。
- 使用後は、必ず AC アダプターを電源コンセントから抜いてください。（接続したままにしていると、AC アダプター単体で約 0.05 W の電力を消費しています）
- AC アダプターの端子部を汚さないでください。

AC アダプターを海外で使用するには

AC アダプターは、電源電圧（100 V ～ 240 V）、電源周波数（50 Hz、60 Hz）でご使用いただけます。市販の変圧器などを使用すると、故障するおそれがあります。

国、地域、滞在先によって電源コンセントの形状は異なります。海外旅行をされる場合は、その国、地域、滞在先に合ったプラグを準備してください。変換プラグは、お買い上げの販売店にご相談のうえ、お求めください。

充電のしかたは、国内と同じです。AC アダプターは日本国内で使用することを前提として設計されておりますが、海外旅行等での一時的な使用は問題ありません。

- ご使用にならないときは変換プラグを AC コンセントから外してください。

次のページに続く

SD カードについて

SD カードを高温になるところや直射日光のあたるところ、電磁波や静電気の発生しやすいところに放置しない
また、折り曲げたり、落としたり、強い振動を与えない

- SD カードが破壊されるおそれがあります。また、SD カードの内容が破壊されたり、消失するおそれがあります。
- 使用後や保管、持ち運びするときはケースや収納袋に入れてください。
- カード裏の端子部にごみや水、異物などを付着させないでください。また手などで触れないでください。

メモリーカードを廃棄 / 譲渡するときのお願い
本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「消去」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、メモリーカード内のデータは完全には消去されません。
廃棄 / 譲渡の際は、メモリーカード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってメモリーカード内のデータを完全に消去することをおすすめします。メモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

■本機で使用できる SD カード（2011 年 6 月現在）

SD メモリーカード /miniSD カード※ / microSD カード※	SD 規格に準拠した FAT12、FAT16 形式でフォーマットされたもの
SDHC メモリーカード /microSDHC カード※	SD 規格に準拠した FAT32 形式でフォーマットされたもの
SDXC メモリーカード	SD 規格に準拠した exFAT 形式でフォーマットされたもの

※本機で使用する場合は、必ず専用のアダプターに装着してお使いください。

- 本機はSDXC対応機器（SDメモリーカード/SDHCメモリーカード/SDXCメモリーカードに対応した機器）です。SDHC メモリーカード /SDXC メモリーカードを他の機器で使う場合は、各メモリーカードに対応しているか確認してください。
- 使用可能領域は表示容量より少なくなります。
- 4 GB ～ 32 GB のカードは SDHC ロゴのある（SD 規格準拠）カードのみ使用できます。
- 48 GB、64 GB のカードは SDXC ロゴのある（SD 規格準拠）カードのみ使用できます。
- SD カードによっては、電池持続時間が極端に短くなる場合があります。当社製の SD カードをお使いになることをおすすめします。
- SD カードをご購入後はじめて使用される際は、本機で SD カードをフォーマット（P178）することをおすすめします。
- SD カードのスピードクラス（連続的な書き込みに関する速度規格）に関係なく、上記の SD カードを使用できます。
- マルチメディアカードは使用できません。
- 対応記録メディアの詳細は 197 ページをお読みください。

次のページに続く

本機廃棄時の電池の取り出しかた

ご使用済み製品の廃棄の際は、本機の内蔵メモリーのデータを「完全消去」でフォーマットし(P178)、「データの初期化」を行ってください。(P177) データを完全に消去したあと、本機に内蔵している電池を取り出して電池のリサイクルにご協力ください。

製品を廃棄するとき以外は絶対に分解しないでください。

- **この図は、本機を廃棄するための説明であり、修理用の説明ではありません。分解した場合、修復は不可能です。**

- 電池を使いきってから分解してください。
- ドライバーを使い、以下の手順で分解してください。(ドライバーは付属していません)
- 上手に取り出せない場合、「お客様ご相談センター」へお問い合わせください。

分解した部品は、乳幼児の手の届くところに置かないでください。

1 アンテナを立てる

2 本機裏面左上のねじを外す(2本)
- ねじを外すには、プラスドライバーをお使いください。

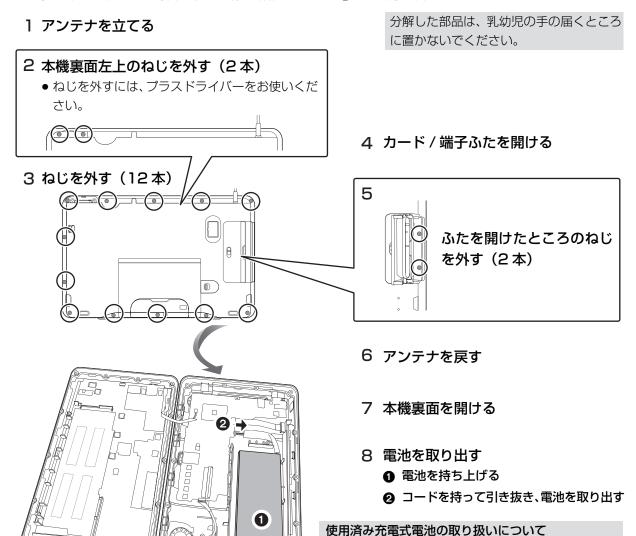
3 ねじを外す(12本)

4 カード / 端子ふたを開ける

5 ふたを開けたところのねじを外す(2本)

6 アンテナを戻す

7 本機裏面を開ける

8 電池を取り出す
- ❶ 電池を持ち上げる
- ❷ コードを持って引き抜き、電池を取り出す

使用済み充電式電池の取り扱いについて
- 端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。
- 分解しないでください。

仕様

電源	DC 3.7 V（内蔵電池使用時）/ DC 5 V、1 A（AC アダプター使用時）
消費電力	4.0 W

充電時間（周囲温度 25 ℃で充電時）		通常充電：約 7 時間 エコ充電：約 8 時間 ● 充電は周囲温度 5 ℃～ 35 ℃で行ってください。
推奨動作温度		0 ℃～ 40 ℃
液晶ディスプレイ（アスペクト比 16:9）		7V 型 （V 型は有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です） 画素数：横 800 ×縦 480
画面寸法		幅 15.36 cm、縦 8.66 cm、対角 17.64 cm
スピーカー		300 mW + 300 mW（8 Ω）
接続端子	**ヘッドホン端子**	3.0 mW+3.0 mW（16 Ω 時） ∅3.5 mm ステレオミニジャック
	USB 端子	USB 2.0（High Speed）
本体寸法		幅 201.5 mm ×高さ 125.7 mm ×奥行き 21.4 mm（突起部除く）
最大外形寸法		幅 201.5 mm ×高さ 126.7 mm ×奥行き 22.8 mm（JEITA） 幅 201.5 mm ×高さ 124.4 mm ×奥行き 53.9 mm（スタンド使用時）
質量		約 510 g
防水		保護等級：IPX6/IPX7 相当
内蔵メモリー		4 GB（うちユーザー使用可能領域：約 3.1 GB）
対応記録メディア		SD メモリーカード（8 MB ～ 2 GB） SDHC メモリーカード（4 GB ～ 32 GB） SDXC メモリーカード（48 GB、64 GB）

テレビ / 録画

ワンセグテレビ放送を視聴することができるのは、日本国内のみです。

受信チャンネル	地上デジタルテレビ放送 1 セグメント部分受信サービス（ワンセグ）： UHF13 ch ～ 62 ch（データ放送、緊急警報放送受信非対応）
最大連続録画時間	8 時間（AC アダプター使用時）
最大録画番組数	SD カード容量にかかわらず 1 枚あたり 99 番組 内蔵メモリー：4095 番組
予約録画番組数	最大 12 番組
録画ファイル形式 / 画質	SD VIDEO 規格（ISDB-T Mobile Video Profile）準拠 / 320 × 240 15 fps（412 kbps）

次のページに続く

ビデオ

下記を満たす場合でも、条件により正常に再生できないことがあります。

コーデック	H.264（Baseline）、MPEG-4（Simple）、WMV
画角	最大 720 × 480
ビットレート	最大 4 Mbps
SD Video	H.264/ISDB-T Mobile Video Profile（CPRM 対応）

音楽

下記を満たす場合でも、条件により正常に再生できないことがあります。

サンプリング周波数	32 kHz、44.1 kHz、48 kHz
再生の圧縮 / 伸張方式	AAC 方式、MP3 方式、WMA 方式
チャンネル数	2 ch、ステレオ

写真

下記を満たす場合でも、条件により正常に再生できないことがあります。

再生可能ファイル形式	JPEG ベースライン方式、DCF 準拠、Exif2.2 準拠

無線 LAN

規格	IEEE802.11g/IEEE802.11b 準拠
伝送方式	OFDM 方式、DSSS 方式
周波数範囲 / チャンネル（中心周波数）	2.412 GHz ～ 2.472 GHz/1 ～ 13 ch
データ転送速度（規格値※1）	IEEE802.11g：最大 54 Mbps、IEEE802.11b：最大 11 Mbps
アクセス方式	インフラストラクチャモード
セキュリティ	WPA2-PSK（TKIP/AES）、WPA-PSK（TKIP/AES）、WEP（64 bit/128 bit）

※1　理論上の速度であり、ご使用環境や接続機器などにより実際の通信速度は異なります。

電池持続時間

	明るさ：最小	明るさ：最大
ワンセグ	約 7 時間	約 3 時間 30 分
テレビを録画する	約 6 時間 30 分	約 3 時間 30 分
ビデオ	約 9 時間	約 3 時間 30 分
音楽	約 45 時間	約 45 時間
写真	約 9 時間 30 分	約 3 時間 30 分
YouTube	約 5 時間 30 分	約 2 時間

- 画面の明るさを設定するには 172 ページをお読みください。
- 上記時間は、通常充電で充電した場合です。エコ充電で充電した場合の電池持続時間は、通常充電時の約 90%の時間となります。

（電池持続時間測定条件）

ワンセグ	放送波受信、アンテナ受信感度：高感度、コントラスト自動調整：設定する、 小声を大きくする：レベル 2
テレビを録画する	視聴録画時、録画先メモリー：内蔵メモリー、アンテナ受信感度：高感度、 小声を大きくする：レベル 2
ビデオ	再生ファイル形式：ワンセグビデオ（SD-VIDEO）、小声を大きくする：レベル 2 Wi-Fi オフ
音楽	再生ファイル：ビットレート 96 kbps の MP3、画面消灯時、Wi-Fi オフ
写真	写真のみ再生時、Wi-Fi オフ
YouTube	画質：240 p、小声を大きくする：レベル 2、Wi-Fi オン
共通の設定	画質モード：ダイナミック、サウンド設定：フラット、反響音を抑える：設定しない、 再生ファイル保存先：内蔵メモリー、スピーカー使用 音量位置：

- 電池持続時間は使用条件によって短くなる場合があります。

次のページに続く

AC アダプター

入力	AC 100 V─ 240 V、50/60 Hz、25 VA
出力	DC 5 V　1.2 A

リチウムイオン充電式電池（内蔵）

電圧 / 容量（最小）	DC 3.7 V　2150 mAh

内蔵メモリーへの録画可能時間の目安（ビットレート 412 kbps で算出※2）

約 17 時間

SD カードへの録画可能時間の目安（ビットレート 412 kbps で算出※2）

SD カード容量	録画可能時間
128 MB	約 41 分
256 MB	約 1 時間 20 分
512 MB	約 2 時間 39 分
1 GB	約 5 時間 20 分
2 GB	約 10 時間 51 分
4 GB	約 21 時間 19 分
6 GB	約 32 時間 25 分

SD カード容量	録画可能時間
8 GB	約 43 時間 24 分
12 GB	約 65 時間 28 分
16 GB	約 87 時間 20 分
24 GB	約 126 時間 49 分
32 GB	約 175 時間 12 分
48 GB	約 257 時間 31 分
64 GB	約 349 時間 28 分

- 無線 LAN で内蔵メモリーや SD カードに転送する場合は、転送できる番組の時間は録画可能時間よりも少なくなります。（録画可能時間の約 4 分の 1）
  例：内蔵メモリーや SD カードの残量表示が 12 時間の場合、約 3 時間の番組の転送が可能
- SDカードにデータが入っている場合は、録画時間は短くなります。

※2 放送局から送信されるビットレート（単位時間あたりの情報量）は、放送局や番組によって異なります。
本機では、ビットレートの大きい番組（412 kbps）を想定して録画可能時間の目安を表示しています。そのため、情報量の少ない番組を録画する場合は、録画可能時間よりも長く録画できます。
例：録画可能時間の表示が 45 分の場合でも、1 時間録画できたなど
（時間の差は録画する番組の情報量によって変わります）

- この仕様は、性能向上のため変更することがあります。
- 本機では、フォントデータの制限により表示できない文字があります。
  （表示できない文字は「_」と表示されます）
- **表示可能文字**　日本語：JIS 第一水準 / 第二水準準拠
- Windows Media Audio 9 (WMA9) 対応（WMA9 の Professional、Lossless、Voice および MBR※3には対応していません）

※3 MBR：Multiple Bit Rate は、1 つのファイル内に複数の異なるビットレートで記録された音声を含む形式のことです。

i 文庫 for Android^{TM}使用許諾契約書

1．本ソフトウェアに関する権利
本ソフトウェアは、法令および国際条約上保護される著作物であり、本ソフトウェアに関する知的財産権その他一切の権利は、ACCESS およびそのライセンサーに帰属します。

2．使用許諾
本契約に定める条項及び条件下で、ACCESS は、ユーザーに対して、私的かつ非商業目的での利用においてのみ、本ソフトウェアを、自己が所有または使用する Android 端末上で使用することができる、非独占的な譲渡不能の権利を許諾します。本ソフトウェアは、その使用が許諾されるものであって、販売されるものではありません。

3．禁止事項
ACCESS が書面で承認した場合を除き、ユーザーは、以下のことを行うことはできません。
(1) 第三者に対し、本ソフトウェアを販売、再使用許諾、貸与、賃貸あるいは譲渡すること。
(2) 自己が所有または使用する Android 端末にインストールすること以外に、本ソフトウェアを複製すること。
(3) 本ソフトウェアを補正、翻案、改変、リバース・エンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブリすること、又は本ソフトウェアの派生物を製作すること。
(4) 本ソフトウェア又はその派生物をハードウェア製品に組み込んで第三者に販売、貸与、提供すること（ただし、第２条で定める範囲における自己の端末の第三者への転売、貸与、譲渡等の場合は除く）。
(5) 本ソフトウェアに記載された ACCESS または第三者の著作権表示その他の権利表示について、削除、不明確化、改変等の行為をすること、および、これを誤認混同するような表示を新たに追加すること。

4．保証の否認
本ソフトウェアは、明示であると黙示であるとを問わず、製品の瑕疵不存在、市場性、ユーザーにおける利用可能性、利用目的適合性その他一切の事項に関する保証なしに、「現状のまま」の状態でユーザーに提供されます。本ソフトウェアの使用は、ユーザーによるリスク負担の下、ユーザー自身の責任と判断で行っていただきます。

5．免責
ACCESS 及びそのライセンサーは、本ソフトウェアの利用あるいは利用不能、瑕疵、性能、品質その他に起因してユーザー又は第三者に生じうる損害について、ACCESS の故意又は重大な過失による場合を除き、一切その責任を負いません。なお、本項の規定は、派生的損害、付随的損害または特別損害に対する免責もしくは責任制限が法律により認められていない場合に、適用されないことがあります。ACCESS の責任は、いかなる場合にも、本ソフトウェアを入手するためにユーザーが支払った金銭の額を超えないものとします。

6．第三者権利
本ソフトウェアにより、ACCESS および第三者のサービスおよびウェブサイト（以下総称してまたは個別に「本件サービス」といいます）にアクセスすることができます。本件サービスの利用には、インターネットアクセスおよび追加のサービス規約の承諾が必要になる場合があります。なお、本ソフトウェアに一定のライセンス条件下（GPL/LGPL を含む）において、ソースコードが無償で提供され、その使用、改変、複製および頒布が許可または許諾されているプログラム（以下「オープンソース・ソフトウェア」といいます）が含まれている場合、当該オープンソース・ソフトウェアに関しては、そのライセンス条件が適用されます。

7．プライバシーポリシー
ACCESS は、ユーザーによる本ソフトウェアの使用に際して、本ソフトウェアおよび ACCESS が提供するサービスの改善のために、氏名および電子メールアドレス（以下、「個人情報」といいます）の入力を要求することがあります。

ACCESS は、ユーザーのプライバシーを尊重します。ACCESS によるユーザーの個人情報の収集、使用、開示については、ACCESS のプライバシーポリシーに従い、個人情報を取扱います。
http://jp.access-company.com/about/legal/privacy.html

8．使用許諾の終了
ユーザーに許諾された使用権は、ユーザーが本契約に違反した場合もしくは ACCESS が独自の裁量により通知した場合に終了するものとし、この場合、ユーザーは、直ちに本ソフトウェアの使用を中止し、本ソフトウェアを完全に破棄、消去、削除するものとします。

9．輸出制限
本ソフトウェア（その技術データを含む）は、外国為替及び外国貿易法、U.S. Export Administration Act を含む日本及びアメリカ合衆国の輸出管理に関する法令に基づく規制対象であり、その他の国における輸出入規制対象であるかもしれません。ユーザーは、すべての当該法令を遵守することに同意するとともに、本ソフトウェアの輸出、再輸出又は輸入に際しては、関係するライセンスを取得する必要があることを認識します。本ソフトウェアは、キューバ、イラク、イラン、朝鮮民主主義人民共和国、リビア、スーダン、シリア、アフガニスタンその他日本又は米国が輸出制限措置を講じている国もしくはその国民・居住者においてダウンロードし、又はこれらの国もしくはその国民・居住者に向けて輸出もしくは再輸出することはできません。また、本ソフトウェアは、日本、米国その他の国の政府が公表する輸出禁止リストに掲載されている者においてダウンロードし、又はこの者に対して輸出もしくは再輸出することはできません。

10．準拠法および管轄裁判所
本契約の準拠法は日本法とし、本契約に関連して法律上の紛争が生じた場合は、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。

戻る

著作権 / 商標について

- 著作物を無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。
- SDXC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。
- Microsoft、Windows および Windows Vista は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Adobe、Adobe ロゴ、Adobe Acrobat、および Acrobat Reader は、アドビシステムズ社の米国および / または各国での商標または登録商標です。
- “Wi-Fi CERTIFIED”ロゴは、“Wi-Fi Alliance”の認証マークです。
- DLNA, the DLNA Logo and DLNA CERTIFIED are trademarks, service marks, or certification marks of the Digital Living Network Alliance.
- AOSS™ は株式会社バッファローの商標です。
- YouTube および YouTube ロゴは、Google Inc. の登録商標です。
- 本製品は、マイクロソフト社の知的財産権により保護されています。マイクロソフトのライセンスを得ずに、本製品以外で技術の使用もしくは領布を行うことは禁止されています。
  コンテンツ所有者は、Windows Media デジタル著作権管理技術（WMDRM）によって、著作権を含む知的財産権を保護しています。本製品は、WMDRM ソフトウェアを使用して WMDRM で保護されたコンテンツにアクセスしています。WMDRM ソフトウェアがコンテンツを保護できない場合、コンテンツの所有者は WMDRM を使用した保護されたコンテンツのソフトウェアによる再生または複製機能を無効化するようマイクロソフトに依頼する場合があります。無効化は、保護されていないコンテンツに影響するものではありません。保護されたコンテンツのためのライセンスをダウンロードする際に、マイクロソフトがライセンスとともに、無効化リストを含める場合があることに同意する必要があります。コンテンツ所有者の要請により、コンテンツにアクセスするために WMDRM のアップグレードが必要な場合があります。アップグレードをしない場合、アップグレードが必要なコンテンツにはアクセスできません。
- MPEG Layer-3 オーディオコーディング技術は、Fraunhofer IIS および Thomson からライセンスを受けています。
- 本製品には株式会社アルファシステムズの登録商標である「alpha Media Link」が含まれています。
- 本製品は、株式会社 ACCESS および NagisaWorks の i 文庫 for Android を搭載しています。
  （本機に搭載されている i 文庫は、本機専用に機能を制限しているので、インターネット上で市販されている i 文庫 for Android と同等の機能ではありません）
- ACCESS、ACCESS ロゴは、株式会社 ACCESS の日本国、米国その他の国・地域における商標または登録商標です。
- 「KeiType」「リュウミン R」は株式会社モリサワの登録商標または商標です。
-
-

- その他、本文で記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。なお、本文中では TM、® マークは一部明記していません。
- Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。

音のエチケット
シンボルマーク

 戻る

さくいん

英数字・記号

あ行

か行

さ行

次のページに続く

さ行（つづき）

た行

な行

は行

ま行

や行

ら行

わ行

戻る